

平成 29 年度

教 育 要 覧

下関市教育委員会

下 関 市 民 憲 章

平成 19 年 2 月 13 日 制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。

わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任を持って、互いに心を寄せあい、新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかかげます。

- わたしたちは **し** 自然の恵みを大切にします。
- わたしたちは **も** 燃え立つ心を大切にします。
- わたしたちは **の** 伸びゆく力を大切にします。
- わたしたちは **せ** 先人の訓えを大切にします。
- わたしたちは **き** 協働の営みを大切にします。

市の花「ハマユウ」



市の動物「クジラ」



市の鳥「ペンギン」



市の木「クスノキ」



市の花木「ツツジ」



市の花木「サクラ」



市の魚「フク」



市の虫「ホタル」

はじめに

本市では、「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を基本理念とし、その実現に向けたまちづくりを推進しております。そのまちづくりの基礎となる教育について、本市教育委員会では「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育 ～」を基本理念とし、様々な教育課題に取り組んでいるところです。

首長と教育委員会が、教育の課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進することを目的に、改正地方教育行政法に基づき「下関市総合教育会議」を設置しております。様々な教育の課題に対し、市長と教育委員会とが共通認識を持ち、連携することはこれからの下関教育を推進していく上で非常に有意義なものになると期待しております。

「海峡に育まれた下関の歴史と文化－海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとして、旧下関市立長府博物館（旧館）の活動を継承発展するため、下関市立歴史博物館が平成28年11月18日に開館いたしました。市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでまいります。

このたび刊行いたします本書は、本市教育委員会の取組を紹介するとともに、委員会内各課所館で取り組んできた事業の成果を取りまとめた内容となっております。

皆様方におかれては、本書をご高覧いただき、本市教育行政に対してなお一層のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

下関市教育委員会
教育長 波佐間 清

目 次

～ 本 編 ～

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要	1
2 教育委員会	2
(1)教育委員	2
(2)教育委員会議決事項等	3
3 下関市教育理念	5
4 平成 28 年度教育施策の実施状況	6
1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます	6
2. 学校の教育力を高めます	10
3. 社会全体の教育力を高めます	13
4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します	14

～ 資料編 ～

I 学校教育関連資料

1 下関市学校教育指導上の努力点	21
2 市立学校一覧	22
(1)幼稚園	22
(2)幼保連携型認定こども園	24
(3)小学校	26
(4)中学校	28
(5)高等学校	28
3 平成 29 年度研修計画	30
4 平成 29 年度研究事業一覧	31
5 下関市教育研究会	32
(1)平成 29 年度部会一覧	32
(2)研究主題	32
6 下関市教育祭	32
(1)概要	32
(2)講演内容	32
(3)実践発表及び実践報告	32
7 外国語指導助手派遣推進事業	33
8 特別支援教育	34
(1)特別支援学級設置状況	34
(2)通級指導教室活動実態	36
(3)平成 29 年度就学支援状況	36
(4)特別支援学級生徒の進路状況	37
(5)下関市特別支援教育支援員配置状況	37
(6)平成 29 年度に新設された特別支援学級	37

9 就学援助	37
(1)就学援助費	37
(2)特別支援教育就学奨励費	37
10 下関市奨学金制度	38
11 園・学校訪問	38
12 学校保健	39
(1)平成 28 年度健康診断における疾患・異常	39
(2)平成 28 年度負傷・疾病の種類別災害発生状況	40
(3)平成 28 年度児童・生徒の体位比較	41
13 学校給食	41
(1)学校給食実施状況	41
(2)献立の作成から実施まで	41
(3)平成 28 年度就学援助費(給食費)	42
(4)学校給食共同調理場	42
14 生徒指導	43
15 教育相談	44
(1)相談体制	44
(2)平成 28 年度教育相談受理状況	44
II 生涯学習関連資料	
1 社会教育委員	45
2 図書館	45
(1)中央図書館	45
(2)長府図書館	46
(3)彦島図書館	46
(4)菊川図書館	47
(5)豊田図書館	47
(6)豊浦図書館	47
(7)豊北図書室	47
3 公民館活動	48
(1)公民館運営審議会	48
(2)公民館設置状況	48
(3)公民館利用状況	49
4 下関市生涯学習プラザ	50
5 生涯学習センター	51
(1)豊田生涯学習センター	51
(2)豊北生涯学習センター	51
6 菊川ふれあい会館	52
7 その他社会教育施設	53

(1)豊浦ふれあいセンター	53
(2)宇賀ふれあいセンター	53
(3)小野ふれあいセンター	53
8 成人教育	54
(1)生涯学習まちづくり出前講座	54
(2)市民文化セミナー	56
(3)関門海峡・温故知新塾	57
(4)市民学級	57
(5)社会教育関係団体	58
(6)PTA地域活動	59
9 家庭教育	60
(1)地域ふれあい活動	60
(2)家庭教育学級	61
(3)大人の学び塾事業	62
(4)女性団体の育成	63
10 下関みらい塾事業	63
11 豊田ホテルの里ミュージアム	64
12 青少年教育	65
(1)青少年健全育成事業	65
(2)青少年非行防止対策業務	67
(3)青少年教育施設	68

(2)職員配置	99
(3)教育費予算	100
2 教育年譜	101

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館	70
2 歴史博物館	71
3 東行記念館	73
4 考古博物館	74
5 土井ヶ浜遺跡・ 人類学ミュージアム	76
6 烏山民俗資料館	79
7 豊北歴史民俗資料館	80
8 文化財保護	82
(1)下関市文化財保護審議会	82
(2)施設	82
(3)市内の文化財	84
9 埋蔵文化財調査	94
(1)埋蔵文化財調査実績	94
(2)周知の埋蔵文化財包蔵地件数	94
(3)愛護・普及活動	94
(4)埋蔵文化財関係印刷物	95
(5)主な埋蔵文化財発掘調査 成果概要	95
(6)史跡管理・保存活用	97

Ⅳ その他資料

1 教育委員会	98
(1)機構及び事務分掌	98

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要

(1) 下関市の概況

本州の最西端に位置し、日本海・関門海峡・瀬戸内海と三方を海に開かれた下関市は、早くから大陸文化流入の先進地として開け、各域に多くの遺跡・文化財が残されている。

気候は温暖で、緑に富んだ景観は海の青とともに美しく、風水害の少ない住み良い自然環境をもつ都市である。

特に関門海峡は、対岸の門司と「呼べば応える」といわれるほどに狭く、関門橋の架橋下ではわずか700mたらずであり、また、この海峡は幾度も歴史上の舞台となった。

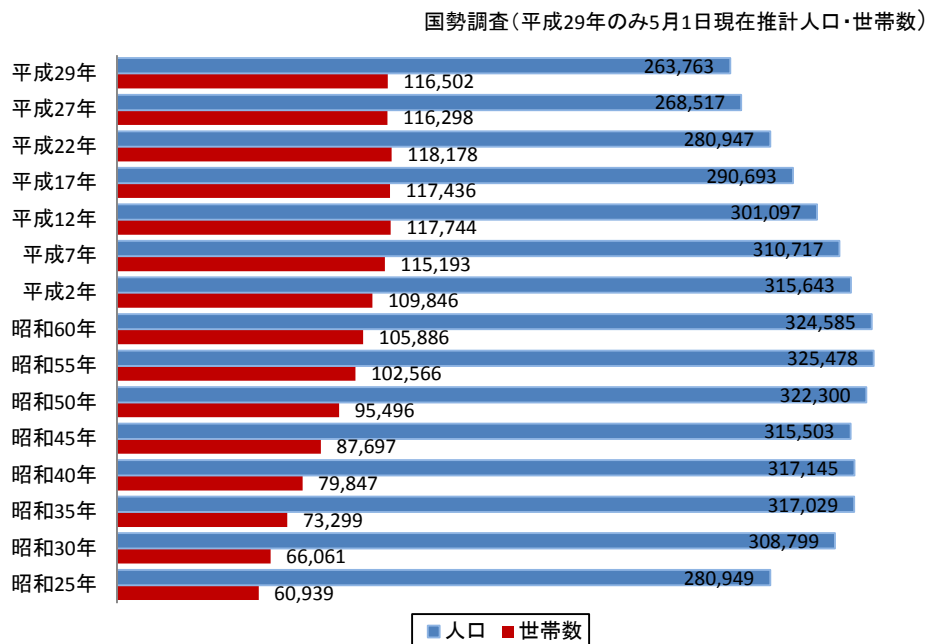
本市は、明治22年全国で初めて市制が施された31市の中の一つ赤間関市として誕生した。やがて山陽本線の開通、関門連絡船や関釜連絡船の就航等によって、九州はもとより大陸への門戸として再び活況を呈した。昭和20年、戦災によっていったんは市街が焼土と化したのが、まもなく復旧を遂げ関門国道トンネルや中国縦貫自動車道・関門橋の開通、関釜フェリー航路の開設や山陽新幹線の乗入れなどと、交通体系も大規模な整備がなされた。

平成17年2月には、豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により新しい下関市が誕生し、平成17年10月には中核市へ移行した。

現在、下関市は、関門海峡や響灘をはじめとする豊かな自然や歴史、地場産業に蓄積された高度な技術などを活用し、中核市にふさわしい「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を目指して躍進している。

【面積】	715.89 k m ²	(平成27年10月1日現在)
【人口】	263,763人	(平成29年5月1日現在)
【世帯】	116,502世帯	(平成29年5月1日現在)

(2) 人口・世帯数の推移



2 教育委員会

(1) 教育長



教 育 長
波 佐 間 清

(2) 教育委員



教育長職務代理者
藤 井 悦 子



委 員
児 玉 典 彦



委 員
林 俊 作



委 員
松 田 ま さ 子

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	職 業	任 期
教 育 長	波 佐 間 清	公 務 員	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日
教 育 長 職 務 代 理 者	藤 井 悦 子	歯 科 医 院 事 務 長	自 平成 27 年 4 月 20 日 至 平成 31 年 4 月 19 日
委 員	児 玉 典 彦	無 職	自 平成 29 年 4 月 20 日 至 平成 33 年 4 月 19 日
委 員	林 俊 作	会 社 役 員	自 平成 26 年 4 月 20 日 至 平成 30 年 4 月 19 日
委 員	松 田 ま さ 子	バ イ オ リ ン 奏 者	自 平成 28 年 4 月 20 日 至 平成 32 年 4 月 19 日

(2) 教育委員会議決事項等（平成 28 年度）

開催日	会議区分	議 案 件 名
H28. 4. 25	定例会	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
H28. 5. 24	定例会	教育功労者表彰（篤行表彰）について
		平成 28 年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について
		下関市立小学校及び中学校における学校事務の共同実施に関する規程の一部を改正する訓令
		下関市立高等学校評議員の委嘱について
		平成 29 年度使用下関商業高等学校教科用図書採択について
		下関市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市立図書館運営協議会規則の一部を改正する規則
H28. 6. 28	定例会	下関市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令
		下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
H28. 7. 21	定例会	教育功労者表彰（篤行表彰）について
		教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について
		下関市奨学金貸付条例の一部を改正する条例
		下関市立美術館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		平成 29 年度使用下関商業高校学校教科用図書採択について
H28. 8. 30	定例会	平成 28 年度教育予算の補正（9 月）について
		平成 29 年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
H28. 9. 30	定例会	議案審議なし
H28. 10. 24	定例会	教育功労者表彰について
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		平成 29 年度使用下関商業高等学校教科用図書採択について
H28. 11. 30	定例会	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		平成 28 年度教育予算の補正（12 月）について
		下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）委員の委嘱について
H28. 12. 21	定例会	平成 29 年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について
		平成 28 年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について
		平成 29 年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
H29. 1. 23	定例会	平成 28 年度教育予算の補正（2 月）について
		平成 29 年度教育予算について
		下関市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市生涯学習センターの設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		平成 26 年（ワ）第 73 号損害賠償請求事件に係る和解について
		指定管理者の指定について
財産の取得について		

開催日	会議区分	議 案 件 名
H29. 2. 21	定例会	「下関市いじめ防止基本方針」の改定について
		学校運営協議会規則の一部を改正する規則
		下関市立歴史博物館協議会委員の委嘱について
H29. 3. 11	臨時会	平成 29 年度小中学校教員の人事異動について
		平成 29 年度幼稚園教員の人事異動について
		平成 29 年度校務技士・学校給食調理員の人事異動について
H29. 3. 27	定例会	下関市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令
		下関市教育委員会公印規則の一部を改正する規則
		下関市幼稚園管理規則の一部を改正する規則
		下関市女性職員の活躍の推進に関する特例事業主行動計画の一部改定につて
		教育委員会及び教育機関の職員の任免について

3 下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

現在、少子高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展に伴い、家庭や地域社会の変容、個人の生活スタイルの多様化など、私たちを取りまく環境は大きく変化しています。

こうした変化や複雑化・多様化する様々な課題に柔軟に対応し、誰もが未来に向けてよりよく生きることができるよう、生涯にわたって学び続けることが大切です。そして、学びから得た力を自分のためだけでなく、社会全体のために役立てようとする心情・態度を育てることが、現在求められています。

そこで、下関市教育委員会では、上記の教育理念を掲げ、教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。

「夢への挑戦」には、自分の可能性を信じ、夢に向かってあきらめずに挑戦してほしいという願いが込められています。

夢へ挑戦するためには、「生き抜く力」が必要となります。

【生き抜く力】

- どのような状況においても、主体的に課題を探求する力
- 柔軟に物事をとらえ、的確に判断し、行動する力
- 他者を思いやり、感謝する心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力
- 世界的な視野をもち、多様な集団において人間関係を形成し、協働する力

このような力を身につけて、郷土の自然や人、歴史、伝統、文化に「誇り」をもち、「志」を胸に抱いて社会で活躍する人材を育てていきたいと考えます。

「ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育」には、学校、家庭、地域において、誰もがつながり、子どもも大人も一緒になって学び続ける姿を思い描いています。生涯にわたって学び続ける大人の姿を見て、子どもたちもあこがれの念を抱き、未来への希望を強くもつことができるでしょう。

わたしたちは一人ではありません。みんなが支え合い、かかわり合うことによって、より一層輝く可能性を生み出すことができます。大人から子ども、過去から未来へのつながりを大切にして、わくわくするような未来をともに創っていきましょう！

4 平成 28 年度教育施策の実施状況

1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます

(1) 確かな学力の育成

①基礎基本の定着と学力の向上

ア) 学習指導の充実 〈教育研修課〉

各学校における授業改善を推進するために、「下関スタンダード（授業の基礎・基本 vol.1・2）」「授業づくりと評価の手引き【改訂版】（県教育委員会作成）」を配付するとともに、研修会を開催し、効果的な活用の仕方等について周知を図った。併せて、指導主事による計画的な学校訪問や研修支援訪問、学校からの要請に応じた訪問等を行い、「子供の実態を踏まえた授業」「かかわり合いのある授業」「見通しと振り返りのある授業」の更なる推進を図った。若手教員（1～3年目）の指導力の向上については、若手育成 1000 日プラン（たんぼぼ作戦）の実施により、定期的に指導助言を行った。

また、学習指導の充実に向けて、中学校区ごとに児童生徒の課題を協議する学力向上連絡協議会を開催し、学力の向上に向けた共通取組事項を定め、学習規律や家庭学習の手引きを作成する等、積極的な取組が行われている。

イ) 学力調査の活用 〈教育研修課〉

全国学力・学習状況調査及び県確認問題（4月）と山口県学力定着状況確認問題（10月）を利用して、各校の課題に応じた指導助言を行うことで、年間2回の検証・改善サイクルの確立を推進した。

また、各学校が児童生徒の実態や学校の課題に応じて必要と考える知能検査や学力検査など各種調査を実施できるよう体制を整備している。

ウ) 学力向上プランの活用 〈教育研修課〉

確かな学力の定着に向けて教員の授業力向上を目指し、第3期となる下関市学力向上プランを作成し、本市における重点事項等について周知を図るとともに、各学校において作成された学力向上プランの作成・活用について、年間2回の検証・改善のサイクルを確立し、より効果のあるプランとなるよう指導助言を行った。

エ) 家庭学習の充実 〈教育研修課〉

学びの習慣化に向けて指導の工夫・改善を図るため、各校において「家庭学習の手引き」の作成とその活用を奨励した。また、中学校区で開催する下関市学力向上連絡協議会において学力向上に向けた取組について協議し、小中連携の9年間の連続した学びを意識して、中学校区で共通の「家庭学習の手引き」の作成やノーメディア・デーの設定等を行う校区が増加している。

②時代の進展に対応した教育の推進

ア) 小中連携の促進 〈教育研修課〉

小中連携については、コミュニティ・スクールの取組が進み、小・中学校の共通課題に応じ各中学校区での協議会設置や合同の研修会、熟議を開催するなど、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに小・中学校が互いに協力できる体制が更に整ってきている。

また、小・中学校間における「乗り入れ授業」や「出前授業」の取組を進めている学校が増えてきており、小・中学校における接続期のなめらかな連携及び教員の小中連携にも繋がっている。

さらに、県教育委員会の小中連携に関わる指定事業を、県内の市町では唯一、2中学校区で受け、特に授業力向上の面での連携を深め、研修会等で他の校区にもその成果を広めた。

イ) へき地・複式教育の充実 〈教育研修課〉

へき地及び複式学級を有する学校（13校）の学校運営や学習指導等についての改善を図るため、指定校研究協議会を角島小学校で開催し、公開授業及び部会ごとの研究協議、研究の取組紹介等を行った。学習の個別化、活躍の場の保障等といった、一人ひとりを大切にした指導が小規模校の強みであることを再認識し、今後の複式教育のさらなる充実に向け、授業力・指導力の向上を図ることができた。

ウ) 情報教育の推進 〈教育研修課／学校支援課〉

学校におけるICTの活用推進及び更なる充実を図るため、ICT推進委員会を開催した。併せて、ICT活用推進研修会を開催して、校務の電子化や情報発信の仕方、デジタル教材等の活用及び情報モラルについて講義や演習を行った。

また、タブレット端末の導入に伴い、その管理や基礎的な使用方法に関する研修会を行うとともに、小・中学校におけるICT活用のための環境整備等を行った。

エ) 外国語教育の充実 〈教育研修課〉

外国語指導助手（ALT）を下関商業高等学校及び市立認定こども園、幼稚園、小・中学校に派遣し、外国語教育の充実に努めるとともに、ALTとの交流を通して国際交流及び相互理解の促進を図った。高等学校と中学校での英語科への派遣と、小学校外国語活動での補助として、13人のALTを延べ2,100日程度派遣した。

小学校外国語活動に係る研修会では、指導経験に応じたプログラムを用意し、指導力と実践力の向上を図った。また、2日間のイングリッシュ・キャンプでは、ALTとの様々なコミュニケーション活動を通して、英語に対する興味・関心を高めるとともに、国際理解を深めることができた。

③キャリア教育の推進

ア) 発達段階に応じたキャリア教育の推進 〈教育研修課〉

小・中学校で連携しながら推進するキャリア教育の必要性等についての認識を深め、キャリア教育推進担当者の資質向上を図るためキャリア教育研修会を実施した。

研修会においては、「小・中学校における組織的なキャリア教育の推進」として、柳井市における小学校の取組や新学習指導要領におけるキャリア教育のあり方の研修を行った。また、熊野小学校・向洋中学校での二分の一成人式・立志式の取組の実践事例発表を行った。

④ビジネス教育の推進

ア) ビジネス教育の推進 〈下関商業高等学校〉

ビジネス社会に適応できる人材を育てるため、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得、保護者・地域との連携、学校行事・部活動の活性化を図った。特に、簿記に関しては、日本商工会議所簿記検定1級に3名の生徒が合格し、これに続く可能性のある生徒もおり、高大連携授業の結果が出せる体制が整ってきた。

イ) 情報処理教育の充実 〈下関商業高等学校〉

生徒が下関商業高等学校コンピュータシステムを利用できるように、パソコン等電算機器及び校内ネットワーク賃貸借を行った。

(2) 豊かな心の育成

①思いやりのある豊かな心を育む教育の推進

ア) 道徳教育の充実 〈教育研修課〉

道徳教育の推進状況を把握するため、各学校における道徳教育の現状等に関する調査を実施した。各学校では、道徳教育の全体計画及び年間指導計画が整備され、道徳教育推進教師(*)を中心とした指導体制のもと、年間35時間の「道徳教育の時間」が確保されていた。また、この調査結果に基づき、改善に向けた指導を行った。

併せて、県教育委員会から「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト（平成28・29年度指定：西山小学校、平成29・30年度指定：東部中学校）の指定を受けるとともに、道徳教育研修会の開催等を通して、授業の質の向上に努めた。

イ) 人権教育の充実 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。

ウ) いのちの教育の充実 〈教育研修課〉

「下関市いのちの日」における「命の尊厳」について考える取組の充実として、外部講師を招いた講演会を実施するなど、保護者、地域関係機関と連携した取組を進め、自他の生命を尊重する心や思いやりの心を育む取組の充実を図った。

エ) 特別活動の充実 〈教育研修課〉

特別活動の推進により、子供たちがより良い生活や望ましい人間関係を築くことを目指している。各小・中学校においては、9年間を通した自然体験活動やボランティア活動等、体験活動の充実やAFPY

等、人間関係づくりのプログラムを計画的に実施することで特別活動の充実を図っている。

※AFPY…他者とかかわり合う活動を通して個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方や行動のあり方を学び合う山口県独自の体験学習法

オ) 読書活動の充実 〈教育研修課〉

各学校においては、朝読書や図書ボランティア等による読み聞かせなど、家庭や地域と連携しながら継続した読書活動を進めている。

また、平成 27 年度から市内に 5 人の学校司書を配置し、教員との連携による学校図書館のセンター機能（読書・学習・情報）の向上を図っている。平成 28 年度は、勤務形態を配置校と兼務校にすることにより、勤務する学校数を増やし、取組の拡大を図った。また、学校司書を対象とした研修会を年間 3 回行った。

カ) 姉妹校交流 〈下関商業高等学校〉

韓国の開成高等学校から生徒 4 人及び教職員 4 人を下関商業高等学校に迎え、交流式典、親善交歓会等の相互交流を行い、両国の善隣友好を担える人材の育成を行った。

また、下関商業高等学校から生徒 37 人及び教職員 7 人が鹿児島商業高等学校を訪問し、交流会、生徒会交流等を行った。

②ふるさと学習の推進

ア) ふるさと学習に対する支援 〈教育研修課〉

下関歴史マップ（2,500 部）を作成し、小学校 6 年生児童全員に配付した。併せて、夏季休業中の自由課題として「大すき ふるさと下関 歴史マップ」の作品募集を行い、25 校から 463 点の応募があった。維新の部・歴史の部の市長賞、教育長賞、優秀賞、優良賞の計 30 人を市役所新館 1 階エントランスで表彰（10 月 3 日）し、入賞作品は、ゆめシティ、川棚公民館、菊川ふれあい会館、豊田ホテルの里ミュージアム、豊北歴史民俗資料館、市役所の 6 会場にて展示を行った。

③つながりを基盤とした青少年健全育成の推進

ア) 生徒指導推進体制の充実 〈学校教育課〉

小・中学校におけるいじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・対応の充実とともに、登下校時を含む児童生徒の安全確保、学校教育に対する保護者からの指摘等に対して、生徒指導推進室が積極的に学校を訪問し、指導・支援の充実を図った。

イ) 青少年補導センターにおける補導、相談の実施 〈生涯学習課〉

青少年補導センター 青少年補導委員 211 人

・街頭補導回数	218 回	・街頭補導従事者数	404 人
・合同補導回数	50 回	・合同補導従事者数	527 人
・校区補導回数	1,363 回	・校区補導従事者数	7,817 人
・補導件数	2,294 件	・ヤングテレホン 相談件数	206 件

④不登校児童・生徒の適応指導の充実

ア) 不登校児童生徒への個別支援の実施 〈学校教育課〉

不登校児童生徒に対して、教育支援教室「かんせい」における体験活動や学習支援、東亜大学大学院附属臨床心理相談研究センターと連携しての発達支援、「教育相談室」における相談活動等を実施した。

また、学校だけでは対応が困難なケースは「カウンセリングアドバイザー*」や「スクールソーシャルワーカー*」を派遣し、状況の改善に努めた。

※「カウンセリングアドバイザー」緊急に市教育委員会から派遣する臨床心理士

※「スクールソーシャルワーカー」社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有した福祉の専門家

イ) ふれあい DAY キャンプの実施 〈学校教育課〉

夏季休業中に、自然体験・社会体験を通して集団や社会に適応する力を養うために「ふれあい DAY キャンプ」を実施した。川遊びや野外炊事、たこづくりの活動は、仲間づくりや異年齢の交流を通じて社会性や協調性、思いやりの心を育てる貴重な場となった。

(3) 健やかな体の育成

①体力の向上

ア) 体力向上プログラムの充実 〈教育研修課〉

全ての小・中学校において体力向上プログラムを作成し、体育科及び保健体育科の授業改善とともに、「柔軟性の向上に向けた取組」、「1校1取組」など、児童生徒や学校の実態に応じた継続的な取組を行った。

イ) スポーツ大会の運営・支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟主催の事業に対して支援を行うことによって、子供たちの体力・競技力の向上を図った。

ウ) 選手派遣の支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟への補助事業を通して選手派遣を支援することにより、保護者の負担を軽減し、多くの選手が、より多くの大会に参加しやすい環境をつくるよう努めた。

②健康教育の推進**ア) 健康教育に関する研修会・調査研究の実施 〈教育研修課〉**

各学校の健康教育の中核を担う、保健体育科担当教諭及び栄養教諭等を対象とした研修会を開催した。

イ) 望ましい生活習慣形成の啓発 〈教育研修課〉

「早寝、早起き、朝ごはん」など、望ましい生活習慣を形成するために、各校での生活アンケートの活用など、校長会や校内研修会等において指導助言を行った。

③食育の推進**ア) 地場産給食の推進 〈学校保健給食課〉**

地場産食材を使用した学校給食を通じて、地元の農林水産物への理解や郷土愛の醸成に努めた。

・地場産食材の地域品目別使用割合

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
県内産品	59 %	59 %	55 %	50 %	51 %
市内産品	29 %	29 %	30 %	27 %	26 %

イ) 食育推進ボランティアの活用 〈学校保健給食課〉

小・中学校へ食育ボランティアを派遣し、食育教室を実施した（8回）。併せて市内の生産者等に対して、食育ボランティアへの参加協力を行った。

ウ) 食に関する指導の充実 〈教育研修課〉

市内全小・中学校において、栄養教諭、学校栄養職員による児童生徒の食生活の実態に沿った食に関する授業実践や食に関する指導を行った。また、食に関する指導の学習効果を上げるために、栄養教諭や学校栄養職員の資質向上、授業力向上につながる研修を進めた。さらに、食に関する指導研修会（栄養教諭配置校訪問）では、授業研究や参加者のグループ協議などを通して、参加者の学校の実態に応じた食育推進の取組についての支援を行った。

エ) 学校給食の充実 〈学校保健給食課〉

栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図っている。地元の農業や食文化への理解を深めるため、地元の食材を取り入れることで、学校給食の目標の1つである食育の推進を図った。

(4) 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進**①特別支援教育の推進****ア) 下関市教育支援委員会の開催 〈学校教育課〉**

障害のある子供の状況を正しく理解し、一人ひとりの可能性が最大限に伸ばされる適切な就学先や必要な教育支援について審議するため、下関市教育支援委員会^(*)を開催した。前年度と比較して審議対象児童生徒数が大きく増加したが、教育支援委員会前に実施する就学相談会を含め、児童生徒及び保護者への丁寧な助言や、一人ひとりの状況に即した審議を行うことができた。

〔(*)平成 27 年 4 月 1 日に下関市就学指導委員会から改称〕

イ) 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 〈学校教育課〉

特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な支援・介助を行う特別支援教育支援員を配置した。

年度当初の配置後も、学校との情報共有を密に行いながら児童生徒の状況把握に努め、支援の必要性の高い学校へ順次追加配置を行う等、きめ細かな支援体制を整えた。

ウ) 特別支援学級就学に対する助成 〈学校教育課〉

児童生徒の特別支援学級への就学について、就学に関しての特別な事情を配慮し、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の推進を行った。

エ) 特別支援学級の設備整備 〈学校支援課〉

小・中学校の特別支援学級における教育活動に必要な教材や備品などの整備を行った。

2. 学校の教育力を高めます

(1) 学校の組織力の向上

① 組織力を高める取組

ア) 評価を生かした組織的な取組 〈学校教育課／教育研修課〉

市内各小・中学校が、学校評価・教職員評価・授業評価及び各調査結果を活用した学校の状況の客観的な分析を行い、前年度で明らかにした課題を踏まえつつ、学校運営協議会委員等、学校関係者からの意見・要望等を取り入れながら、実効性のある重点目標を設定した。

その目標を学校通信やホームページ、保護者会等を通して家庭、地域に広報しながら共有し、協働的、組織的な取組を推進した。

② 教職員の適切な配置

ア) 教職員の適正な人事管理 〈学校教育課〉

各学校において、教職員一人ひとりがそれぞれのモチベーションや資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力の育成や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進などの諸課題に組織的かつ適切に対応できるように、全市的な視野に立って、人事異動を行った。

イ) 非常勤講師の活用 〈学校教育課〉

県教育委員会と連携し、非常勤講師の配置によって、学校の実情に応じたよりきめ細かな指導が行える体制を整えた。

③ 校種間の連携の推進

ア) なめらかな接続のための体制づくり 〈教育研修課〉

幼小連携を図るための研修会を開催し、幼児教育長期研修生による報告や校種を越えた情報交換や意見交流を行った。

同じ中学校区の小学校と各園がグループ協議をしたことで、より連携が深まってきている。

小中連携の取組としては、小・中学校の共通課題に応じて各中学校区で協議会を設置したり、小・中学校合同の研修会を開催したりするなど、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに協力できる体制が更に整ってきている。

また、小中一貫教育についての研究を行うため、名陵中学校区を平成 28・29 年度の 2 年間指定校区とし、取組を進めている。

中高連携については、下関地域中高連携教育推進協議会を年 3 回開催した。

イ) 小中一貫教育の推進 〈教育研修課〉

小中一貫教育の推進のため、平成 27 年度に「下関市新しい学校づくり推進委員会小中一貫教育部会」を立ち上げ、下関市の実情に合った小中一貫教育の研究を開始した。特別委員として学識経験者を講師に迎え、継続的な指導を受けるとともに、先進地視察等を行った。また、平成 28 年度より 2 年間、「小中一貫教育研究推進校」として、名陵中学校区を指定し、地域の特色を活かした名陵中学校区にふさわしい小中一貫教育のあり方を研究している。

また、平成 28 年度から小中連携・一貫教育に関する中核市研修を新規で実施し、教員への研修機会を確保している。

(2) 教職員の指導力の向上**① 指導力を高める研修の実施****ア) 教職員の経験に応じた研修の実施 〈教育研修課〉**

幼稚園、小・中学校、高等学校教職員の資質向上を図るため、初任者、2年次、3年次、6年次及び10年経験者を対象に、職務に関する専門的知識と実践上の課題について、それぞれの経験に応じた研修を実施した。

今後は、教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）等の一部改正に基づき教員の研修体制の見直し等を慎重に行い、これからの学校教育を担う教員の資質の向上を目指していく必要がある。

イ) 教職員の専門性を高める研修の実施 〈教育研修課〉

教職員の資質向上を図り、より質の高い教育を提供するため、認定こども園、幼稚園・小・中・高等学校教職員に対して、中核市として市独自に教職員研修講座を全59講座開催した。

また、下関市教育センター供用開始に併せ研修内容を整理し、教職員のニーズや学校における様々な教育課題に対応するため、学校図書館及び小中連携・一貫教育に関する新規の研修会を行った。

さらに、自主研修会「わくわく教師塾」や他校交流研修事業を引き続き行い、教師が自ら学び合う文化の創造と学び続ける教職員を目指している。

ウ) 下関市教育祭の実施 〈教育研修課〉

平成28年8月18日、海峡メッセ下関において、1,592人の教職員及びPTA関係者の参加を得て開催した。主な内容としては、実践発表「平成28年度川中中学校研修体制について～日本一学びが好きな学校への道～」、「小学校外国語活動におけるALTの効果的な活用～ALTと担任による授業の充実をめざして～」、教育講演「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの～父 相田みつを を語る～」及び教職員研究物の展示を行った。

[趣旨] 教育関係者が本市教育に関与する者としての自覚を深め、教育意欲の高揚を図るとともに、本市教育の現状と課題を認識し、これからの進むべき方向性を確認することにより、教育理念である「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～とともに学び ともに育み 未来(あす)を創る 下関の教育～」の実現に真に努めること。

エ) 指導主事等の派遣による校内研修などへの支援体制の充実 〈教育研修課〉

全ての市立幼稚園・認定こども園、小・中学校に、年1回研修支援訪問を行うとともに、各園・学校からの要請に応じて、その都度校内研修等に指導主事等を派遣し、教職員の指導力向上のための支援を行った。また、担当園・校や専門分野を決めて日常的に指導主事等が園・学校訪問を行うことにより、学力向上や生徒指導、特別支援教育等、園・学校の課題に応じたきめ細かな支援に努めた。

さらに、県教育委員会の園・学校訪問にも同行し、県市が協力して、学校の研修の充実、教員の授業力向上に向けて支援を行った。

② 教育センターの整備・運営**ア) 教育センターの整備・運営 〈教育研修課／教育政策課〉**

平成28年1月29日に整備工事が完成し、平成28年3月22日より上田中町庁舎で執務していた教育委員会事務局の一部が移転し教育センターの運用を開始した。

教育センター研修室等全体の平成29年3月31日現在の稼働率は約77.3%、利用延べ人数は34,497人となった。

各種研修・会議等が実施されており、教職員の研修施設として有効活用されている。

(3) 教育環境の整備**① 市立学校の適正規模・適正配置の推進****ア) 市立小・中学校の適正規模・適正配置の推進 〈教育政策課〉**

第2期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画（計画期間：平成27年度～平成31年度）に基づき学校統合に向けた合意形成を進めるため、「学校統合に関する意見交換会」を9回開催した。

本計画に示す統合対象校のうち、保護者及び地域住民の合意の得られた神田小学校（西神田町：児童数49人）は、平成29年3月末をもって閉校し、桜山小学校と統合した。

適正規模・適正配置事業を積極的かつ効果的に進めるため、教育に関する専門的知識や経験を有する職員（適正規模アドバイザー）を配置することで、学校との緊密な連携や保護者・地域住民に対す

る分かりやすく説得力のある説明等を行い、一層の事業推進を図った。

②私学教育の振興

ア) 私学に対する助成 〈学校教育課／教育政策課〉

私立学校等の特色ある教育事業を促進し、本市の学校教育の発展を図るため、私立中学校、私立高等学校及び私立専修学校に対し、事業の実施等に係る経費の一部を助成した。

③学校給食施設の管理運営

ア) 学校給食施設の衛生管理 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、給食施設の改善を図り、衛生管理の徹底に努めた。

イ) 給食施設の管理運営 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、厨房機器の更新を行うとともに、給食施設の維持管理や食材調達の円滑化に努めた。

④安全な施設、教材教具等の整備

ア) 学校施設の耐震化 〈学校支援課〉

「下関市立小・中学校耐震化計画」に基づいて、耐震補強工事を実施し、平成27年度着工の9棟が完了し、耐震化率を93.3%にした。

さらに、緊急の対策が必要な大規模空間を有する11棟の屋内運動場等の吊り天井等の非構造部材の耐震化が完了した。

イ) 学校施設の長寿命化 〈学校支援課〉

小・中学校施設の9割が建築25年を経過している状況において、小・中学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるため、従来の建替ではなく、長寿命化改修によりコストを抑えながら学校施設の安全面や機能の改善を図り、児童生徒に安全で機能的な教室環境を提供する。

老朽化により劣化の進行した学校施設の構造体（柱、梁、壁、床等）の耐久性と建物の安全性を向上させながら、内外装を改修し、機能や性能を現在の学校が求められる水準まで引き上げる小・中学校長寿命化事業に取り組んでおり、長寿命化事業対象校舎の基礎調査を実施中である。

ウ) 学校施設の整備 〈学校支援課〉

小・中学校の安全で安心な教育環境を維持するため学校施設の修繕、改修工事等を実施した。

エ) 教材教具の整備 〈学校支援課〉

小・中学校における教材教具の整備を図った。

オ) 学校図書の実充 〈学校支援課〉

小・中学校の図書室における学校図書の充実に努めた。

⑤就学に対する支援

ア) 奨学金の貸付 〈学校教育課〉

有用な人材育成のため、向学心があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸付け支援した。

また、奨学金制度において、入学に要する費用に充てる資金の準備負担を、無利子の貸付けにより軽減するため、新たに入学一時金を設けた。

イ) 学用品費等の援助 〈学校教育課〉

義務教育について、経済的理由によって就学が困難な市立学校（県立中等教育学校を含む。）の児童生徒の保護者へ就学援助を行った。

ウ) 遠距離通学に対する援助 〈学校教育課〉

小学校で通学距離片道4km以上、中学校で6km以上の児童生徒を対象に、通学費の援助を行った。

また、蓋井島から吉見中学校に進学している生徒に対し、学校寄宿舎青雲寮の代替となる賃貸住宅や光熱水費等に係る経費の一部を援助した。

エ) スクールバスの運行 〈学校教育課〉

豊田、豊浦、豊北地区でのスクールバスの運行を実施した。

3. 社会全体の教育力を高めます

(1) 家庭の教育力の向上

① 家庭への学習支援

ア) 家庭の教育力を高めるための講座の実施 〈生涯学習課〉

家庭教育の充実を図るため、こども園、幼稚園、小学校において保護者を対象に家庭教育学級を開催した。また、平成28年度は、「大人の学び塾」と題して、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

② 家庭教育を支える組織の育成

ア) 社会教育団体の育成 〈生涯学習課〉

下関市PTA連合会及び下関市連合婦人会に補助金を交付した。

(2) 地域の教育力の向上

① 青少年健全育成の体制づくり

ア) 青少年健全育成のための体制整備と啓発 〈生涯学習課〉

青少年健全育成のための市民運動を展開し、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、教育・啓発活動を行った。

イ) 青少年団体への支援 〈生涯学習課〉

青少年団体の育成を図るため、補助金を交付した。

② 青少年の交流活動の場づくり

ア) 多様な体験活動の実施 〈生涯学習課〉

青少年の自立心と協調性を育成する目的で、「チャレンジ・アドベンチャー」などの野外活動を実施した。

イ) 青少年交流施設の活用の促進 〈生涯学習課〉

青年の家において、青少年の規律ある共同生活と研修を通じて交流を深め、人間関係を育て、学校・地域・職場の活動に貢献できる青少年の育成を図った。

また、菊川青年交流館において、青年の交流を通じた自主的活動（青年団活動）の振興促進を図った。

③ 地域活動を支える指導者の育成

ア) 指導者に対する研修の実施 〈生涯学習課〉

子供の指導者として活動している人及び指導者になろうとする人を対象に、身近な救急法や社会教育の推進とまちづくりについて学び、指導者の資質の向上を図った。

(3) 学校・家庭・地域の連携

① 地域とともにある学校づくりの推進

ア) 学校における生徒指導に対する地域連携の強化 〈学校教育課〉

児童生徒の問題行動等に係る実態を把握し、保護者や地域、児童相談所や警察等の関係機関との連絡調整も踏まえ、学校とともに対処策を多角的に検討するなど適切な支援に努めている。

取組の1つとして学校・家庭等に「スクールソーシャルワーカー」を派遣し、生徒指導上の課題解決に向けて対応した。

イ) コミュニティ・スクールの推進 〈教育研修課〉

平成24年度に、全ての小・中学校に下関市コミュニティ・スクール運営協議会が設置され、下関市コミュニティ・スクールとして指定し、平成26年7月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6に基づき、「下関市学校運営協議会規則」（平成26年教育委員会規則第8号）を定め、全ての学校が法に則ったコミュニティ・スクールへと移行した。

また、地域と学校をつなぐコーディネーターの全小・中学校への配置が平成27年6月に完了し、研修会等を行った。また、中学校区ごとの研修会や学校運営協議会委員を対象とする研修会を開催し、コミュニティ・スクールへの周知を図った。

地域において学校運営協議会等を活用した熟議の実施等の支援を行い、学校や地域の特色を活かし

た地域とともにある学校づくりを引き続き目指す。

平成 28 年度の各学校の取組をまとめた「下関市小・中学校コミュニティ・スクール実践事例集」を作成し、学校に配付した。

また、平成 29 年度に向けて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴った、下関市学校運営協議会規則の一部改正や下関商業高等学校のコミュニティ・スクールスタートに向けての準備を行った。

ウ) 学校運営協議会の活性化 〈教育研修課〉

学校や地域の「願い」を実現するために、全小・中学校が家庭・地域と一体となり、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を目指して学校運営協議会を実施している。

また、小・中学校が合同で学校運営協議会を実施するなど、小中連携も進んでいる。さらには、学校運営協議会委員を対象に、講演会や実践発表を行った。

エ) 学校応援団の組織化 〈教育研修課〉

学校応援団には、公民館、ボランティア団体、PTA、地域住民、地域企業、自治会、民生委員、食生活改善推進委員等多くの団体や個人が学校応援団として活動している。

地域住民・保護者ボランティアによる学校支援体制づくりを目指し、学校に必要な支援内容の明確化と計画的な実施、地域住民と教職員が協働する場の創出などに取り組んだ。

オ) 学校と地域との連携の強化・促進 〈教育研修課〉

学校と学校応援団、地域をつなぐコーディネーターを全小・中学校に配置し、スムーズな連携、効果的な取組を促進した。

また、コーディネーターの資質向上及び活動充実のため、各学校のコーディネーターを対象とした情報交換会を行った。

②地域の子供を地域で育てる活動の促進

ア) 「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」の実施 〈生涯学習課〉

地域の教育力向上を図ることを目的として、地域住民等の参画による「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」を実施した。

- ・ふるさと下関協育ネット事業の実施・・・21 小学校、12 中学校
- ・放課後子供教室の実施・・・22 教室

イ) 「放課後子供教室」の「放課後児童クラブ」との連携の推進 〈生涯学習課〉

「放課後子ども総合プラン」に基づき、一体型を中心とした放課後子供教室と放課後児童クラブとの連携の推進を図った。

4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します

(1) 図書館の充実

① 図書館の充実

ア) 図書館基本計画の策定 〈図書館政策課〉

下関市立図書館の基本理念・基本目標を示す下関市立図書館基本計画については、体制を刷新した上で策定スケジュールを見直した。

今後、見直した策定スケジュールに沿って、平成 29 年 12 月までに図書館基本計画を公表することを目指している。

イ) 図書館サービスの向上 〈図書館政策課〉

- ・図書等の資料の整備・充実

総貸出冊数	1,301,716 冊
総貸出件数	312,330 件
図書購入費	49,040 千円
- ・図書館の施設整備

各地域図書館の維持管理に係る修繕を行った。

②子供の読書活動の推進

ア) 学校貸出用図書の充実と人材の育成 〈図書館政策課〉

学校貸出用図書を整備し、幼稚園・保育所や小・中学校等に貸出を行った。

(2) 生涯学習の推進**① 公民館など生涯学習拠点施設の整備と活用の促進****ア) 公民館等の整備と管理運営 〈生涯学習課〉**

生涯学習の推進及びコミュニティ活動拠点として設置している公民館等（公民館 34 館、その他社会教育施設 6 施設）の管理運営を行った。

併せて、指定管理者制度のもと、生涯学習プラザの管理運営を行った。

イ) 公民館学級の実施 〈生涯学習課〉

各公民館を中心に、地区市民学級や地域ふれあい活動を開催し、地域住民の知識や技能を高めた。

ウ) 各種講座の開催 〈生涯学習課〉

市民のリクエストに応じて職員等が出向く「下関市生涯学習まちづくり出前講座」や本市と北九州市が提携した「関門海峡・温故知新塾」を開催するなど、多様な学習機会の提供に努めた。また、成人向けに豊かな生き方を学ぶ「市民文化セミナー」第1分野「歴史・文化」などの文科系分野セミナーに加え、平成27年度より第2分野「自然・科学」などの理科系分野セミナーも開設した。

また、ジャンルを問わず第一線で活躍している方々に、その専門とする世界と自らの人生について語ってもらう機会をつくり、子供たちに夢や希望を与え、未来へ向けて羽ばたく人材を育成することを目的とする事業として、「下関みらい塾」を開催した。

(3) 芸術・学術文化活動の推進**① 美術館の環境整備****ア) 美術館の環境整備 〈美術館〉**

老朽化した受変電設備の取替工事を行ったほか、入館者の安全及び美術館としての美的外観を維持するため、外壁タイルの改修工事を実施した。

② 博物館など学術文化拠点の環境整備**ア) 新博物館の整備と長府博物館の改修 〈歴史博物館〉**

新博物館建設については、平成 28 年 3 月に下関市立博物館の設置等に関する条例（平成 17 年条例第 121 号）を下関市立歴史博物館の設置等に関する条例（平成 28 年条例第 39 号）として全部改正し、名称を下関市立歴史博物館とするとともに、日清講和記念館を分館とし「公の施設」として位置付けた。平成 28 年 4 月末に展示製作が完了し、平成 28 年 8 月に外構関係の工事が竣工。平成 28 年 10 月に東京文化財研究所による展示保存環境調査に合格したため、旧長府博物館より資料を移送し展示などの準備を行い、平成 28 年 11 月 18 日に開館した。

なお、新博物館と一体的に利用する旧長府博物館については、引き続き改修活用計画を検討している。

イ) 共通収蔵庫の整備と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのリニューアル**〈土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム／文化財保護課〉**

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの敷地内に市域の人類学及び考古学、民俗学に係る資料などを集約的に保管する各博物館等施設共通の収蔵施設を設置し、市域にある文化財の収集及び適切な保存を図るとともに、これを市民及び観光客に公開することを整備目的として、平成 28 年度に土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会を立ち上げ、2 回の委員会を開催した。

ウ) 日清講和記念館の改修 〈歴史博物館〉

昭和 12 年建設の記念館について、劣化及び耐震改修に係る検討を関係課所と行ったが、第 2 次総合計画実施計画未掲載となったため、引き続き検討することとなった。

平成 27 年 4 月に下関条約締結 120 周年を迎えたことから、これを台湾、中国、韓国の報道機関が積極的に取り上げたため、海外からの団体客が著しく増加している。

この状況を踏まえ、来館者が容易に施設情報等を取得し、また SNS 等を通じて発信できるよう、Wi-Fi 機器の設置と多言語対応について検討した。

なお、日本遺産「関門「ノスタルジック」海峡」申請に協力し、その構成資産とした。

エ) 考古博物館のリニューアル等 〈文化財保護課〉

開館以来 21 年が経過し、設備の老朽化が進み、常設展示の固定化や教育普及事業の定型化などの課題にも直面している。社会変化やライフスタイルの多様化による市民ニーズに対応し、学校教育か

ら生涯学習まで市民と一体となって活動していく博物館となるよう、将来の博物館の方針を含めたりニューラル計画を立案するための検討を行った。

オ) 豊田ホテルの里ミュージアムの展示リニューアル 〈文化財保護課〉

開館後 13 年を経過した豊田ホテルの里ミュージアムの展示をリニューアルし、本市の自然史博物館として整備するための検討を進めた。

カ) 積極的な学術資料の収集 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、(1)下関の美術の歴史に係る作品、(2)下関の美術の歴史を美術全体の中で位置付けることができる作品、(3)芸術的価値の高い作品を対象とする収集方針に従い、収蔵品の充実に努めている。平成 28 年度は、合計 21 件の美術資料（作品及び資料）を収集した。収集区分別にその内訳を示すと、購入は、狩野察信作「東方朔」を始めとする絵画 10 件、寄贈は、古舘充臣作「古江小路」などの絵画 7 件、松岡敏行作「カンナ」など版画 2 点のほか資料 1 件を併せた 10 件、寄託は、高島北海作「朝鮮金剛山萬瀑洞口」の絵画 1 件である。

歴史博物館は、本市の中核的な歴史博物館・文化財保存公開機関として、博物館展示の質的向上を図るとともに、本市ゆかりの文化財等の散逸を防ぐため、系統的な資料収集及び市内外に所在する本市ゆかりの文化財（古文書・歴史資料・美術工芸品）の収集を行っている。昨年度は、購入・寄託及び寄贈を合わせて 672 件 1,698 点の本市ゆかりの資料を収集している。主な収集資料には、購入に唐物茶壺 銘「玉蟲」（下関市指定有形文化財）など長府毛利家遺品 4 点、寄贈に清末藩家老平野家資料など、寄託には、江戸時代に下関の大年寄、本陣主を務めた伊藤家の資料や、「松風」「鷹山」「星里」「小月」といった下関の陶芸資料などがある。長府毛利家遺品については、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間で全ての資料を公有化（購入）する予定である。また、博物館の役割分担を明確にするとともに、資料の活用をより一層図る観点から、歴史博物館が所蔵する考古資料については考古博物館に、民俗資料については豊北歴史民俗資料館に、それぞれ移管することとした。なお、長府図書館が所管する歴史資料等については、資料の適切な保存と活用を図るため、歴史博物館に移管する作業を進めている。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムにおいては、岩国市教育委員会の古人骨資料 3 体分を寄託資料とした。

豊北歴史民俗資料館においては、長府博物館の民具資料及び豊田文化財資料室の民具資料を移管した。

烏山民俗資料館においては、市域の近代観光関連資料及び市域の近代温泉文化に関する資料の調査・収集を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、市域の生物調査及び化石・岩石調査を行い、多数の標本を収集した。

キ) 調査研究の充実と関係機関との連携 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、特別展として「エドワード・ゴッリー展」、「動き出す！絵画 ペール北山の夢展」の 2 本を開催したが、後者は、和歌山県立近代美術館、東京ステーションギャラリーと下関市立美術館の 3 館共同企画として実施したものである。平成 26 年度から共同での準備作業に着手し、共同研究を進め、その成果をもとに作品選定、出品交渉、作品の借用、輸送展示設営にわたる業務を分担した。研究成果は、展覧会図録への担当学芸員の寄稿を通じても発表している。

考古博物館では、研究紀要第 21 号を刊行した。また、山口県博物館協会が主催する研修会に積極的に参加し、博物館活動の現状と課題などについて討議した。

また、日本博物館協会中国支部が主催する研修会に参加し、資料保存・修復の現状と課題について事例発表し、その他博物館施設との議論を深めた。

歴史博物館では、山口県博物館協会主催の研修会、全国歴史民俗系博物館協議会、文化庁主催の美術工芸品防災防犯対策研修会及び公開承認施設担当者会議に出席し、地域博物館における研究課題の把握、資料の保存や災害対策・相互支援に関する知識を深めるとともに、関係機関との連携強化を図った。

また、釜山広域市の釜山市博物館、韓国国立海洋博物館や北九州市立いのちのたび博物館と今後の学術連携について協議した。さらに、日韓の民間団体が共同提案した朝鮮通信使関係資料のユネスコ世界記憶遺産登録申請に協力した。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、下関地域及び山口県内の自然史に関する調査・研究を行い、それらの研究成果の一部をまとめた「豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書第 9 号」を刊行した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、国内研究機関（鳥取大学、東京大学総合研究博物館、京都大学等）と中国の関係機関（上海博物館、吉林大学等）の所属研究者と共同で中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の研究を継続し、平成 29 年 2 月 18 日には研究成果についての講演会を開催した。加えて九州大学アジア埋蔵文化財研究センターと古人骨資料の研究連携・協力に関する覚書に基づき共同研究を実施した。また、外部より発掘調査で出土した人骨及び獣骨の鑑定依頼について、所見報告書を作成した。土井ヶ浜遺跡に関する研究成果の一部は、「研究紀要第 12 号」にまとめ刊行した。

烏山民俗資料館では、大分県日田市咸宜園教育研究センター及び福岡大学と連携し、豊浦地域の近世・近代関連資料を調査した。

ク) 魅力的・効果的な展示 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、平成 28 年度中に国内外の地域・時代・ジャンルをそれぞれ異にする特別展と所蔵品展を開催した。特別展としては、世界的な人気を誇るアメリカの作家のわが国初の本格的回顧展「エドワード・ゴッリー展」及び大正期の出版人・展覧会企画者として知られる北山清太郎を軸に日本の近代美術の転回点を振り返る「動き出す！ 絵画 ペール北山の夢展」の 2 本を開催した。所蔵品展では、年度内に 5 本を開催したが、各回に〈特集〉を設ける形をとり、うち 1 回については、「度会文流斎 謎のカリスマ御用絵師」と題し、外部所蔵者からの作品・資料の借用を加えて小企画展としての拡充を試みた。

考古博物館では、「弥生人が去った後—古墳時代の綾羅木郷台地」「海城・串崎城と長府の町」「響灘沿岸の弥生時代墳墓」の 3 つの企画展、発掘速報展「掘ったほ！ 下関 2016」を開催し、地域の歴史や文化財に愛着を持つことを目的とした展示を行い、入館者が増加した。

歴史博物館では、常設展のほか企画展として「時代を拓く海峡—攘夷戦・下関戦争・四境戦争」と「下関の禅宗文化—功山寺・日頼寺の至宝」を開催した。また、平成 29 年 2 月 10 日から 3 月 26 日までの会期で特別展「下関のオランダ宿—本陣伊藤家と佐甲家」を開催した。

なお、歴史博物館公式アプリケーション「しものせき ワクワク れきはく」を作成し、博物館情報を積極的に発信するとともに、展示室内において展示資料の解説（5ヶ国語対応）や拡大画像が、スマートフォンやタブレットで閲覧できるようにした。

東行記念館では、幕長戦争 150 年記念企画展「小倉口の戦い—決戦の行方」を開催したほか、「毛利家恩古臣 高杉晋作」「奇兵隊士の光と影」「晋作の面影—紡ぐ想い」の 3 つの常設企画展を開催した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、「貝輪 Shell Bracelet of Yayoi」、「骨の一生—人骨に刻まれた過去の記憶—」、「弥生人集団—土井ヶ浜タイプ」「道具の目・動物の目」の 4 つの企画展と、貝標本のコレクション展を 2 回、開催した。

烏山民俗資料館では、企画展「西海にのぞむ村々」において、明治維新後の漁村部の諸様相を遠洋漁業民の動向や特産品の海外輸出などから明らかにする展覧会を開始した。さらには、企画展「関門海峡から世界へ」においては、明治維新後の関門海峡を中心とした都市部の緒様相を海外航路など交通機関の変遷から明らかにする展覧会を開催した。また、そのほかに所蔵品展を合計 4 回開催した。

豊北歴史民俗資料館では、「明治の小学校—文字資料から読む豊北 2—」、「写真でみる浜出祭のうつりかわり」、「【住まい】の民具とアート展—民具と【葦葺屋根】鉛筆スケッチ画・写真展—」、「昔のくらしと今のくらし」の 4 つの企画展を実施した。いずれも資料収集・整理活動の成果としての民具、文献資料から地域を考える展示を、地域住民との協力の上で開催した。

ケ) 普及活動の充実 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、普及活動を館内で開催する講演会や造形教室（実技体験講座）を柱に行ってきたが、平成 28 年度は、館外からの出前講座や出前授業の要請に対応する旨学校を中心に告知し、座学型・実技体験型合わせて 10 件の依頼を受け、学芸員を講師として派遣した。また、美術館を会場とする催事では、夏休みの小学生を対象とした造形教室として、「サマー・アート・スクール 英語でステンシル版画に挑戦！」では、講師としてアメリカ国籍の作家を招へいし、英語でのコミュニケーションという要素を加味したこれまでにない試みも行った。また、情報発信においては、紙媒体によるものと併せ、電子媒体の利用を図り、平成 26 年度以来開設しているフェイスブック、ツイッターなど SNS による告知を展開し、美術館活動の紹介に努めた。

考古博物館では、小学校の歴史学習を中心とした学校単位での見学を多数行ったほか、館内での体験講座や出前講座・出前授業も積極的に受け付けた。また、アンケートの実施等により、市民ニーズの把握に努めるとともに、事例調査を行って新規メニューの開拓を目指している。そのほか、

親しみの持てる施設として多くの市民に利用されるよう、平成 27 年に設定した公式キャラクター「ぶえ吉」の周知や着ぐるみの活用を積極的に行っている。

歴史博物館では、ケーブルテレビや新聞の特集などを通じて、また、観光協会、ロータリークラブ、ライオンズクラブなどの各市民団体からの要請に基づいて、開館に伴う博物館や展示の紹介などを積極的に行うとともに、出前講座を実施した。また、文化庁主催のミュージアム・エデュケーター研修に参加し、教育普及の考え方や手法について学んだ。

東行記念館では、展覧会に併せてギャラリートークや市民向け講座を開催した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムにおいては、平成 26 年度より行っている日中国際共同研究の成果講演会を開催した。また、平成 26 年度より自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」と題して、自然人類学を中心とした体験型の講座を実施し、これらの内容を出前授業として市内の学校、公民館、教育施設等にて開催した。また、土井ヶ浜遺跡の出土遺物である貝輪を実際に作る体験講座「貝輪づくり」を開催した。

豊北歴史民俗資料館では、当館の県指定有形建物や所蔵資料である民具を使った小・中学生向けの体験型学習を始め、歴史民俗講座や豊北郷土文化友の会と連携した歴史文学講座、古文書整理を実施した。

コ) 博学連携の強化 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

考古博物館では、未来を担う子供たちが郷土に誇りを持ち、郷土を愛する若者に育つことを願って、市教育研究会小中学校社会科部会と連携を強化し、学校にはない歴史の実物資料を使うなどして、学校教育の支援のための活用メニュー等の作成を検討した。

美術館では、平成 28 年度も市内に所在する 2 つの大学—梅光学院大学と東亜大学と展覧会開催事業に関し、連携事業を展開した。梅光学院大学とは、例年「展覧会ワークショップ」を実施しているが、平成 28 年度は、所蔵品展に関し、「夏の思い出を語りましょう」と題し、教員・学生が美術館の所蔵品から作品を選定し、展示を構成する試みを行った。東亜大学とは、特別展「動き出す！ 絵画 ペール北山の夢」の関連催事として、大学教員と美術館学芸員によるトークイベント「アートトークしものせき 2017〈あなたの知らない都市・下関〉」及び市街巡見（まちあるき）企画「下関の〈近代〉を訪ねて」を実施した。

歴史博物館では、学校行事で来館する小学生への対応について、学校教員と数度にわたって協議し、授業の進度や、歴史の認識状況などを十分に把握した上で、展示解説やフィールドワークなどを行ったほか、高校の社会科教員と連携し、高校生の地域史学習を支援した。また、小学校社会科研究部会教員研修、東部 8 校 P T A 連絡協議会研修を博物館で実施し、学校教育における博物館連携について協議した。なお、開館式イベントに豊浦小学校 6 年生全員が参加した。

サ) 博福連携の検討 〈文化財保護課／歴史博物館〉

考古博物館における博福連携の一環として、高齢者福祉施設入所者への広報、誘致を積極的に推進した。また、休憩所弥生の里において、地域の子育て親子の交流促進や子育て関連情報の提供を目的として、就学前の児童とその保護者を対象に地域子育て拠点施設として活用を開始し、非常に好評を博している。施設利用者の児童と保護者には考古博物館への来館を促すため、様々なコラボレーションイベントを積極的に実施した。

歴史博物館では、高齢者福祉施設ほか、福祉施設や老人クラブなどへ来館を積極的に働きかけた。

(4) 文化財保護活動の推進

① 歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

ア) 指定文化財及び登録文化財の管理状況の把握 〈文化財保護課〉

本市が所有者又は管理団体となっている建造物、史跡、名勝、天然記念物等の指定文化財について、適切な維持管理に努め、台風、豪雨、地震等の発生に際しては、被害状況の迅速な把握に努めた。また、民間が所有する指定文化財については、文化財保護指導員などによる定期的な巡視を行うとともに、腐朽した説明板などの交換を積極的に行った。

重要文化財旧下関英国領事館については、平成 26 年 7 月 18 日の再開館後、昨年同様指定管理者による公開活用を行い、英国文化について情報発信するとともに、継続した文学サロンの実施、休憩室（カフェ&パブ）の運営によって、入館者から好評を得ており、平成 29 年 2 月 18 日に通算入館者数 200,000 人に到達した。平成 29 年度からの新たな指定管理者に対して、平成 28 年度において減少した入館者の現状分析を行った上で、増加に向けた施策の構築や選定委員会における委員からの様々な意見を踏まえた事業を実施するよう指示した。

また、地震等による旧領事館への被害防止や周辺景観向上などを目的として隣接ビルを解体の上、

隣接地を公有化して整備した。

イ) 指定文化財に対する保護措置の強化 〈文化財保護課〉

文化財の保存修理を行う所有者及び指定文化財の定期的な維持管理を行っている所有者に対して、必要に応じて補助金を支出した。

今後、保存修理等の措置が必要と考えられる指定文化財は、基礎調査等の実施により現状の把握に努め、破損などが顕著な文化財については、所有者に対して保存修理などを助言するとともに、次年度着手に向けて補助金の確保に努力した。

ウ) 埋蔵文化財に対する適切な保護と活用 〈文化財保護課〉

確認調査 10 件を実施して、埋蔵文化財の基礎情報を収集した。このうち、確認調査 1 件については、史跡長州藩下関前田台場跡隣接地（前田茶臼山遺跡）の確認調査を実施し、史跡の範囲等について検討するための情報収集に努めた。

公共工事、宅地開発や不動産売買などに伴う埋蔵文化財の分布照会は 1,141 件を数え、前年度より 190 件増加した。1,000 ㎡以上の開発行為に伴う開発事前協議は 31 件あり、前年度より若干減少した。これらの中から、文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく発掘届若しくは発掘通知の提出は 99 件（前年比 12 件減）あり、埋蔵文化財保護のための調整を行った。

エ) 市域に所在する文化財の悉皆調査 〈文化財保護課〉

自然、歴史、文化遺産を活かしたまちづくり実現のため、文化財保護のマスタープランである「歴史文化基本構想」の策定を念頭に、その手法等について研修会への参加などにより、情報の収集、検討に努めた。また、文化財総合調査の実施に着手した。その一環として、北九州市と連携し、国が推進する「日本遺産」について、関門海峡をテーマとして取り組み、『関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～』と題するストーリーを構築し、平成 29 年度の認定に向けて文化庁へ認定申請を行った。

②文化財の整備活用の推進

ア) 長州藩下関前田台場跡の整備活用 〈文化財保護課〉

国史跡長州藩下関前田台場跡については、適切な管理・活用を図るため、定期的な除草等環境整備を実施した。また、史跡の将来像を見据えて策定した保存管理計画について、周知を図るため簡易版を作成した。同時に、「明治日本の産業革命遺産」の関連資産として位置付けられたことや、日本遺産の構成文化財として位置付けたことにより、複合的な活用を視野に、ハード整備にとらわれず、柔軟な整備活用のあり方を検討し、実現に向けて関係機関等との協議・調整を実施した。

イ) 国指定三史跡の整備検討 〈文化財保護課〉

昭和 40 年代後半から平成初期にかけて公有化し、将来の整備公開活用に備えている国指定三史跡について、周辺域に県内屈指の密度で分布する周知の埋蔵文化財包蔵地を含め、史跡の道ウォーク等の史跡散策行事の開催や、発掘調査実施時の現地公開説明会等の開催により、普及啓発を積極的に企画実施し、愛護意識の醸成に努めた。今後は、公開活用を積極的に推進する。

ウ) 長府藩主毛利家墓所の整備 〈文化財保護課〉

県指定文化財となった長府藩主毛利家墓所について、その立地性により優れた観光資源となることから、環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、一般公開及び説明会を開催し、愛護意識の啓発に努め、将来の整備活用に備えた。

また、覚苑寺墓所の木戸門が腐朽し、崩壊の懸念が生じている。このため、管理団体の責務である史跡の適切な保護と維持管理を目的に、来訪者に被害が生じないよう木戸門を解体修理するため、指定者である県と改修に係る財政支援について協議を行った。

エ) 天然記念物などの現状把握 〈文化財保護課〉

記念物のうち、名勝、天然記念物（樹木類）については、周辺環境及び気候環境の変化に連動して適切な維持管理に課題を抱えているものが多い。このため、所有者等の協力のもと逐次状況把握を実施し、今後の適切な管理のあり方を検討するための情報収集に努めるとともに、必要な保護措置を実施した。

オ) 天然記念物などの保存管理計画の策定検討 〈文化財保護課〉

指定文化財の適切な管理・活用を目的に、管理団体として所有者等に対し、保存管理計画策定の必要性について説明するよう心がけ、所有者、管理団体間の共通認識の醸成に努めた。

(5) 人権教育の推進

①関係機関と連携した多様な人権教育の推進

ア) 家庭、地域社会への情報提供の充実 〈生涯学習課〉

人権に関する各種研修会や行事の案内等、市内各教育支所、公民館等に情報提供を行った。また、人権に関する標語、作文、ポスター等を市内各教育支所、公民館、小・中学校に配布した。

イ) 学習機会の充実 〈生涯学習課〉

人権尊重の職場や地域環境づくりについての理解や認識を深めるために、人権学習講座を企業、学校、団体、グループ等で開催した。

②教職員研修の充実**ア) 人権課題に応じた研修の計画的な実施 〈教育研修課〉**

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「人権教育推進資料」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。

資料編

I 学校教育関連資料

1 下関市学校教育指導上の努力点

下関市教育理念
夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志
～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

- I 生さる力の基礎を培う 就学前教育の推進**
 - 1 連携の強化
 - 2 研修の充実
- II 確かな学力の向上**
 - 1 教育課程の工夫・改善
 - 2 学力向上に向けた取組の推進
 - 3 時代の進展に対応した教育の推進
 - 4 下関商業高等学校におけるビジネス教育の推進
- III 豊かな心の育成**
 - 1 思いやりのある豊かな心の育成
 - 2 「かやり」つながりを基盤とした成長促進的な生徒指導の推進
- IV 健やかな体の育成**
 - 1 体力の向上に向けた取組の推進
 - 2 健康教育の推進
 - 3 食育の推進
- V コミュニティ・スクールの推進**

地域とともにある 学校づくりの推進
- VI 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進**
 - 1 特別支援教育の充実
 - 2 少人数指導の充実
- VII 学校の組織力の向上**
 - 1 学校評価等の効果的活用
 - 2 校種間連携の推進
- VIII 教職員の指導力の向上**
 - 1 校内研修の活性化
 - 2 校外研修の積極的活用
 - 3 OJTの推進
- IX 安心・安全な教育環境の整備**
 - 1 防災教育の推進
 - 2 子供を守る安全対策の充実
 - 3 危機管理体制の確立

平成29年度 下関市学校教育指導上の努力点
下関市教育委員会

2 市立学校一覧

(1) 幼稚園

区分	所在地	学級数	園児			教員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成28年度		26	468	228	240	38 (38)	16	16
平成29年度		22	402	189	213	40 (31)	14	14
1 第一	貴船町三丁目11-12	1	19	9	10	3 (3)	※1○	配
2 第五	山の田北町4-8	1	15	9	6	2 (2)	※1○	配
3 豊浦	長府亀の甲二丁目2-82	2	35	16	19	4 (3)	※1○	配
4 小月	小月宮の町15-20	2	42	17	25	4 (4)	※1○	配
5 内日	休 園							
6 江浦	彦島江の浦町三丁目4-5	1	24	9	15	3 (3)	※1○	配
7 清末	清末西町一丁目6-1	5	98	46	52	6 (3)	※1○	配
8 生野	幡生本町8-11	1	13	10	3	2 (3)	○	配
9 向山	向山町14-1	1	13	3	10	3 (1)	※1○	配
10 川中西	古屋町二丁目8-1	1	22	8	14	2 (2)	※1○	配
11 川中	伊倉本町21-1	2	60	33	27	3 (3)	○	配
12 垢田	新垢田南町三丁目1-25	1	6	3	3	2 (2)	※1○	配
13 豊東	菊川町大字上大野字上ノ原20-1	3	43	19	24	4 (1)	○	配
14 室津	豊浦町大字室津下字海原669-7	1	12	7	5	2 (1)	○	配

平成28年度末をもって岡枝幼稚園、小串幼稚園を廃止。

() は非常勤、外教

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

※1 保健室と職員室を共用して使用

平成 29 年 5 月 1 日現在

校 舎				用 地				左の内 借 地	区 分
校 舎 保 有 面 積				面 積					
総 数	鉄 筋	鉄 骨	木 造	総 数	建物敷地	屋外運動場	その他		
11,690	5,832	5,574	284	42,903	20,693	19,170	3,040		平成 28 年度
10,901	5,832	5,045	24	38,458	18,262	17,662	2,534		平成 29 年度
927	717	210		4,174	1,842	1,911	421		1 第 一
787		787		2,005	816	1,156	33		2 第 五
1,035	1,025		10	2,989	1,781	1,208			3 豊 浦
1,005	974	31		3,121	1,616	1,363	142		4 小 月
499		499		2,488	874	1,614			5 内 日
983	956	27		3,498	1,534	1,964			6 江 浦
854	620	234		3,058	1,604	1,454			7 清 末
850		850		3,800	1,382	1,609	809		8 生 野
816	789	27		2,134	1,243	660	231		9 向 山
789	751	30	8	2,614	1,032	1,582			10 川中西
1,010		1,010		2,740	1,480	904	356		11 川 中
551		545	6	2,177	1,384	793			12 垢 田
456		456		2,550	894	1,114	542		13 豊 東
339		339		1,110	780	330			14 室 津

(2) 幼保連携型認定こども園

	所在地	学級数	園児			教員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成28年度		41	699	362	337	41 (37)	8	8
平成29年度		42	715	368	347	51 (29)	8	8
1 王 喜	王喜本町 2-11-12	5	103	71	32	7 (5)	※1○	有
2 菊 川	菊川町大字下岡枝字高田 1504	4	83	41	42	7 (6)	○	有
3 菊川田 部分園	菊川町大字田部字水神 907-1	2	69	43	26	3 (3)	○	有
4 西 市	豊田町大字矢田字横の田 184	6	57	30	27	5 (3)	○	有
5 豊田下	豊田町大字手洗字堂本 273-1	6	37	20	17	5 (2)	○	有
6 川 棚	豊浦町大字川棚寺田 5281	9	195	94	101	11 (6)	※1○	有
7 黒 井	豊浦町大字黒井字下北岡 2159-1	6	111	39	72	8 (2)	○	有
8 豊 北	豊北町大字滝部字上ノ原 2992-1	4	60	30	30	5 (2)	※1○	有

平成27年度の子ども・子育て支援新制度施行に伴い、幼保連携型認定こども園が開設。

認定こども園の各数値は全体数値（旧幼稚園と旧保育園の合算値）

（ ）は非常勤、外教

○有の意味（配は、給食配膳室のみ）

※1 保健室と職員室を共用して使用

平成 29 年 5 月 1 日現在

校 舎				用 地				左の内 借 地	区 分
校 舎 保 有 面 積				面 積					
総 数	鉄 筋	鉄 骨	木 造	総 数	建物敷地	屋外運動場	その他		
7,169	5,990	942	238	33,945	20,404	9,098	4,443	平成 28 年度	
7,169	5,990	942	238	33,945	20,404	9,098	4,443	平成 29 年度	
713	703	11		2,644	714	998	932	1 王 喜	
578	578			2,801	933	1,114	754	2 菊 川	
355		117	238	2,171	1,140	950	81	3 菊川田 部分園	
1,124	1,124			4,870	2,953	1,000	917	4 西 市	
814		814		4,907	906	2,272	1,729	5 豊田下	
1,833	1,833			5,870	4,485	1,355	30	6 川 棚	
768	768			2,331	1,582	749		7 黒 井	
984	984			8,351	7,691	660		8 豊 北	

(3) 小学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	児童			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成28年度		499	99	12,626	6,443	6,183	813	53		51	(1)	15	5	19(31)	61(24)	639	577	34
平成29年度		496	104	12,561	6,426	6,135	816	51		51		16	3	14(35)	59(33)	628	543	33
1 養治	本町二丁目6-1	6	2	125	65	60	12	1		1				(1)		9	16	
2 文関	上田中町一丁目14-1	18	4	527	251	276	30	1		1	1			1	2(2)	24	13	
3 名池	名池町10-1	6	2	179	96	83	17	1		1				(1)	2	8	18	
4 王江	入江町9-1	6	2	101	47	54	10	1		1				(1)	2	9	11	
5 関西	関西町12-1	6	1	79	34	45	9	1		1				(1)	2	7	14	
6 桜山	上新地町二丁目5-10	9	2	220	116	104	15	1		1				(1)		11	17	
7 向山	向山町14-1	12	2	317	157	160	18	1		1	1			1	2(1)	17	25	
8 生野	幡生本町7-14	12	4	359	192	167	24	1		1				(1)	2(1)	19	8	
9 本村	彦島本村町三丁目16-1	6	2	96	47	49	11	1		1				(1)		8	14	
10 西山	彦島迫町五丁目13-21	7	2	195	109	86	13	1		1				1		9	17	1
11 江浦	彦島江の浦町三丁目4-1	12	3	319	151	168	21	1		1	2			1		15	15	
12 角倉	彦島角倉町三丁目5-5	11	2	287	132	155	18	1		1				1		15	21	
13 向井	彦島向井町二丁目20-1	11	2	263	123	140	18	1		1				(1)		14	11	
14 小月	小月西の台6-1	11	3	292	150	142	19	1		1				(1)	2(1)	15	9	
15 清末	清末西町一丁目6-1	18	2	496	248	248	24	1		1		1		1	2(2)	18	8	
16 王司	王司神田六丁目9-1	16	3	453	223	230	23	1		1				(1)	2(2)	19	7	
17 豊浦	長府亀の甲二丁目2-1	29	7	922	481	441	50	2		2	1			1	3(4)	37	18	
18 勝山	秋根上町二丁目2-1	23	3	731	369	362	34	1		1	1			1	3(2)	27	12	
19 川中	伊倉本町19-1	23	5	702	365	337	36	1		1	1			1	3(2)	29	11	
20 安岡	安岡町三丁目5-5	24	4	757	398	359	38	2		2		1		1	3(2)	28	10	
21 吉見	吉見里町一丁目8-1	8	1	181	99	82	12	1		1				(1)	2	9	11	2
22 吉母	大字吉母字塩谷287	3	0	8	5	3	5	1		1				(1)	1(1)	3	7	
23 蓋井	大字蓋井島字田町126-2	3	0	6	4	2	4			1				(1)		3	2	
24 吉田	大字吉田字高田1044-2	5	2	49	27	22	9	1		1				(1)	2	8	5	
25 王喜	王喜本町二丁目12-30	8	4	185	94	91	16	1		1				(1)	2	11	5	
26 内日	大字内日下字坂本1031	3	0	18	7	11	6	1						(1)	2	4	8	3
27 山の田	山の田中央町13-1	18	3	556	294	262	29	1		1	1			1	2(2)	23	14	
28 川中西	古屋町二丁目9-1	15	4	441	230	211	24	1		1	1			(1)	2(1)	19	14	
29 垢田	新垢田西町一丁目1-1	12	3	298	162	136	21	2		1				1	2(1)	17	18	2
30 長府	長府松小田北町14-1	16	5	458	239	219	27	1		1	1			(1)	2(2)	23	20	
31 一の宮	一の宮住吉一丁目8-1	17	3	483	270	213	26	1		1	1			1	3(1)	21	8	6
32 熊野	熊野西町10-1	25	3	802	396	406	36	2		2	1			1	3(3)	26	7	6
33 豊東	菊川町大字上野字上ノ原20-1	9	2	223	116	107	15	1		1		1		(1)	2(2)	12	9	3
34 岡枝	菊川町大字吉賀字金蔵寺2494	6	2	128	64	64	11	1		1				(1)	2(1)	8	8	
35 檜崎	菊川町大字檜崎字殿屋敷215	6	0	72	38	34	8	1		1				(1)	2	6	9	
36 豊田中	豊田町大字浮石字鳥ヶ浴685-2	3	0	29	10	19	5	1		1				(1)		4	9	
37 西市	豊田町大字矢田字今熊132	6	2	122	65	57	10	1		1	1			(1)		8	9	2
38 豊田下	豊田町大字洗字貴布祿303	6	1	62	27	35	9	1		1				(1)		7	6	
39 室津	豊浦町大字室津下字新田152-1	6	1	58	32	26	9	1		1				(1)		7	6	2
40 誠意	豊浦町大字黒井字才舩2200	9	2	209	114	95	16	1		1	1			(1)		12	16	
41 川棚	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	14	3	424	215	209	23	1		1	1			(1)		17	6	4
42 小串	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	6	1	62	32	30	9	1		1				(1)		8	7	
43 宇賀	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	4	1	28	9	19	7	1		1				(1)		5	11	2
44 神玉	豊北町大字神田上野中2704-1	3	1	33	16	17	6	1		1	1			(1)		4	13	
45 角島	豊北町大字角島字正ノ田1768	3	0	28	15	13	5	1		1				(1)		4	7	
46 神田	豊北町大字神田北東字永浴2519-1	3	0	21	11	10	5	1		1				(1)		4	9	
47 阿川	豊北町大字阿川字下宅野3755-1	4	2	34	23	11	8	1		1				(1)		6	6	
48 栗野	豊北町大字栗野字妙見3349	3	0	10	4	6	5	1		1				(1)		3	10	
49 滝部	豊北町大字滝部字常安1200	6	1	113	54	59	10	1		1				(1)		8	8	

() は非常勤職員、外数

○有の意味(配は、給食配膳室のみ)

保健室	給食室	水泳プール	校舎等									用地				区分
			校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積				左の内借地		
			総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
50	50	47	205,000	196,116	7,726	1,158	42,450	11,606	30,844	978,053	384,932	452,567	143,567	30,611	平成28年度	
49	49	46	199,092	190,181	7,615	1,296	41,676	11,606	30,070	963,032	375,919	446,431	140,682	30,611	平成29年度	
○	配	○	4,593	4,456	137		809		809	10,589	5,131	4,607	851		1 養 治	
○	○	○	6,392	6,294	7	91	968		968	18,679	7,752	6,646	4,281		2 文 関	
○	○	○	3,748	2,961	787		887		887	15,920	6,945	7,102	1,873		3 名 池	
○	○	○	3,646	3,522	114	10	729	729		14,454	4,537	5,040	4,877		4 王 江	
○	○	○	3,950	3,787	163		965		965	20,947	9,009	7,855	4,083		5 関 西	
○	配	○	4,891	4,773	118		785		785	11,647	4,494	4,768	2,385		6 桜 山	
○	○	○	7,401	7,283	118		936		936	18,074	8,017	6,778	3,279		7 向 山	
○	○	○	4,355	4,305	50		928		928	14,271	5,449	7,184	1,638		8 生 野	
○	配	○	4,685	4,370	315		806		806	14,537	6,463	5,298	2,776		9 本 村	
○	配	○	4,946	4,738	208		879		879	25,481	12,731	11,603	1,147	20,832	10 西 山	
○	配	○	4,783	4,638	145		918		918	18,047	10,018	7,825	204		11 江 浦	
○	配	○	6,030	5,761	269		1,046	24	1,022	18,385	7,420	8,843	2,122		12 角 倉	
○	配	○	5,029	4,823	206		890		890	31,930	13,116	14,583	4,231		13 向 井	
○	○	○	3,778	3,659	119		1,156	1,156		26,279	8,618	9,058	8,603		14 小 月	
○	○	○	4,481	4,216	92	173	814		814	19,842	9,189	9,315	1,338		15 清 末	
○	○	○	4,327	4,258	69		981	981		18,672	7,553	9,865	1,254		16 王 司	
○	○	○	8,772	8,606	157	9	1,404		1,404	29,261	20,743	8,518			17 豊 浦	
○	○	○	5,658	5,574	84		1,123		1,123	29,844	10,369	12,931	6,544		18 勝 山	
○	○	○	6,540	5,400	1,140		1,181		1,181	24,071	9,501	12,762	1,808		19 川 中	
○	○	○	6,978	5,988	990		1,189		1,189	20,902	9,004	9,965	1,933	9,575	20 安 岡	
○	○	○	3,971	3,901	70		980		980	24,810	8,164	12,319	4,327		21 吉 見	
○	○	○	1,961	1,843	118		868		868	11,517	5,349	6,168			22 吉 母	
○	○	○	322		322		761		761	8,637	1,571	4,902	2,164		23 蓋 井	
○	○	○	1,924	1,820	33	71	868		868	15,285	4,653	10,632			24 吉 田	
○	○	○	2,782	2,741	41		906	906		17,861	7,386	8,739	1,736		25 王 喜	
○	○	○	2,233	2,188	45		881		881	13,323	6,657	6,018	648		26 内 日	
○	○	○	5,772	5,697	75		811		811	17,902	6,946	8,798	2,158		27 山 の 田	
○	○	○	5,313	5,165	148		788		788	17,018	6,005	9,822	1,191		28 川 中 西	
○	○	○	6,319	6,248	71		1,011		1,011	27,104	9,928	12,728	4,448		29 垢 田	
○	○	○	7,335	7,250	85		1,131		1,131	30,014	10,878	10,932	8,204		30 長 府	
○	○	○	5,890	5,890			1,018		1,018	32,475	11,110	12,200	9,165	204	31 一 の 宮	
○	○	○	6,051	5,990	61		1,015	1,015		31,042	11,935	11,740	7,367		32 熊 野	
○	○	○	3,351	2,712	620	19	648		648	21,195	10,336	8,863	1,996		33 豊 東	
○	○	○	2,799	2,769	30		544		544	17,131	5,916	6,546	4,669		34 岡 枝	
○	○	○	2,011	1,686	69	256	525		525	19,664	5,730	8,699	5,235		35 檜 崎	
○	配	○	1,817	1,769	17	31	698	698		26,081	7,174	9,300	9,607		36 豊 田 中	
○	配	○	3,076	3,037	3	36	694		694	14,331	7,680	6,008	643		37 西 市	
○	配	○	1,696	1,665		31	680	680		15,966	7,153	8,813			38 豊 田 下	
○	配		2,113	2,063		50	785	785		19,699	8,380	11,319			39 室 津	
○	配		4,062	3,972	75	15	561		561	16,216	4,685	11,375	156		40 誠 意	
○	配	○	4,169	3,945	116	108	911		911	22,290	9,993	12,297			41 川 棚	
○	配		3,144	3,098	13	33	607	607		14,632	7,809	5,835	988		42 小 串	
○	○	○	2,542	2,480		62	779	779		11,772	4,773	6,269	730		43 宇 賀	
○	○	○	2,743	2,676		67	670	670		16,487	3,853	11,404	1,230		44 神 玉	
○	○	○	1,962	1,807	128	27	463	463		16,445	3,193	8,799	4,453		45 角 島	
○	○	○	2,065	1,943	34	88	646	646		13,210	3,471	9,666	73		46 神 田	
○	○	○	1,850	1,736		114	673	673		13,036	3,145	9,802	89		47 阿 川	
○	○	○	1,913	1,810	103		566		566	30,505	6,962	12,648	10,895		48 栗 野	
○	配	○	2,923	2,868	50	5	794	794		25,552	9,025	13,244	3,283		49 滝 部	

(4) 中学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	生徒			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成28年度		211	40	6,159	3,185	2,974	456	27		23		6	1	16(6)	17(5)	276	443	16
平成29年度		206	44	5,924	3,053	2,871	451	28		23		7		15(7)	15(7)	269	449	16
1 日新	上田中町一丁目15-1	9	2	278	138	140	23	1		1				1		14	26	
2 向洋	向洋町一丁目14-1	6	3	148	64	84	17	1		1				1		10	21	
3 文洋	上新地町五丁目6-1	8	1	171	95	76	20	1		1				1		7	33	
4 名陵	丸山町一丁目13-3	6	3	130	64	66	15	1		1				1		9	19	
5 東部	清末陣屋5-10	17	3	566	274	292	36	2		1	1			1	2(2)	19	22	
6 長府	長府逢坂町3-1	15	2	459	239	220	28	1		1	1			1	2(1)	18	19	
7 勝山	秋根上町二丁目5-1	18	2	598	319	279	33	1		1	1			1	3(1)	21	16	2
8 川中	伊倉新町四丁目6-1	19	3	644	339	305	41	5		2	2			1		26	54	
9 安岡	安岡町四丁目2-1	11	1	322	172	150	21	1		1	1			1	2(1)	13	21	2
10 吉見	永田本町一丁目3-10	4		106	60	46	10	1		1				1	2	5	11	
11 彦島	彦島江の浦町二丁目25-1	13	3	402	204	198	30	1		1				1		16	24	
12 玄洋	彦島本村町二丁目8-1	6	2	150	77	73	16	1		1				(1)		8	27	
13 木屋川	木屋川南町二丁目660	4	2	98	63	35	12	1		1				1	2	7	10	
14 内日	大字内日下字福寿庵1196-2	3	2	24	13	11	10	1		1				(1)		5	7	1
15 山の田	山の田本町8-1	13	2	443	221	222	28	2		1				1		17	21	
16 堀田	大字堀田字笹原1127-6	12	2	341	180	161	24	1		1				1		15	23	
17 長成	長府日の出町4-1	9	2	231	132	99	18	1		1				1		12	18	2
18 菊川	菊川町大字下岡枝字上室屋1-2	7	3	195	101	94	17	1		1				(1)	2(2)	11	12	
19 豊田	豊田町大字矢田字鎮守434	6	1	120	72	48	12	1		1				(1)		7	12	
20 豊洋	豊浦町大字黒井字馬神724-1	5	2	127	56	71	12	1		1				(1)		8	14	
21 夢が丘	豊浦町大字小串字夢が丘145	9	2	241	110	131	16	1		1				(1)		12	15	4
22 豊北	豊北町大字滝部字幸神1244-36	6	1	130	60	70	12	1		1	1			(1)		9	24	5

() は非常勤職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

(5) 高等学校

下関商業高等学校 (下関市後田町四丁目11-1)

区分	生徒	学級	保有教室		保健室	食堂	水泳プール	校舎保有面積			
			普通	特別				校舎保有面積			
								総数	鉄筋	鉄骨	木造
平成28年度	597(28)	18(4)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106
平成29年度	594(25)	18(4)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106

() は定時制、外数

平成 29 年 5 月 1 日現在

保 健 室	給 食 室	水 泳 プ ール	武 道 場	校舎等								用地				左の内 借地	区 分
				校舎保有面積				屋内運動場保有面積				面積					
				総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
22	22	20	17	126,504	120,862	5,571	71	20,915	9,424	11,491	780,586	241,501	277,554	261,531	20,146	平成 28 年度	
22	22	20	17	126,489	120,814	5,604	71	20,915	9,424	11,491	780,586	241,501	277,554	261,531	20,146	平成 29 年度	
○	配	○	○	6,683	6,368	315		812	812		33,695	8,355	7,957	17,383		1 日 新	
○	配	○	○	5,771	5,376	395		1,192	1,192		30,529	13,250	12,340	4,939	17,258	2 向 洋	
○	配	○	○	7,450	6,925	525		749	749		25,490	12,248	7,803	5,439	2,888	3 文 洋	
○	配	○	○	5,038	4,946	92		758	758		16,391	7,299	8,016	1,076		4 名 陵	
○	○	○	○	6,299	6,194	105		819	819		73,459	12,331	13,118	48,010		5 東 部	
○	○	○	○	6,843	6,315	528		1,026		1,026	57,236	12,519	15,171	29,546		6 長 府	
○	○	○	○	6,858	6,806	52		961		961	29,899	11,510	10,694	7,695		7 勝 山	
○	配	○	○	12,131	12,131			2,299	133	2,166	33,753	19,553	14,200			8 川 中	
○	○	○	○	6,212	5,555	657		1,019		1,019	34,816	12,251	16,299	6,266		9 安 岡	
○	○	○	○	3,401	3,208	193		994		994	26,753	10,472	14,832	1,449		10 吉 見	
○	配	○	○	7,322	6,737	585		817	817		37,778	10,785	16,491	10,502		11 彦 島	
○	配	○	○	6,233	5,606	627		1,130		1,130	46,640	12,069	15,768	18,803		12 玄 洋	
○	○	○	○	3,097	3,002	95		602		602	20,743	7,157	10,435	3,151		13 木 屋 川	
○	配	○		1,928	1,864	64		776		776	12,611	5,750	6,541	320		14 内 日	
○	配	○	○	6,530	6,368	162		985		985	20,761	9,116	10,254	1,391		15 山 の 田	
○	配	○	○	6,464	6,022	442		1,234		1,234	33,053	12,000	15,000	6,053		16 垢 田	
○	配	○	○	5,549	5,491	58		1,178	1,178		35,095	8,864	15,910	10,321		17 長 成	
○	○			3,213	2,643	543	27				24,118	8,994	15,124			18 菊 川	
○	配	○		2,919	2,813	62	44	1,123	1,123		25,538	11,437	13,859	242		19 豊 田	
○	配	○		3,441	3,337	104		676	78	598	19,928	6,302	9,997	3,629		20 豊 洋	
○	配			5,580	5,580						23,423	5,611	11,500	6,312		21 夢 が 丘	
○	配	○	○	7,527	7,527			1,765	1,765		118,877	23,628	16,245	79,004		22 豊 北	

平成 29 年 5 月 1 日現在

舎 等		用 地				左の内 借地	区 分
屋内運動場保有面積		面 積					
総数	鉄筋	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
5,579	5,579	38,746	9,605	25,917	3,224	0	平成 28 年度
5,579	5,579	38,572	9,605	25,917	3,050	0	平成 29 年度

3 平成29年度 研修計画

番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	
		幼 こ 保	小	中	高				幼 こ 保	小	中	高		
1	下関市小・中学校初任者研修		○	○		全7回	33	児童生徒理解を深める生徒指導研修会		○	○		8月9日(水)	
2	フォローアップ(2年次)研修		○	○		6月13日(火)	34	つなぐ生徒指導研修会		○	○		6月30日(金)	
3	フォローアップ(2年次・3年次)研修		○	○		8月25日(金)	35	危機対応研修会		○	○		9月26日(火)	
4	下関市小・中学校6年次研修		○	○		全2回	36	通常の学級における特別支援教育研修会	○	○	○		7月28日(金)	
5	下関市小・中学校10年経験者研修		○	○		全7回	37	特別支援教育スキルアップ研修会	○	○	○		8月9日(水)	
6	新任教頭研修会			教頭	教頭	4月21日(金)	38	複式教育研修会		○			6月30日(金)	
7	園長・校長フォローアップ(1・2・3年次)研修会	園長	校長	校長		全3回	39	道徳教育研修会		○	○	○	10月31日(金)	
8	園長研修会	園長				7月7日(金)	40	人権教育研修会		○	○		10月3日(火)	
9	小・中学校長研修会		校長	校長		6月20日(火)	41	ICT活用推進研修会		○	○		8月9日(水)	
10	学校事務職員研修会		○	○		10月16日(月)	42	小学校外国語活動研修会(GTI)		○			6月5日(月)	
11	養護教諭研修会		○	○		10月3日(火)	43	グローバル・ティーチャーズ・イングリッシュ・キャンプ		○			8月28日(月) ・29日(火)	
12	園務主任研修会	○				7月11日(火)	44	小中連携・一貫教育研修会		○	○		11月2日(木)	
13	教育相談担当研修会		○	○		5月9日(火)	45	食育研修会		○	○		8月28日(月)	
14	幼児教育実技研修会	○				8月2日(水)	46	「はぐれらぬ魂」のための連携教育研修会	○	○	○		6月9日(金)	
15	学力向上サポート研修会		○	○		7月3日(月)	47	下関市教育大学	学習指導講座	幼 こ	○	○	○	5回
16	小学校 音楽科		○			未定			特別支援教育講座	幼 こ	○	○	○	
17	小学校 図画工作科		○			未定			児童・生徒理解講座	幼 こ	○	○	○	
18	小学校 体育科		○			未定			短期派遣研修(幼・こ・保)	○				
19	小学校 家庭科		○			未定	中期派遣研修(幼・こ・保)	○				計画による		
20	小学校 外国語活動		○			未定	50	短期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による	
21	小学校 道徳		○			未定	51	中期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による	
22	中学校 国語科			○	○	未定	52	派遣研修(GTI)		○	○		8月5日(土) ～8月11日(金)	
23	中学校 社会科			○	○	未定	53	下関市教育祭	幼 こ	○	○	○	8月23日(水)	
24	中学校 数学科			○	○	未定	54	研修支援訪問など					随時	
25	中学校 理科			○	○	未定	55	校内研修(GTI)		○			随時	
26	中学校 音楽科			○	○	未定	56	わくわく教師塾 in 下関		任意参加			随時	
27	中学校 美術科			○	○	未定								
28	中学校 保健体育科			○	○	未定								
29	中学校 技術・家庭科(技術)			○	○	未定								
30	中学校 技術・家庭科(家庭)			○	○	未定								
31	中学校 英語科			○	○	未定								
32	中学校 道徳			○	○	未定								

4 平成 29 年度研究事業一覧

☆印は山口県教育委員会事業

※印は国立教育政策研究所事業

○印は文部科学省事業

研 究 領 域	学 校 名	期 間
☆小中高連携英語教育推進校・連携校	下関市立垢田中学校 下関市立川中西小学校 下関市立垢田小学校	平成 29 年度
☆小中連携授業力向上実践研究指定校区	下関市立日新中学校 下関市立養治小学校 下関市立文関小学校	平成 29 年度
☆山口県学力向上推進フォーラム	下関市立川中中学校 下関市立川中小学校 下関市立熊野小学校	平成 29 年度 平成 29 年 11 月 15 日 (水)
☆やまぐち型地域連携教育推進事業 モデル校区	下関市立向洋中学校区 下関市立名陵中学校区 下関市立長府中学校区 下関市立勝山中学校区 下関市立彦島中学校区 下関市立玄洋中学校区 下関市立長成中学校区 下関市立木屋川中学校区	平成 29 年度
☆「やまぐちっ子の心を育む道德教育」 プロジェクト推進校	下関市立西山小学校 下関市立東部中学校	平成 28 年度～平成 29 年度 平成 29 年度～平成 30 年度
○人権教育総合推進地域事業	下関市立菊川中学校 下関市立豊東小学校 下関市立岡枝小学校 下関市檀崎小学校	平成 29 年度～平成 31 年度
下関市へき地・複式教育研究協議会	下関市立豊田中小学校	平成 29 年度 平成 29 年 11 月 22 日 (水)
下関市小中一貫教育研究推進校	下関市立名陵中学校 下関市立名池小学校 下関市立王江小学校	平成 28 年度～平成 29 年度
金融・金銭教育研究校	下関市立豊田中小学校 下関商業高等学校	平成 28 年度～平成 29 年度 平成 28 年度～平成 29 年度
☆統計教育推進事業参加校	下関市立向井小学校	平成 28 年度～平成 29 年度

5 下関市教育研究会

(1) 平成 29 年度部会一覧

幼稚園	幼児教育																									
小学校			学校事務	養護		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育	
中学校	学校経営	教育課程	学校事務	養護	保健	研修	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	保健体育	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育

(2) 研究主題

年 度	研 究 主 題	副 題
平成 29 年度	学ぶ力を育む下関教育	学ぶ意欲と支え合う心の育成を視点に

6 下関市教育祭（第 13 回）

(1) 概要

開 催 日	平成 29 年 8 月 23 日（水）
会 場	海峡メッセ下関（山口県国際総合センター）
参 加 者	下関市立認定こども園・幼稚園、小・中学校、下関商業高等学校教職員、PTA 代表者
内 容	教育講演、実践発表

(2) 講演内容

年 度	講 師	演 題
平成 29 年度	株式会社ことほぎ 代表 白駒 妃登美	「歴史が教えてくれる日本人の生き方」

(3) 実践発表及び実践報告

年 度	発 表 者	テ ー マ
平成 29 年度	(1) 下関市立文洋中学校 教 諭 島 田 修 司	「感動のある学校づくり」
	(2) 下関市立粟野小学校 校 長 辻 本 紳一朗 教 諭 浜 田 健 一	「地域と連携した極小規模校のチャレンジ ～コミュニティ・スクールを生かした実践～」
	(3) 下関市教育委員会	「第 1 回釜山グローバル・ビレッジ派遣研修報告」

7 外国語指導助手派遣推進事業

ALT人数・配置先	13(14)名：教育研修課 9(10)、菊川教育支所 1、豊田教育支所 1、豊浦教育支所 1、豊北教育支所 1 (8月から)
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・外国の生活や文化に慣れ親しむための指導に当たる。・外国語担当教員や学級担任のもとで協同授業(ティーム・ティーチング)を行い、コミュニケーション能力の素地や基礎を養う。・外国語担当教員のための各種研修会に講師として参加する。・特別活動・課外活動などを担当教員のもとで指導する。・外国語暗唱・弁論大会の指導及び審査に当たる。・音声教材及び外国語原稿作成への支援に当たる。・その他、所属長または校長が必要と認める職務に当たる。

8 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況（平成 29 年度）

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

（ア）小学校

（単位：学級、人）

区 分	障害別	学級	担当者数	児 童						合計
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
平成 28 年度	—	99	113	58	69	68	68	59	57	379
平成 29 年度	—	104	117	55	69	79	76	68	59	406
養治小	知的	1	1	0	0	1	0	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	0	1	0	2
文関小	知的	2	2	0	3	5	1	2	0	11
	自閉・情緒	2	3	1	2	4	1	2	5	15
名池小	知的	1	1	0	0	0	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	2	2	0	0	1	2	1	6
王江小	知的	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	3	0	0	0	4
関西小	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1	0	0	2
桜山小	知的	1	1	0	1	0	0	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
向山小	知的	1	1	0	2	0	1	0	0	3
	自閉・情緒	1	2	1	1	2	2	1	1	8
生野小	知的	1	1	2	0	0	1	1	0	4
	言語	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	3	1	2	3	3	2	1	12
本村小	知的	1	1	0	0	1	1	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	0	0	0	2
西山小	知的	1	1	1	0	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	2	0	3
江浦小	知的	1	1	0	0	0	0	2	1	3
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	3	0	1	0	5
角倉小	知的	1	1	0	1	0	0	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	1	1	0	1	1	1	5
向井小	知的	1	1	0	0	1	1	0	1	3
	自閉・情緒	1	2	1	0	1	0	1	5	8
小月小	知的	1	1	0	0	2	2	0	2	6
	自閉・情緒	2	2	0	1	2	3	2	1	9
清末小	知的	1	1	0	0	0	1	2	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	2	0	0	1	0	3
王司小	知的	1	1	0	1	1	0	0	1	3
	病弱・虚弱	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	1	0	3
豊浦小	知的	2	2	0	2	2	3	1	1	9
	難聴	1	1	2	0	0	0	0	0	2
	自閉・情緒	4	5	3	5	7	7	3	3	28
勝山小	知的	1	1	3	1	1	2	0	1	8
	自閉・情緒	2	3	3	3	1	0	3	3	13
川中小	知的	2	2	2	2	3	0	1	1	9
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	難聴	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	1	3	1	1	2	0	8
安岡小	知的	1	1	0	1	2	1	1	0	5
	自閉・情緒	3	4	1	3	5	5	3	1	18
吉見小	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	0	3	5
吉田小	知的	1	1	0	0	0	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	1	0	1
王喜小	知的	1	1	1	1	1	0	0	0	3
	難聴	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	1	1	2	2	2	3	11

区分	障害別	学級	担当者数	児童						合計
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
山の田小	知的	1	1	0	0	1	0	1	0	2
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	2	1	0	2	0	6
川中西小	知的	2	2	0	3	1	2	2	1	9
	自閉・情緒	2	2	1	4	0	2	1	1	9
垢田小	知的	2	2	1	1	4	1	0	2	9
	自閉・情緒	1	2	1	2	1	2	0	0	6
長府小	知的	2	2	3	1	3	0	1	1	9
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	1	0	1	3	2	2	9
一の宮小	知的	1	1	2	1	1	1	0	0	5
	肢体不自由	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	0	2	3	3	0	8
熊野小	知的	1	1	1	1	0	1	0	1	4
	自閉・情緒	2	2	2	1	0	1	1	4	9
豊東小	知的	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	2	2	2	2	0	8
岡枝小	知的	1	1	0	0	0	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	2	1	0	1	0	0	4
西市小	知的	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	0	1	2
豊田下小	知的	1	1	0	1	1	0	0	0	2
室津小	自閉・情緒	1	1	0	0	0	1	0	0	1
誠意小	知的	1	1	0	0	0	0	1	2	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	3	0	0	4
川棚小	知的	2	2	1	1	2	1	4	0	9
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1	1	0	3
小串小	知的	1	1	0	0	1	0	0	0	1
宇賀小	知的	1	1	0	0	0	1	0	0	1
神玉小	自閉・情緒	1	1	1	0	0	0	0	1	2
阿川小	知的	1	1	2	0	0	1	0	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	0	1	1
滝部小	自閉・情緒	1	1	0	0	0	1	0	1	2

(イ) 中学校

区分	障害別	学級	担当者数	生徒			合計
				1年	2年	3年	
平成28年度	—	40	40	36	32	33	101
平成29年度	—	44	46	47	40	33	120
日新中	知的	1	1	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	1	3	0	4
向洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	肢体不自由	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	2
文洋中	自閉・情緒	1	1	1	1	1	3
名陵中	知的	1	1	1	0	0	1
	難聴	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	1	0	2
東部中	知的	1	1	1	3	2	6
	自閉・情緒	2	2	5	2	2	9
長府中	知的	1	1	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	2	3	4	1	8
勝山中	知的	1	1	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	4	0	0	4
川中中	知的	2	2	3	0	6	9
	自閉・情緒	1	2	1	6	1	8
安岡中	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			
				1年	2年	3年	合計
彦島中	知的	1	1	1	0	1	2
	肢体不自由	1	1	0	0	2	2
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3
玄洋中	知的	1	1	1	3	1	5
	自閉・情緒	1	1	3	0	0	3
木屋川中	難聴	1	1	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	3	1	0	4
内日中	弱視	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1
山の田中	知的	1	1	3	1	2	6
	自閉・情緒	1	1	4	0	1	5
垢田中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	2
長成中	知的	1	1	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	2
菊川中	知的	1	1	1	0	0	1
	肢体不自由	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3
豊田中	知的	1	1	0	0	1	1
豊洋中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1
夢が丘中	知的	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1
豊北中	自閉・情緒	1	1	2	0	1	3

(2) 通級指導教室 活動実態 (名池小・江浦小・豊浦小・誠意小・小月小・山の田小〔平成29年度新設〕・日新中・彦島中)

(ア) 幼児

(単位：人)

	総数/年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成28年度	157	0	7	34	116

(イ) 児童・生徒

(単位：人)

	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
平成28年度	341	85	80	49	55	34	38	43	4	22	17

(3) 平成29年度就学支援状況

(平成29年4月に転・入学等した者)

教育支援委員会に提出された事例数		教育支援委員会の意見		教育支援委員会の就学支援結果		
知的障害	59	通常の学級対象と判定された者	50	通常の学級へ転・入学		74
自閉症・情緒障害	154			特別支援学級対象と判定された者	140	知的障害特別支援学級へ転・入学
聴覚障害	4	病弱・身体虚弱特別支援学級へ転・入学	1			
視覚障害	1	肢体不自由特別支援学級へ転・入学	2			
言語障害	0	難聴特別支援学級へ転・入学	4			
病弱・虚弱	1	弱視特別支援学級へ転・入学	1			
肢体不自由	4	総合支援学校対象と判定された者	35	言語障害特別支援学級へ転・入学	0	
重複障害	1			自閉症・情緒障害特別支援学級へ転・入学	69	
その他	1			総合支援学校へ転・入学した者		34
合計	225	合計		その他(市外へ転居、私立学校へ進学)		2
				合計		225

(4) 特別支援学級生徒の進路状況

(単位：人)

区 分	総数	高等学校			総合支援 学 校	各種学校	就職	自宅
		公立	定時制・通信制	私立				
平成27年度	39	2	0	8	24	3	0	2
平成28年度	33	2	1	5	18	6	0	1

(5) 下関市特別支援教育支援員配置状況

平成29年度 116名配置 (平成29年5月1日現在)

(6) 平成29年度に新設された特別支援学級

小学校 5学級 (知的障害 1、病弱・身体虚弱 1、難聴 2、自閉症・情緒障害 1)

中学校 6学級 (知的障害 2、肢体不自由 1、弱視 1、自閉症・情緒障害 2)

9 就学援助

(1) 就学援助費

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		
	受給児童	援助額	受給生徒	援助額	
平成27年度	3,800	75,299,933	2,137	92,577,462	
平成28年度	3,373	66,021,381	1,926	84,487,769	
再 掲	学用品・通学用品・校外活動費(日帰り)	3,373	42,162,913	1,926	40,292,302
	修学旅行費	587	11,823,933	650	28,249,588
	校外活動費(宿泊)	510	1,486,690	50	59,969
	通学費	30	1,165,440	12	1,655,850
	新入学児童生徒学用品費等	444	9,382,405	580	14,230,060

(2) 特別支援教育就学奨励費

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		
	受給児童	援助額	受給生徒	援助額	
平成27年度	473	6,348,813	101	2,132,342	
平成28年度	524	6,914,244	94	1,860,007	
再 掲	学校給食費	205	4,063,498	39	851,736
	通学費	270	1,065,723	31	264,584
	職場実習交通費	0	0	3	2,700
	交流学习交通費	208	70,635	61	85,060
	修学旅行費	27	262,407	10	269,039
	校外活動費(日帰り)	165	182,188	17	19,410
	校外活動費(宿泊)	84	186,411	1	891
	学用品・通学用品購入費	168	780,029	23	208,289
	新入学児童生徒学用品・通学用品購入費	29	283,098	14	158,298
付添保護者交通費	2	20,255	0	0	

10 下関市奨学金制度

月額奨学金	貸付金額 (月額)	①大学生	40,000 円
		②高校生	18,000 円
	貸付期間	在学する学校の正規の修学期間	
入学一時金	貸付金額	①大学生	40,000 円, 80,000 円, 120,000 円, 160,000 円, 200,000 円, 240,000 円のいずれかの額
		②高校生	18,000 円, 36,000 円, 54,000 円, 72,000 円, 90,000 円, 108,000 円のいずれかの額
据置期間	在学する学校の正規の修業期間経過後 1 年間		
返還方法	月賦により返還、毎月の返還額は月額奨学金の 2 分の 1 の額		

※1 奨学金は無利子

※2 入学一時金は大学又は高校に入学した年度に 1 回のみ貸付

【平成 28 年度までの運用状況】

(単位：人、円)

年 度	合 計		大 学		高 校	
	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額
25	9	3,264,000	5	2,400,000	4	864,000
26	10	3,568,000	7	2,920,000	3	648,000
27	5	2,260,000	5	2,360,000	0	0
28	5	2,400,000	5	2,400,000	0	0

※大学生 1 人について、休学に伴い、平成 26 年度は 11 月分の、平成 27 年度は 1 月分の貸付を休止した。

11 園・学校訪問

研修支援訪問 (小・中学校)	各学校が抱えている学習指導、生徒指導、特別支援教育、情報教育等の課題の解決を図るために、年 1 回の定期訪問及び各学校や研究団体からの要請に応じて指導主事等を派遣し、研修の充実を図る。
研修支援訪問 (幼稚園・認定 こども園)	各園の自主的な研修活動を促進させるために、年 1 回の定期訪問及び各園からの要請に応じて指導主事等や教育・保育専門監を派遣し、研究主題の解明や保育活動の充実を図る。
担当校訪問	各園、小・中学校に教育・保育専門監・担当指導主事等を配置することで、学校と教育委員会との連携を密にするとともに、各園・学校が抱えている課題の把握と解決、さらには人材育成への支援を図る。
生徒指導訪問	各学校の問題行動や、学校事件・事故等に素早く対応したり、未然に防止したりするために、指導主事等、ガイダンスアドバイザー、カウンセリングアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を派遣する。

12 学校保健

(1) 平成 28 年度 健康診断における疾患・異常

(単位：人、%)

区 分 項 目		小 学 校				中 学 校				
		男 子		女 子		男 子		女 子		
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
栄養状態	栄養不良	4	0.06	1	0.02	0	0.00	0	0.00	
	肥満傾向	147	2.29	75	1.21	37	1.18	31	1.05	
	貧 血	0	0.00	1	0.02	1	0.03	7	0.24	
脊 柱		80	1.24	65	1.05	56	1.78	67	2.27	
胸 郭		3	0.05	6	0.10	4	0.13	0	0.00	
骨・関節、四肢の状態		58	0.90	42	0.68	26	0.83	14	0.47	
裸眼視力	1.0 未満 0.7 以上 B	529	8.23	611	9.96	294	9.35	272	9.20	
	0.7 未満 0.3 以上 C	629	9.83	849	13.84	416	13.22	449	15.19	
	0.3 未満 D	437	6.83	585	9.54	651	20.69	725	24.53	
聴 力		58	0.90	34	0.55	25	0.79	35	1.18	
眼	伝 染 性 眼 疾 患	2	0.03	1	0.02	2	0.06	1	0.03	
	その他の眼疾患異常	458	7.12	389	6.30	234	7.44	188	6.36	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	442	6.88	369	5.97	229	7.28	143	4.84	
	鼻・副鼻腔疾患	616	9.58	268	4.34	352	11.19	158	5.35	
	口腔・咽頭疾患異常	36	0.56	23	0.37	6	0.19	7	0.24	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	213	3.31	189	3.06	55	1.75	44	1.49	
	その他の皮膚疾患	17	0.26	23	0.37	16	0.51	10	0.34	
結核精密検査者		2	0.03	3	0.05	2	0.06	0	0.00	
心 臓 疾 患 異 常		95	1.48	69	1.12	36	1.14	40	1.35	
心電図二次検診受検者 ※		20	1.93	13	1.33	17	1.71	8	0.87	
尿	蛋 白	4	0.06	16	0.26	19	0.60	18	0.61	
	糖	1	0.02	3	0.05	1	0.03	3	0.10	
	潜 血	3	0.05	16	0.26	6	0.19	7	0.24	
その他の疾患異常		92	1.43	47	0.76	24	0.76	18	0.61	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	2,020	31.65	1,761	28.62	788	25.61	829	28.52
		未処置歯のある者	1,751	27.43	1,472	23.93	592	19.24	523	17.99
	その他の歯疾患異常		877	13.74	874	14.21	480	15.60	305	10.49
	口腔の疾患異常		28	0.44	10	0.16	22	0.71	7	0.24

(単位：人)

在 籍 者 総 数	6,435	6,179	3,181	2,974
受 検 者 数	6,429	6,177	3,146	2,956
歯・口腔の受検者数	6,383	6,152	3,077	2,907

※の受検対象者は、小学校 1 年生及び中学校 1 年生

(2) 平成 28 年度 負傷・疾病の種類別災害発生状況

(単位：件)

負傷・疾病		学校種別					合計
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園		
負傷	骨 折	214	233	15	5	467	
	捻 挫	195	184	19	1	399	
	脱臼	52	34	2	0	88	
	挫 傷 ・ 打 撲	293	256	20	3	572	
	靭 帯 損 傷 ・ 断 裂	22	27	1	0	50	
	挫 創	60	26	2	1	89	
	切 創	22	7	2	0	31	
	刺 創	6	1	0	0	7	
	割 創	1	0	0	0	1	
	裂 創	24	4	2	0	30	
	擦 過 傷	18	4	0	0	22	
	熱 傷 ・ 火 傷	4	2	0	0	6	
	歯 牙 破 折	10	1	0	0	11	
	そ の 他	0	1	0	0	1	
	負 傷 合 計	921	780	63	10	1,774	
疾 病	食 中 毒	0	0	0	0	0	
	食 中 毒 以 外 の 中 毒	1	0	0	0	1	
	熱 中 症	3	8	0	0	11	
	溺 水	0	0	0	0	0	
	異 物 の 嚥 下 ・ 迷 入	15	4	0	0	19	
	接 触 性 の 皮 膚 炎	4	2	1	0	7	
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	4	1	1	0	6
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	2	1	0	3
		骨 疾 患	2	7	1	0	10
		関 節 疾 患	2	10	2	0	14
		筋 腱 疾 患	2	24	6	0	32
		皮 膚 疾 患	2	0	0	0	2
		精 神 疾 患	0	0	0	0	0
		そ の 他	6	5	1	0	12
	計	18	49	12	0	79	
	負傷に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	1	1	0	0	2
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	0	0	0	0
		骨 疾 患	3	1	0	0	4
関 節 疾 患		4	3	0	0	7	
筋 腱 疾 患		3	5	1	0	9	
皮 膚 疾 患		2	2	0	0	4	
精 神 疾 患		0	0	0	0	0	
そ の 他		8	7	0	0	15	
計	21	19	1	0	41		
疾 病 合 計	62	82	14	0	158		
負 傷 ・ 疾 病 の 合 計	983	862	77	10	1,932		

(3) 平成 28 年度児童・生徒の体位比較

年齢 (歳)	身長 (単位:cm)				体重 (単位:kg)				
	男		女		男		女		
	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	
小学校	6	115.8	116.3	115.8	114.6	21.4	21.6	20.9	20.8
	7	112.0	122.0	120.6	120.9	23.9	23.8	23.0	23.3
	8	127.0	127.2	126.7	126.9	26.6	26.3	26.1	26.2
	9	133.1	132.6	132.4	132.4	30.1	30.2	29.3	29.7
	10	137.1	137.8	139.4	139.5	33.5	33.4	33.3	33.6
	11	144.4	144.4	146.5	146.0	37.7	37.8	38.7	38.2
中学校	12	152.0	152.2	150.6	151.3	43.3	44.4	43.5	44.0
	13	158.8	158.5	154.6	154.6	48.0	47.2	47.4	47.4
	14	164.7	164.5	156.2	155.8	53.5	53.6	49.3	50.0

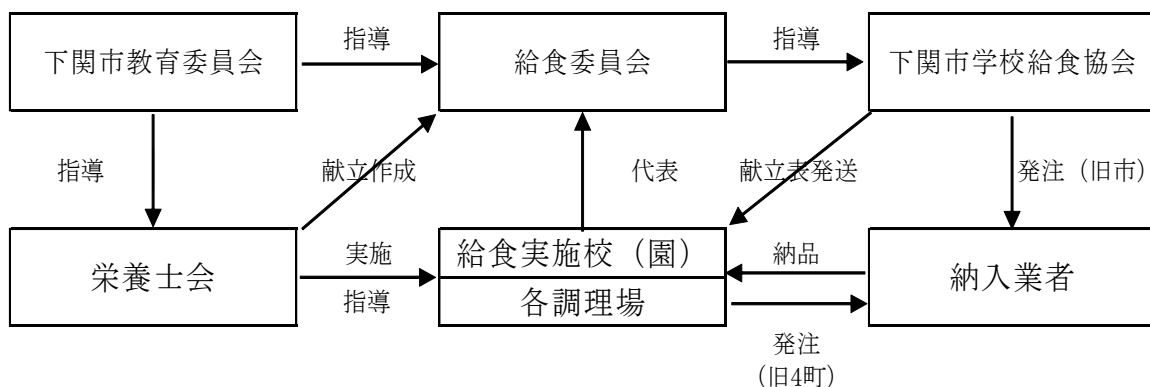
13 学校給食

(1) 学校給食実施状況

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

区分	完全給食			実施方式					
	校(園)数	実施人員	実施率	単独調理校		親子受配		調理場受配	
	校(園)	人	%	校(園)	人	校(園)	人	校(園)	人
小学校	49	12,561	100	34	9,977	0	0	15	2,584
中学校	22	5,924	100	7	2,344	1	24	14	3,556
幼稚園	13	402	100	0	0	11	366	2	36
計	84	18,887	100	41	12,321	12	390	31	6,176

(2) 献立の作成から実施まで



(3) 平成 28 年度就学援助費(給食費)

区分	実施人員(人)	援助額(円)
小学校	3,338	125,810,760
中学校	1,803	71,597,185
計	5,141	197,407,945

(4) 学校給食共同調理場

(平成 29 年度)

共同調理場名 (所在地)	構造・延面積 (建築年月)	運営方式	対象学校数 (児童生徒園児数)			対象 学校名
			学校 種別	学校 園数	児童生徒 園児数	
南部学校給食共同調理場 (彦島江の浦町三丁目 4-10) (TEL 267-2044)	軽量鉄骨 平屋建 延 989.48 m ² (昭 47.4)	民間 (平 21.8~)	小	6	1,380	桜山、本村 西山、江浦 角倉、向井
			中	3	723	文洋、彦島 玄洋
			幼	1	24	江浦
			計	10	2,127	
中部学校給食共同調理場 (一の宮住吉二丁目 9-8) (TEL 257-1578)	鉄骨 平屋建 延 867 m ² (平 2.4)	直営 (平 2.4~)	小	1	125	養治
			中	7	2,215	日新、向洋 名陵、堀田 川中、長成 山の田
			計	8	2,340	
豊田町学校給食共同調理場 (豊田町大字矢田 320-1) (TEL 766-0076)	鉄骨 平屋建 延 454.59 m ² (昭 38.4) (平 4.3 改築)	民間 (平 24.4~)	小	3	213	西市 豊田中 豊田下
			中	1	120	豊田
			計	4	333	
豊浦町学校給食共同調理場 (豊浦町大字川棚 3630-1) (TEL 774-3390)	鉄骨 平屋建 延 620 m ² (平 5.4)	民間 (平 20.4~)	小	2	486	川棚、小串
			中	2	368	豊洋 夢が丘
			計	4	854	
黒井学校給食共同調理場 (豊浦町大字黒井 2200) (TEL 772-0290)	鉄骨 平屋建 延 140 m ² (昭 55.9)	民間 (平 23.4~)	小	2	267	誠意、室津
			幼	1	12	室津
			計	3	279	
滝部学校給食共同調理場 (豊北町大字滝部 1244-36) (TEL 782-0035)	鉄筋 コンクリート 平屋建 延 413 m ² (平 18.4)	民間 (平 18.4~)	小	1	113	滝部
			中	1	130	豊北
			計	2	243	

14 生徒指導

成長促進事業一覧

●下関市教育支援教室「かんせい」	
目的	学校に行かない、行きたくても行けない子供たちのために、個別や小集団での相談や指導を行いながら、一人ひとりの社会的自立をめざす中で、学校復帰ができるように支援する。
内容	体験学習やスポーツ活動等をととした「集団適応指導」と、個別や小集団での相談・指導をとし基本的な生活習慣の改善と精神的・社会的自立をめざした「生活指導」、または、一人ひとりの学力に応じた学習を進める「学習指導」を指導の柱としている。臨床心理士による個別面談やグループ面談をととして、集団生活に参加する意欲を高める。
●「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員の訪問支援	
目的	ひきこもりの傾向にある不登校の問題に対応するため、下関市教育支援教室「かんせい」と関係学校とが連携を図りながら、不登校児童生徒の学校復帰に向けた個別の訪問支援を行う。
内容	不登校で家庭に引きこもりがちな状態にある児童生徒を対象とし、「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員が学校及び家庭訪問による教育相談等を行う。
●カウンセリングアドバイザー派遣事業	
目的	犯罪被害及び学校事件・事故等の重大事案が発生した際、臨床心理士等をカウンセリングアドバイザー（以下「CA」という。）として下関市立幼稚園、小・中学校及び下関商業高等学校（以下「学校」という。）に緊急に派遣し、助言・援助を行うことで、幼児児童生徒及び保護者等の心のケアに対応する。 また、不登校の問題において、各学校に派遣しているスクールカウンセラーの業務以外で、CAによる助言・援助を校長・園長から求められた際、各学校・園に派遣し、その相談業務等の対応にあたる。
対象	校長からの要請に基づき、不登校や犯罪被害、学校事件・事故等により助言や援助が必要な幼児児童生徒及びその保護者等を対象として、CAを派遣する。
●下関市スクールソーシャルワーカー活用事業	
目的	いじめ、暴力行為、児童虐待や不登校等の生徒指導上の課題の内、学校だけでは解決が困難な事案に対し、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門家をスクールソーシャルワーカー等として学校等に派遣し、専門的な知識・技能を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことにより、生徒指導上の課題等の未然防止、早期対応を図る。
内容	学校・園からの支援要請に基づき、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、幼児・児童・生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は児童相談所、福祉事務所その他の関係機関と連携して、幼児・児童・生徒、保護者、教職員その他の関係者に対する支援を行う。
●スクールカウンセラー（SC）活用事業（山口県教育委員会実施事業）	
目的	教員とスクールカウンセラーが互いの立場を理解しつつ、相互に協力、補完して児童生徒の健全な育成を図る。
配置校	下関市立全小・中学校

15 教育相談

(1) 相談体制

●下関市教育委員会『教育相談室』	
目的	不登校、いじめ、非行問題等で悩む児童生徒や保護者への相談活動をとおして、児童生徒の主体的な自立を支援するとともに、学校や関係機関との連携を図りながら児童生徒を取り巻く心理的環境の改善を図る。
方法	来室（面接）相談、訪問相談、電話相談
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市幡生新町1番1号 下関市教育委員会内（電話）231-6995（直通）
●いじめ相談専用電話『いじめテレホン相談』	
目的	いじめ問題に関わる悩みの相談を受け、早期解決を図る。
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市教育委員会「教育相談室」内
電話	223-7830（な・や・み・ゼロ）

(2) 平成28年度教育相談受理状況

問題行動別・相談者別			幼・小学生		中学生		高校生・他		男女別計		合計
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
1	非行問題	行									
2		出									
3		家庭内暴力	2						2		2
4		自殺									
5		犯罪・被害				1				1	1
6		その他	3						3		3
7	学業・職業問題	学業・成績			1				1		1
8		不登校		3	9	7			9	10	19
9		進路									
10		仕事									
11		その他									
12	家庭問題	家庭内不和									
13		しつけ									
14		その他									
15	交友問題	異性交際									
16		友人		1						1	1
17		いじめ	5	4	1	7	9	1	15	12	27
18		その他		2			1		1	2	3
19	健康問題	性			1				1		1
20		健康	1						1		1
21		性格									
22		その他									
23	その他		14	9	9	10	9	2	32	21	53
28年度			25	19	21	25	19	3	65	47	112
27年度			20	8	21	27	15	12	56	47	103
26年度			14	20	9	15	27	24	50	59	109

II 生涯学習関連資料

1 社会教育委員

委員定数 20名

任期 2年

職務 社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。(社会教育法第17条)

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
- (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員名簿（任期 平成29年6月1日～平成31年5月31日）（平成29年6月24日現在）

役職名	氏名	団体名等
委員長	吉井克也	学識経験者
副委員長	徳吉眞次	菊川町青少年育成町民会議会長
委員	藤永悦朗	山口県教育会下関支部支部長
〃	山路康正	下関市小学校長会
〃	中川和彦	下関市中学校長会
〃	佐々木猛	下関市PTA連合会会長
〃	和崎法子	下関市連合婦人会会長
〃	富永洋一	一般財団法人下関21世紀協会常任理事
〃	杉山靖彦	下関市子ども会連合会副会長
〃	折井一枝	菊川放課後子供教室・教育ボランティア
〃	勝野光枝	下関市連合婦人会菊川地区婦人会副会長
〃	水野捷子	民生児童委員・山口県教育会豊浦支部理事
〃	三戸恵子	下関市連合婦人会豊田地区婦人会会長
〃	田中敦子	豊田町更生保護女性会
〃	伊藤忠晴	豊浦地区子ども会連合会会長
〃	村岡亜由子	豊浦町体験活動・奉仕活動支援センター
〃	中野千枝美	豊浦町女性団体連絡協議会会長
〃	田中義道	社会福祉法人三明会豊北きらきらくども園園長
〃	鍋田和博	学識経験者
〃	吉山行雄	学識経験者

2 図書館

(1) 中央図書館

沿革：昭和15年7月名池小学校校庭に創設されたものを源とする。昭和44年10月明治維新100年記念事業として上田中町に新築移転。平成21年11月下関市立中央図書館開館準備のため閉館。現施設は社会教育複合施設として建設され、平成22年3月に開館した。

位 置：下関市細江町三丁目 1 番 1 号

創 設：昭和 15 年 7 月（移転新築 平成 22 年 3 月）

施設概要：下関市生涯学習プラザ 4, 5 階、一部 1, 6 階（延面積 5017.76 m²）

蔵 書 数：中央図書館 図書 約 378,000 冊、視聴覚 約 3,000 点 移動図書館 図書 約 16,400 冊

休 館 日：館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：4 階は、午前 9 時～午後 8 時

5 階は、午前 9 時～午後 9 時



4 階 児童図書コーナー



5 階 一般図書コーナー

(2) 長府図書館

沿 革：明治 42 年 8 月に豊浦郡教育会によって創設され、大正 13 年に長府町へ移管された。昭和 12 年に豊浦郡長府町が下関市と合併すると、下関市立長府図書館として運営され、昭和 42 年 9 月に明治 100 年記念事業の一環として改築された。附属施設として下関文書館があり、郷土に関する貴重な文書・記録類を収蔵している。

位 置：下関市長府宮の内町 1 番 30 号

創 設：明治 42 年 8 月（改築 昭和 42 年 9 月）

構 造 等：本館 鉄筋コンクリート 2 階建 延面積 882.7 m²

蔵 書 数：図書 約 111,900 冊

休 館 日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時

（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）

児童室、2 階の閲覧席の利用は午前 9 時 30 分～午後 5 時



(3) 彦島図書館

沿 革：大正 5 年に本村小学校内に開設された村立のものを源とする。昭和 27 年に彦島公民館が開設されると、ここに下関図書館彦島分館が併設され、彦島公民館が江の浦町一丁目に改築されると、同所 2 階に移設された。現施設は、平成 2 年 3 月に新築移転されたもので、同年 7 月から下関市立彦島図書館として開館した。

位 置：下関市彦島江の浦町一丁目 4 番 28 号

創 設：昭和 27 年（新築移転 平成 2 年 3 月）

構 造 等：鉄筋コンクリート一部鉄骨 2 階建 延面積 1001.77 m²

蔵 書 数：図書 約 64,300 冊

休 館 日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）



(4) 菊川図書館

沿革：菊川図書館の前身である県立山口図書館豊浦分館は、昭和 26 年 12 月に岡枝公民館内に開館した。昭和 32 年 4 月に分館が閉館し、菊川町に移管され、菊川町立菊川図書館が誕生した。その後、昭和 48 年 4 月に現在の場所に移転改築した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝 193 番地 8

創設：昭和 32 年 4 月（移転改築 昭和 48 年 4 月）

構造等：鉄筋コンクリート建 延面積 527.93 ㎡

蔵書数：図書 約 25,800 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時

**(5) 豊田図書館**

沿革：平成 7 年 7 月に豊田町文化教育センターとして、現在地に創設された。平成 17 年 2 月の下関市豊浦郡 4 町の合併により、下関市立豊田図書館に改称。館内には、文化財資料室が併設されており、文書をはじめとする貴重な豊田の文化財を展示している。

位置：下関市豊田町大字矢田 153 番地 1

創設：平成 7 年 7 月

構造等：鉄筋コンクリート 2 階建 延面積 980.415 ㎡

蔵書数：図書 約 42,700 冊、視聴覚 約 2,000 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時

**(6) 豊浦図書館**

沿革：昭和 52 年 12 月、川棚地区に公民館が開館し、館内に 60 ㎡の図書室が設置されたのを源とする。平成 2 年 4 月、公民館内図書室より図書館としての機能が独立する。平成 12 年 10 月、豊浦町商工会の事務所移転に伴い、旧商工会事務所に移転する。その後、豊浦総合支所の改築に合わせて、総合支所 2 階の旧議場を中心に図書館に改装され、平成 26 年 12 月に移転開館した。

位置：下関市豊浦町大字川棚 6895 番地 1

創設：平成 2 年 4 月（移設 平成 26 年 12 月）

施設概要：豊浦総合支所 2 階（延面積 471.06 ㎡）

蔵書数：図書 約 49,800 冊、視聴覚 約 460 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）

**(7) 豊北図書室**

沿革：昭和 58 年に豊北町神田特牛に新設された豊北町町民センター（現在の豊北生涯学習センター）に図書室が設置され、20 年にわたって多くの人に利用されてきた。平成 18 年 4 月、豊北町滝部に開校した豊北中学校内に「豊北図書室」が開設された。

位置：下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36（豊北中学校内）

創設：昭和 58 年 4 月（移設 平成 18 年 4 月）

施設概要：豊北中学校 1 階（延面積 350.5 ㎡）

蔵書数：図書 約 19,600 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時（但し、日曜日は午後 5 時まで）



3 公民館活動

(1) 公民館運営審議会

委員定数：1 公民館 20 人以内

委員数：男性 119 人 女性 63 人 合計 182 人

任期：2 年（補欠委員は前任者の残任期間）

任務：館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、調査審議する。

委嘱状況：平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日（本庁管内）

平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日（教育支所管内）

(2) 公民館設置状況

公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)	公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)
北部公民館 TEL083-253-3371 (山の田東町 4-13)	鉄筋・1,267.55 m ² 4階建 (昭 49.6 / 増 平 4.3)	檜崎公民館 TELなし (菊川町大字檜崎 790-1)	S造・227.84 m ² 平屋建 (平 2.4)
西部公民館 TEL083-231-6587 (伊崎町一丁目 4-30)	鉄筋・1,747.00 m ² 4階建 (昭 54.4 / 増 平 3.3)	殿居公民館 TEL083-768-0556 (豊田町大字殿居 1039-2)	鉄筋・196.30 m ² 2階建 (昭 58.2)
玄洋公民館 TEL083-266-5455 (彦島西山町四丁目 1-28)	鉄筋・1,886.49 m ² 3階建の1階部分 (昭 58.6)	豊田中公民館 TEL083-766-2361 (豊田町大字八道 2544-1)	鉄筋・347.89 m ² 平屋建 (平 3.3)
長府東公民館 TEL083-246-1266 (長府松小田本町 4-15)	鉄筋・2,104.44 m ² 3階建 (平 9.3)	三豊公民館 TEL083-766-3551 (豊田町大字地吉 122)	鉄筋・235.08 m ² 平屋建 (平 6.1)
吉母公民館 TEL083-286-6226 (大字吉母 401-24)	鉄筋・481.56 m ² 2階建 (昭 53.4)	西市公民館 TEL083-766-3511 (豊田町大字矢田 153-1)	鉄筋・373.50 m ² 2階建の2階部分 (平 6.10)
川中公民館 TEL083-255-3501 (伊倉町二丁目 1-1)	鉄筋・2,903.22 m ² 4階建 (平 4.6)	豊田下公民館 TEL083-766-2556 (豊田町大字手洗 285-1)	鉄筋・281.92 m ² 平屋建 (昭 59.3)
川中公民館分館 TEL083-253-6169 (綾羅木本町三丁目 1-20)	鉄筋・1,014.89 m ² 2階建 (昭 40.7)	小串公民館 TEL083-772-2001 (豊浦町大字小串 2207-1)	鉄筋・986.67 m ² 2階建 (平 6.3)
彦島公民館 TEL083-267-1344 (彦島江の浦町一丁目 3-1)	鉄骨鉄筋・3,690.04 m ² 6階建 (平 21.5)	川棚公民館 TEL083-772-2120 (豊浦町大字川棚 6167-2)	鉄筋・1,873.22 m ² 2階建 (昭 52.12 / 増 平 12.1)
長府公民館 TEL083-246-3413 (長府土居の内町 1-6)	鉄筋・2,043.88 m ² 4階建 (昭 38.12)	黒井公民館 TEL083-775-4182 (豊浦町大字黒井 2345-1)	鉄筋・759.81 m ² 2階建 (賃貸借)
王司公民館 TEL083-248-3176 (王司神田一丁目 9-1)	鉄筋・2,018.81 m ² 3階建 (昭 45.4 / 増 平 3.2)	室津公民館 TEL083-772-0055 (豊浦町大字室津下 681-3)	鉄筋鉄骨・448.74 m ² 平屋建 (昭 63.3)
清末公民館 TEL083-282-1056 (清末陣屋 5-20)	鉄筋・1,144.63 m ² 3階建 (昭 47.5)	神玉公民館 TEL083-788-1043 (豊北町大字神田上 2709)	鉄筋・408.00 m ² 2階建 (昭 60.3)
小月公民館 TEL083-282-0661 (小月本町一丁目 7-7)	鉄筋・2,166.39 m ² 3階建 (平 12.4)	角島公民館 TEL083-786-0734 (豊北町大字角島 1413-1)	鉄筋・526.00 m ² 2階建 (昭 63.3)
王喜公民館 TEL083-282-0219 (王喜本町二丁目 15-10)	鉄筋・1,190.04 m ² 3階建 (昭 48.4)	阿川公民館 TEL083-786-1010 (豊北町大字阿川 3752)	鉄筋等・452.00 m ² 平屋建 (平 2.3)

吉田公民館 TEL083-284-0205 (大字吉田地方 2499)	鉄筋・1,121.20 m ² 3階建 (昭 51.10)	栗野公民館 TEL083-785-0001 (豊北町大字栗野 3333-2)	鉄筋・435.00 m ² 平屋建 (平元.2)
内日公民館 TEL083-289-2036 (大字内日下 1146-5)	鉄筋・1,091.28 m ² 3階建 (昭 47.3)	滝部公民館 TEL083-782-1296 (豊北町大字滝部 3397-12)	木造・549.00 m ² 2階建 (平 12.8)
勝山公民館 TEL083-256-2779 (秋根南町二丁目 4-33)	鉄筋・3,692.60 m ² 4階建 (平 26.2)	田耕公民館 TEL083-783-0722 (豊北町大字田耕 4332)	木造・62.00 m ² 平屋建 (平 10.2)
安岡公民館 TEL083-258-4792 (安岡駅前二丁目 7-1)	鉄筋・2,145.00 m ² 4階建 (昭 40.10 / 増 平 2.3)		
吉見公民館 TEL083-286-2121 (大字吉見下 1533)	鉄筋・1,675.88 m ² 3階建 (昭 52.4)		

(3) 公民館利用状況 (平成 28 年度)

(単位：件、人)

公民館名	公用 (生涯・公民館・官公庁等)		公益 (教育・社会福祉等)		登録団体・自主学習グループ (公用・公益以外の減免団体等)		一般 (有料団体など)		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
1 北部公民館	41	1,117	363	6,236	1,637	17,276	509	6,454	2,550	31,083
2 西部公民館	22	532	243	3,895	1,949	24,351	497	4,951	2,711	33,729
3 玄洋公民館	13	444	173	1,327	1,175	9,390	224	3,457	1,585	14,618
4 長府東公民館	50	2,027	217	4,701	2,094	23,046	549	7,204	2,910	36,978
5 吉母公民館	15	231	15	171	63	370	26	321	119	1,093
6 川中公民館	344	10,005	640	14,408	3,402	39,843	896	10,502	5,282	74,758
7 川中公民館分館	0	0	13	187	572	8,931	6	39	591	9,157
8 彦島公民館	135	3,063	298	6,062	2,239	27,967	568	11,505	3,240	48,597
9 長府公民館	152	2,948	288	6,252	1,566	21,651	386	7,810	2,392	38,661
10 王司公民館	55	1,735	282	9,312	1,079	10,957	435	6,878	1,851	28,882
11 清末公民館	44	954	321	5,761	739	8,635	290	4,188	1,394	19,538
12 小月公民館	99	2,009	261	6,411	1,420	15,893	473	5,594	2,253	29,907
13 王喜公民館	39	785	240	6,419	504	5,783	42	517	825	13,504
14 吉田公民館	36	982	157	2,794	132	1,181	105	1,678	430	6,635
15 内日公民館	31	440	203	3,290	179	1,710	83	1,479	496	6,919
16 勝山公民館	210	6,532	289	8,217	2,914	35,307	1,308	18,920	4,721	68,976
17 安岡公民館	100	1,092	244	4,727	1,930	20,931	462	3,658	2,736	30,408
18 吉見公民館	22	557	169	3,120	777	9,295	30	1,051	998	14,023
19 檜崎公民館	0	0	89	1,147	24	352	10	173	123	1,672
20 殿居公民館	37	350	12	188	19	142	4	35	72	715
21 豊田中公民館	47	779	41	533	160	1,252	48	401	296	2,965
22 三豊公民館	29	224	28	328	32	209	0	0	89	761
23 西市公民館	48	936	4	207	0	0	11	203	63	1,346
24 豊田下公民館	79	1,394	38	770	173	1,673	58	586	348	4,423
25 小串公民館	58	1,376	163	3,385	895	6,441	94	2,420	1,210	13,622
26 川棚公民館	167	3,312	304	6,405	1,846	17,676	221	3,279	2,538	30,672

27	黒井公民館	27	427	135	2,537	411	4,227	149	1,928	722	9,119
28	室津公民館	57	934	125	1,857	480	3,470	91	508	753	6,769
29	神玉公民館	24	202	27	480	87	675	105	730	243	2,087
30	阿川公民館	6	39	123	1,997	267	1,583	29	434	425	4,053
31	栗野公民館	13	201	65	957	22	115	43	430	143	1,703
32	田耕公民館	24	278	106	1,841	158	2,350	18	297	306	4,766
33	角島公民館	6	39	39	800	22	415	37	440	104	1,694
34	滝部公民館	11	208	92	1,363	605	4,552	282	2,459	990	8,582
	合 計	2,041	46,152	5,807	118,085	29,572	327,649	8,089	110,529	45,509	602,415

4 下関市生涯学習プラザ

沿革：中央公民館、婦人会館、文化会館の跡地に市民の生涯学習拠点施設として平成22年3月に開館した、図書館と生涯学習施設の機能を備えた社会教育複合施設。

音響性能に優れ、コンサート・演劇・舞踊など幅広いジャンルに対応可能な大ホール・小ホール、式典・講演会などに適した多目的ホールのほか、料理教室、工作・工芸室、パソコンルーム、視聴覚室、音楽室、和室、茶室、会議室など目的性の高い諸室を備えている。(4階、5階は中央図書館)

位置：下関市細江町三丁目1番1号

建設年月：平成22年2月

構造：地下1階、地上6階

SRC造(一部RC造/一部S造)

敷地面積：4,852㎡

建築面積：4,251㎡

延床面積：18,408㎡

駐車台数：80台/身障5台含む



大ホール（海のホール）

利用状況（平成28年度）

室名	大ホール (海のホール)	小ホール (風のホール)	多目的ホール (宙のホール)	料理教室	工作工芸室	和室1	和室2	茶室
件数	242	186	364	103	75	116	90	98
人数	104,117	20,404	21,381	3,290	830	1,405	1,526	659

学習室1	学習室2	学習室3	学習室4	学習室5	レク室1	レク室2	PC室	視聴覚室
242	169	137	273	223	500	652	48	122
6,880	5,754	2,509	1,899	2,401	5,301	4,208	320	1,503

会議室1	会議室2	大練習室	小練習室	音楽室1	音楽室2	その他	合計
235	263	494	442	320	294	-	5,688
3,155	2,259	8,907	1,361	1,621	656	-	202,346

5 生涯学習センター

(1) 豊田生涯学習センター

沿革：生涯学習の拠点施設として、昭和54年に豊田町制施行25周年記念事業の一環として建設され、今日まで豊田地区の教育・文化・体育振興の中心的役割を果たしてきた。平成13年度に2階ホールに電動式移動観覧席を設置するなど、大規模な改修工事を行い、施設面での整備充実も図っている。

位置：下関市豊田町矢田149番地1

建設年月：昭和54年8月

構造等：鉄筋コンクリート造3階建
延面積 2,510.65 m²

駐車場：134台収容



利用状況（平成28年度）

（単位：件、人）

室名	ホール	ステージ	トレーニング室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	視聴覚室	第1和室	第2和室	計
件数	157	15	168	224	129	113	151	112	124	1,193
人数	4,483	765	183	2,804	2,692	299	2,085	1,212	1,306	15,829

(2) 豊北生涯学習センター

沿革：社会教育活動の拠点として、昭和58年に豊北町町民センターとして設置し、平成17年2月13日、合併を期に下関市豊北生涯学習センターと名称を変え、地域の生涯学習に積極的に取り組んでいる。

位置：下関市豊北町大字神田1199-1

建設年月：昭和58年4月

構造等：鉄筋コンクリート造2階建
延面積 3,292.70 m²

駐車場：200台収容



利用状況（平成28年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール	中会議室1	和室(I)	和室(II)	調理室	小会議室	展示スペース	作業室	大会議室	中会議室2	視聴覚室	計
件数	88	77	21	8	15	101	12	80	82	11	0	495
人数	4,729	959	321	110	203	828	2,170	565	2,169	182	0	12,236

6 菊川ふれあい会館

(1) 施設概要

沿革：21世紀に向けて「町づくりは人づくり」をテーマに生涯学習の一層の充実を図るとともに、幾世代にわたる交流と賑わいのある中核施設として、平成10年9月に開館した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝 117 番地

建築面積：3,380.89 m²

延床面積：4,093.81 m²

構造：鉄筋コンクリート造 屋根 鉄骨トラス

駐車場：189 台収容



(2) 平成 28 年度の利用状況

利用日数：303 日

(単位：回、日)

区分	午前		午後		夜間		合計		利用日数	
	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	日数	利用率
多目的ホール	81	26.7%	115	38.0%	65	21.5%	261	28.7%	108	35.6%
舞台	1	0.3%	3	1.0%	3	1.0%	7	0.8%	6	2.0%
楽屋 1	38	12.5%	50	16.5%	37	12.2%	125	13.8%	49	16.2%
楽屋 2	35	11.6%	46	15.2%	35	11.6%	116	12.8%	46	15.2%
楽屋 3	74	24.4%	50	16.5%	34	11.2%	158	17.4%	86	28.4%
リハーサル室	83	27.4%	90	29.7%	132	43.6%	305	33.6%	182	60.1%
ミュージックルーム	35	11.6%	87	28.7%	101	33.3%	223	24.5%	137	45.2%
レクチャールーム 1	69	22.8%	89	29.4%	58	19.1%	216	23.8%	128	42.2%
展示室	85	28.1%	90	29.7%	77	25.4%	252	27.7%	105	34.7%
調理室	68	22.4%	72	23.8%	44	14.5%	184	20.2%	81	26.7%
研修室	83	27.4%	99	32.7%	67	22.1%	249	27.4%	116	38.3%
小ホール	99	32.7%	125	41.3%	88	29.0%	312	34.3%	157	51.8%
中ホール	94	31.0%	119	39.3%	100	33.0%	313	34.4%	164	54.1%
女性室	136	44.9%	119	39.3%	75	24.8%	330	36.3%	179	59.1%
和室 1	132	43.6%	108	35.6%	83	27.4%	323	35.5%	187	61.7%
和室 2	114	37.6%	95	31.4%	84	27.7%	293	32.2%	170	56.1%
和室 3	69	22.8%	73	24.1%	58	19.1%	200	22.0%	111	36.6%
創作室	101	33.3%	70	23.1%	30	9.9%	201	22.1%	112	37.0%
レクチャールーム 2	159	52.5%	159	52.5%	105	34.7%	423	46.5%	232	76.6%
合計	1,556	27.0%	1,659	28.8%	1,276	22.2%	4,491	26.0%	2,356	40.9%

7 その他社会教育施設

(1) 豊浦ふれあいセンター

沿革：地域の生涯学習を推進するため、昭和 63 年に建設した施設で、交流室、管理室等を一体的に設けた施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 7930 番地 1

建設年月：昭和 63 年 3 月

構造：鉄骨造平屋建

床面積：202.54 m²

利用状況（平成 28 年度）（単位：件、人）

件数	146
人数	1,428



(2) 宇賀ふれあいセンター

沿革：旧宇賀中学校舎等を利用し、地域の生涯学習を推進するため平成 18 年 4 月に使用を開始した社会教育施設で、屋内運動場、講座室、グラウンドを持つ施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 4940 番地

建設年月：昭和 55 年 3 月

構造：鉄筋コンクリート 3 階建（1 階は倉庫のため使用不可）

床面積：1,571 m²

利用状況（平成 28 年度）

（単位：件、人）

室名	体育館	市民教室					総数
		第 1 講座室	第 2 講座室	第 5 講座室	第 6 講座室	第 11 講座室	
件数	243	108	26	57	4	89	527
人数	3,764	2,028	119	732	33	746	7,422



(3) 小野ふれあいセンター

沿革：旧小野小学校跡地に地域の生涯学習を推進するため、平成 17 年度に新築した施設で、情報発信室、調理実習室、多目的コミュニティ室を設けている。西側には旧小学校体育館があり、屋内スポーツ競技もできる。

位置：下関市豊浦町大字川棚 1486 番地 1

建設年月：平成 18 年 3 月

構造：木造スレート葺平屋建

床面積：281.55 m²（本館）

利用状況（平成 28 年度）

（単位：件、人）

室名	情報発信室	多目的 コミュニティ室	和室	調理実習室	特産加工室	体育館	総数
件数	31	43	109	12	49	112	356
人数	259	742	2,596	187	382	577	4,743



8 成人教育

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

28年度メニュー 74課所室 252講座

出前講座実施状況（平成28年度）

（単位：回、人）

部局・課	講座名	回数	受講者数
総合政策部			
企画課	下関市総合計画、下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1	10
広報広聴課	広報誌の作り方	1	9
	写真の撮り方	1	110
国際課	韓国語講座	1	20
	韓国文化講座	1	28
市民部			
市民文化課	消費者講座	8	1,136
防災安全課	災害に備えて	6	196
	災害図上ゲーム（DIG）	2	140
	幼児・高齢者の交通教室	2	90
人権・男女共同参画課	人権学習講座	11	354
環境部			
環境政策課	環境教室（地球温暖化対策について）	1	80
	環境教室（水質検査）	1	79
クリーン推進課	ごみダイエットとリサイクル	13	692
福祉部			
保険年金課	後期高齢者医療制度について	1	15
介護保険課	介護保険制度について	1	29
長寿支援課	地域包括支援センターについて	3	64
	高齢者の福祉サービスについて	2	41
保健部			
保健医療課	子供の救急	2	24
	感染症の予防について	1	33
成人保健課	こころの健康講座② 職場のメンタルヘルス	3	103
	知って得する！メタボ予防	3	92
	たばこと健康	1	43
	認知症予防ってな～に？	2	82
保健総務課	ふくふく健康講座（こども編）～生活リズムを整えよう～	10	405
	こころん体操	8	306
生活衛生課	食中毒予防について	3	50
観光交流部			
観光政策課	下関の観光について楽しく学ぼう！	2	66
観光施設課 （園芸センター）	タネ！	7	354
	クサ！	4	116
	楽しいガーデニング	1	18

部局・課	講座名	回数	受講者数
スポーツ振興課	セキレック教室	2	52
	ノルディックウォーキング教室	4	125
	スロージョギング教室	1	14
	各種レクリエーション・スポーツ教室	8	292
都市整備部			
公園緑地課	緑の公園づくりについて	1	34
上下水道局			
企画総務課	出張！水道教室	5	205
教育委員会			
生涯学習課	百聞は一体験に如かず 友だちづくり 1・2・3!	17	714
文化財保護課 (歴史博物館)	下関の歴史	6	217
	高杉晋作と下関	5	177
考古博物館	「古代の技術」体験教室	12	341
美術館	美術館へようこそ	2	29
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	ホネホネウオッチング	9	268
下関市立大学			
公立大学法人 下関市立大学	お金から見た日本史	1	143
その他団体			
独立行政法人 水産大学校	下関の漁業を考える	1	33
	鮮魚の目利きの技	1	24
	アレルギーとからだのしくみ (免疫)	3	112
	いろいろなフグ	1	26
海響館	海響館いきもの探検隊Ⅰ 飼育員の仕事	1	18
	海響館いきもの探検隊Ⅱイルカ・アシカのトレーニング	1	9
	海響館いきもの探検隊Ⅲ水の中の生き物 (紙芝居)	2	111
	海響館いきもの探検隊Ⅳ生き物クイズ	7	362
鯨類研究室	こちら下関鯨類研究室Ⅰ 鯨ってどんな生物	2	280
障害者スポーツセンター	障害者スポーツ出前・体験教室	2	58
中国財務局山口財務事務所 下関出張所	身近で起こる金融トラブル	1	19
中国電力 (株) 山口営業所	わくわくEスクール	1	27
	エネルギー教室	1	8
山口合同ガス	燃料電池と天然ガス	1	134
	天然ガスおもしろ実験	6	302
山口県廃棄物協会	環境出前授業	2	86
関門医療センター	健康応援講座 1 生活習慣病予防講座	1	33
	健康応援講座 8 出前でやる救急蘇生講習	2	63
下関市立市民病院	がん予防について	1	22
	子どもの健康と食事	1	15
	親と子のかかわり	1	140
	腰痛予防	2	52
	転倒予防教室	1	46

部局・課	講座名	回数	受講者数
西日本高速道路㈱九州支社	関門橋見学会	1	14
北九州高速道路事務所	関門トンネル見学会	1	14
下関警察署生活安全課	防犯講習	4	70
済生会下関総合病院	あなたにもできる救急蘇生（高橋）	2	60
	がん検診について	1	65
	心臓病について②	1	31
	転倒予防のための身体づくり	1	107
	胃腸炎から子どもを守ろう	1	14
	その症状見逃したらいけないサインかも	3	224
	知っておこうがん予防とがん検診について	1	34
	たばこの怖いところ	1	79
	みんな知りたい脳卒中の話	1	47
下関医療センター （旧厚生病院）	「ストレス」って何だろう	2	77
山口県弁護士会 下関地区	相続のはなし	1	13
	親の老いじたく	1	31
マルチメディア振興センター	e - ネットキャラバン（e - ネット安心講座）	2	102
国土交通省九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所	地球にやさしい「みなと」づくり	3	87
山口県自閉症協会 下関分会	サポートブックの作り方	1	4
長州科楽維新プロジェクト	おもしろ科学教室	20	824
みさかの森自然学校 共同事業体	環境教室	14	650
計		280	11,923

(2) 市民文化セミナー

実施状況(平成 28 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数	実施地区
第 1 分野「下関で生まれた芸術文化」全 3 回	下関市立美術館学芸員 関根 佳織 外	6 月 ~ 9 月	63 人	下関地区
第 2 分野「理系伝道者 免許皆伝下関」全 4 回	長州科楽維新プロジェクト 外	6 月 ~ 9 月	7 人	下関地区
アブニール学級「矢野大和の笑って元気な口演会」	おおいた観光特使 矢野 大和	3 月	252 人	菊川地区
悠友大学 「歴史講座 明治の教育」外 5 回	豊北歴史民俗資料館 佐々田 麻未 外	7 月 ~ 1 月	125 人	豊北地区

(3) 関門海峡・温故知新塾

実施状況(平 28 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数
未来へつなぐ関門の宝もの	下関市立歴史博物館 館長補佐 古城 春樹 外	7月～11月	137人

(4) 市民学級

市民学級実施状況(平成 28 年度)

(単位:人)

公民館名	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
彦 島	なつかしの歌声教室、元気になるヨガ、地産地消カレーづくり、巻き寿司づくり教室	なつかしの歌声 講師 山根 徹 外	6月～9月	102
長 府	ミニトランポリン、パン教室、七宝焼、行政書士によるお話、源氏物語講座、なつかしの歌声、絵遊び文字あそび	山口県おさんぼりん協会 門脇 久美子 外	6月～11月	100
王 司	桜の下でカンボジアの子どもたちの話を聞こう、減らさない！のこす！上手くつきあう3つのポイント、健康運動教室、家庭でできるプロの味料理教室、男性の料理教室、コーヒー教室、しめ縄かざり作り、お魚まるごと料理教室	王司婦人会前会長 縄田 牧子 外	4月～1月	146
清 末	みんなで歌おう、救命講習とAED講習、認知症サポート講座、防犯・交通事故防止について、創作活動・押し花、遺言について、成年後見制度について、料理教室 お魚料理	登録団体講師 田村 優子 外	6月～1月	146
小 月	実例で学ぶ相続、パン教室、日本舞踊(全3回)、ミニトランポリン、パソコン教室(全3回)、大正琴、童謡みんなで大合唱♪、夏まつり踊りの練習、郷土町歩きツアー、ふるさとの山登り、絵あそび文字あそび、かんたん！お菓子和軽食	行政書士 西谷 佳記 外	5月～12月	263
王 喜	春のコンサート、包括支援センターってどんなところ？、知っておきたいエンディングノートと遺言、健康体操①、地震・津波から身を守る防災訓練、いくつになっても自分の足で歩けるために～ロコモティブシンドロームについて～、クラフトテープで作るミニバスケット、健康体操②、2017年押花カレンダー作り、料理教室、飾り雛づくり	声楽家 秋本 真紀 外	4月～1月	670
吉 田	健康体操①②③、七夕飾りづくり、笑福亭仁智さんによる落語会、もみじウォーク&ノルディックウォーキング、料理教室、スローヨガピクス、恵方巻きを作ろう	吉田地区保健推進委員会 会長 岡田 タカ子 外	5月～2月	299
内 日	音楽に合わせてフラダンス♪、平家太鼓に合わせて踊りましょう、内日ってどんな町、おふくろの料理教室(郷土料理)、おやじの料理教室(魚料理)	フラダンスホアロハ 村田 由美子 外	7月～1月	102
勝 山	整体体操・足操術でリラックス、ヤッホー！楽々体操①②、エネルギー教室、ゆかた着付け教室、知っておきたい エンディングノートと遺言	登録団体講師 中村 清子 外	6月～9月	210
川 中	実例で学ぶ相続、さわやか健康体操、夏休み陶芸教室！、みんなで学ぼう救急蘇生(AEDの使用法について)、美術館へようこそ、かつちゃんの絵遊び・文字遊び、冬野菜たっぷりおかず、知って得する！メタボ予防	行政書士 西谷 佳記 外	5月～1月	194
安 岡	骨盤体操、安岡公民館 救命入門コース、健康体操、料理教室	体操インストラクター 西川 登志美 外	5月～11月	96
吉 見	認知症サポーター養成講座、陶芸教室、アロマワックス教室、料理教室、そば打ち教室、正月フラワー講座	下関市安岡・吉見地域 包括支援センター 外	6月～12月	101
吉 母	太極拳教室、パソコン教室、歌謡教室、童謡教室、下関史跡探訪、紙人形教室、カフェオレ実演とコーヒーを愉しむ	太極拳講師 宋 大慶 外	6月～12月	146
北 部	刃物研ぎ、パソコン教室(全4回)、セキレック、紙工芸、デコ巻きずし	刃物研ぎ教室講師 河野 勝宣 外	5月～12月	95
西 部	ペタンク、健康体操、トールペイント、童謡を歌おう、料理教室(シルバー認知症予防クッキング)	上新地町5丁目自治会外	9月～2月	102
玄 洋	トールペイント教室、グラウンドゴルフ教室、刃物研ぎ教室、肩凝り腰痛ラクラク体操、健康太極拳教室	宮木 浜子 外	8月～12月	96
長 府 東	クラフトの兜作り、書とふれあう、クラフトのバックづくり①②、初歩の陶芸教室、認知症について地域で取り組みませんか、こんにゃく作り、ちりめんの干支作り、足操術、クラフトのおひなさま作り、バレンタインのお菓子作り、手ごねでパンを作ってみよう！	陶芸家 中村 健悟 外	4月～3月	230

殿 居	歴史探訪講座 バン教室 ところてん作り フラワーアレンジメント トールペイント こんにやく作り	田中 和夫 外	4月～3月	104
豊 田 中	料理教室 切り絵教室 銅版レリーフ作り 竹細工教室 グラスアート体験教室 ストレス講座 健康体操 手芸教室 歴史ウォーキング教室 いきいきふれあい教室(紙芝居、たなばた飾り、寄せ植えしめ縄飾り作りほか) 編物教室	國重 辰枝 外	4月～3月	542
三 豊	着付け教室 バン教室 リサイクル小物作り教室 陶芸教室 アロマ教室 健康教室 料理教室 門松作り 華道教室 手芸教室 音楽教室 華道教室	小川 ふさ子 外	4月～3月	313
西 市	歴史・郷土講座 行政相談について くすりについて 野菜作り講座 エンディングプラン うそ電話詐欺 スマホ携帯安全教室 生け花 お菓子・料理教室 ボッチャ体験 転倒・腰痛予防 手作り教室(メガネケースほか)	田中 俊郎 外	4月～3月	412
豊 田 下	ふるさと歴史発見教室 チャレンジ教室(張子作り、布草履作り ストリングアート 陶芸 トールペイント 銅版レリーフ作り ノルディックウォーキングほか) 地域を考える 料理教室	清廣 哲也 外	4月～3月	579
小 串	健康体操、親父の料理教室、ストレッチヨガで心も体もコンディショニング、パソコン講座、生花教室、こんにやくづくり、親父料理教室	白石 厚子 外	4月～1月	109
川 棚	はじめての太極拳、男の料理教室(夏の男飯し)、アロマで暮らしにうおいを、男の料理教室(魚編)、ガーデンシクラメンの上手な育て方、そば打ち教室、こんにやく作り教室	佐々木 美智江 外	5月～2月	128
黒 井	クラフト兜作り教室、ステップアップ写真教室第2弾、パッパッと簡単!夏を乗り切る料理教室、みそ作り教室、カラーセラピー教室、そば打ち教室、しめ縄作り教室	中西 芳美 外	4月～12月	108
室 津	布ぞうり作り教室、トランポリン教室、知っておきたいエンディングノートと遺言教室、植物の寄せ植え教室、知っておきたい相続と遺言、クリスマスリースをつくらう、蕎麦打ち体験教室、しめ縄飾り作り教室、茶道教室	岸田 シヅコ 外	4月～1月	117
神 玉	エコクラフトバッグづくり、プリザーブドフラワー教室、くるり織教室、ジュニア社交ダンス、初級韓国語講座	青木 蘭 外	7月～3月	84
阿 川	そば打ち体験教室、健康登山、阿川毛利勉強会、陶芸教室	中塚 芳希 外	6月～3月	107
栗 野	夏バテ防止料理教室、エコクラフトバッグづくり	栗野地区ヘルスマイト外	5月～6月	27
滝 部	毛糸でつくるあみぐるみ教室、シニアのための社交ダンス	熊谷 崇志 外	6月～3月	35
田 耕	俳句教室	岡 昌子 外	4月～3月	88

社会教育関係施設	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
菊 川 ふれあい 会 館	歴史講座、しめ縄づくり教室、切り絵の作品づくり、パソコン教室ほか	藤田 昌三 外	5月～3月	427
豊 田 生涯学習 センター	バードウォッチング講座 活け花講座 暮らしの筆講座 クッキング講座 家庭園芸講座 健康体操講座 がん予防とがん検診について 3B体操体験講座 コースターを織るワークショップ 春待ちコンサート	上野 俊士郎 外	5月～3月	425
宇 賀 ふれあい センター	フラワーアレンジメント教室、防災教室～身近な防災のお話～、おやじ料理教室、婦人料理教室、陶芸教室、みそ作り教室、絵手紙教室、そば打ち教室	植村 初枝 外	4月～2月	124
豊 北 生涯学習 センター	体幹トレーニング、ガラスアートで小物入れ、デコ巻きでサンタクロス、木工教室、ココナッツオイルでスイーツ作り、ベビーマッサージ教室、クラフトバッグづくり	門脇 久美子 外	5月～3月	95

(5) 社会教育関係団体 (平成 29 年度)

(単位：人、円)

団 体 名	代 表 者	団 体 の 目 的	会 員 数	補助金支出予定額
下関ユネスコ協会	小 田 明	ユネスコ精神の普及徹底と国際理解・交流・支援を深めるための活動を行う。(生涯学習課に事務局)	55	—
下関市幼稚園 P T A 連 合 会	川 越 勲	健全な P T A 活動を推進するため単位団体相互の連絡・資料交換・研修等を行う。	(13 団体) 466	—
下関市小学校 P T A 連 合 会	山 崎 利 幸	同 上	(49 団体) 13,593	—

下関市中学校 P T A連合会	植 田 和 公	同 上	(23 団体) 6,810	—
下関市 P T A連合会	佐々木 猛	幼・小・中P T A連合会活動の統合・ 調整・情報交換・合同研修会を行う。	(85 団体) 20,869	756,000
下関市連合婦人会	和 崎 法 子	婦人の資質向上と、社会参加をめざし、 自主的活動を行う。	753	800,000
下関市子ども会 連合会	関 谷 博	各小学校区子ども会連合会相互の連絡調整 を行う。子ども会の団体活動を通じて、 青少年の健全育成に寄与する。	2,565	854,000
下関スカウト育成 協議会	前 田 晋太郎	スカウト加盟団体相互の連絡調整を図り、 スカウト活動の健全なる育成発展に寄与する。	(3 団体) 124	310,000
下関海洋少年団	西 島 朋 宏	海や船に関する知識や技術を学ぶ機会を 提供し、心身ともに健康でたくましい 青少年の育成をめざす。	38	—
菊川町青年団	長 元 宏 樹	交流会等事業実施や菊川地区イベント 参加による青年団活動の推進及び 積極的な社会参加の促進を図る。	5	—

(6) P T A地域活動（平成 29 年度）

P T A連合組織と会員数

(単位：団体、人)

団体名	会 長	事務局所在地	単位 団体数	会 員	内 訳	
					児童数	教職員
平成 28 年度			87	21,275	19,580	1,695
平成 29 年度			85	20,869	19,200	1,669
下関市幼稚園P T A連合会	川 越 勲	唐戸町4番1号 カラトピア内5階	13	466	402	64
下関市小学校P T A連合会	山 崎 利 幸		49	13,593	12,552	1,041
下関市中学校P T A連合会	植 田 和 公		23	6,810	6,246	564

9 家庭教育

(1) 平成 28 年度地域ふれあい活動（学校外活動）

（単位：人、回）

公民館名	参加者数	開設回数	主 な 学 習 内 容
彦島公民館	127	4	夏休み陶芸教室、かわいい寄せ植え教室、パン作り教室、ケーキづくり教室
長府公民館	120	5	パン教室、料理教室、エネルギー教室、七宝焼、おもしろ科学教室
王司公民館	131	6	キッズダンス、母の日生け花教室、浴衣の着付け教室、切り絵を作ろう、親子料理教室、なが〜い恵方巻き
清末公民館	206	8	おもしろ科学教室、こども絵画教室、お話会とソーメン流し・木工教室、古代の技術体験教室 勾玉づくり、ヒップホップダンス教室、お話会とお餅つき・しめ縄作り、こども百人一首、お話し会と “おにぎらず” 作り
小月公民館	387	22	習字と硬筆、クッキーづくり、パン教室、工作、科学実験、茶道教室、ホネホネウォッチング、おやつ作り、体育教室、料理教室
王喜公民館	516	10	手芸教室（全 2 回）、陶芸教室（成形、仕上げ）、サイエンス教室、浴衣の着付け、たこづくり、どんど焼きとたこあげ大会、国際文化交流会、ホネホネウォッチング
吉田公民館	509	8	灯籠づくり、人形劇、子ども料理教室、遊びながらの体操教室、キッズミニトランポリン、昔あそび、クリスマス会、どんど焼き&防災訓練
内日公民館	128	3	ハンドベルとトーンチャイム、手づくり陶芸教室、伝統工芸 輪飾り作り
勝山公民館	363	6	こども囲碁入門教室、夏休みのランチづくり教室、こども陶芸教室、わくわく E スクール 電気の役割/エネルギーと環境問題（実験・工作）、楽しい読書とクリスマス会、しめなわ飾りづくり教室
川中公民館	678	43	囲碁教室、花あそび教室、料理教室、グラウンドゴルフ教室、生け花教室
安岡公民館	126	4	こども陶芸教室、親子で楽しく☆七宝焼き教室、楽しいお話の会及び手作り遊び（2 回）
吉見公民館	111	6	ホネホネウォッチング、絵本の読み聞かせ、ふるさとの「川の生きもの観察」教室、七宝焼教室、百人一首かるた教室、デコ巻き寿司教室
吉母公民館	39	2	読み聞かせと料理教室、陶芸教室、
北部公民館	30	3	子供陶芸教室、デコ巻きずし、親子料理教室
西部公民館	53	3	陶芸教室、工作教室、料理教室（デコ巻）
玄洋公民館	80	5	親子陶芸教室、親子書道教室、親子クラフトバンド教室、親子絵手紙教室、親子パン作り教室
長府東公民館	208	6	似顔絵パン教室、勾玉づくり教室、こども陶芸教室、おもしろ科学、たねのふしぎ、クリスマス会
殿居公民館	293	30	大正琴 茶道 百人一首 フラワーアレンジメント 浦安の舞 しめ縄作り アイシングクッキー作り
豊田中公民館	213	13	子供料理教室 寄せ植え 習字教室 フェルトでこいのぼり作り たなばた飾り作り 日銀出前講座 科学実験 工作 クリスマスツリー作り
三豊公民館	18	1	夏休み子ども陶芸教室
西市公民館	211	13	親子料理教室 メロンパン作り 茶道教室 書道教室 クラフト教室 お花教室
豊田下公民館	876	28	料理教室 茶道教室 風鈴作り コアキッズ体操 ストリングアート教室 プラバン作り 年賀状作り 百人一首 工作教室 養蜂体験 寺子屋
小串公民館	330	12	リトミック、親子盆踊り教室、夏休み宿題サポート教室、ステンドグラス&そうめん流し、クリスマスお菓子作り、しめ縄づくり教室、書き初めを書こう
川棚公民館	241	8	ウォーキング教室、父の日のフラワーアレンジメント、ママとキッズのエクササイズ、夏休み親子木工教室、音楽で遊ぼう、クラフトテープでリース作り、絵手紙で年賀状、しめ縄作り
黒井公民館	124	5	親子料理教室、絵画教室、もし子どもにこんな事が起こったら、竹馬作り教室、親子体操教室
室津公民館	177	20	夏休み子ども太鼓教室、浴衣の着付け教室、子ども手作り教室、子ども料理教室、かんたん朝ごはんをつくろう、お魚教室、凧作り教室、書初め教室、親子恵方巻き作り教室
合計	6,295	274	

(単位：人、回)

社会教育関係施設名	参加者数	回数	主な学習内容
菊川ふれあい会館	775	26	ふれあいコンサート、わんぱくいけばな教室、通学合宿ほか
豊田生涯学習センター	45	4	わくわく実験講座
豊北生涯学習センター	43	1	工房の森(小学生体験工房)

(2) 家庭教育学級(平成28年度)

(単位：人、回)

実施園・校	参加者数	開設回数	主な学習内容
第一幼稚園	87	2	小学校入学時までに身につけさせたい力とは?、親子リズム体操・親子ヨガ
第五幼稚園	80	2	絵本の読み聞かせ、からだを使った体育遊び
豊浦幼稚園	212	3	深坂の森の幼稚園、「絵本の力」育つもの・育てるもの、からだを使った体育遊び
小月幼稚園	105	1	親子リズム体操・親子ヨガ
内日幼稚園	24	2	いのちの教室～動物愛護の観点から～、じろさんの命の教室
江浦幼稚園	111	2	親子リズム体操・親子ヨガ、深坂の森の幼稚園
清未幼稚園	208	3	からだを使った体育遊び、深坂の森の幼稚園、3B体操
生野幼稚園	80	2	「絵本の力」育つもの・育てるもの、親子リズム体操・親子ヨガ
向山幼稚園	48	2	子どもへの上手なかかわり方、親子リズム体操・親子ヨガ
川中西幼稚園	79	2	からだを使った体育遊び、親子リズム体操・親子ヨガ
川中幼稚園	120	1	深坂の森の幼稚園
垢田幼稚園	103	2	親子リズム体操・親子ヨガ、親子で絵本作り
王喜こども園	64	1	子どもへの上手なかかわり方
菊川こども園	68	1	考え方の方向を変えてみませんか
菊川こども園 田部分園	56	1	乳幼児とテレビ・ゲーム・スマホ
豊東幼稚園	143	2	早寝早起き朝ごはん、親子でリズムヨガ
豊東小学校	14	1	切り絵
岡枝小学校	157	1	しめ縄づくり
檜崎小学校	26	2	家庭での学習習慣、料理教室
菊川(合同)	89	1	ブックフェア
室津幼稚園	50	2	親子でクッキング!、親子でふれあう運動遊び
黒井こども園	95	3	親子お茶席会
川棚こども園	204	3	エアロビクス、お茶席体験
合計	2,223	42	

(3) 大人の学び塾事業

「大人の学び塾事業」は、平成 28 年度実施した事業で、「大人の学び」と題して、「気づき、考え、学ぶ」ことを体験してもらうことで、家庭教育力の向上を目的とする。家庭をめぐる問題が困難化する中で、より効果的な家庭教育支援を実施するために、学校等を会場とし、就学時検診・参観日・学校保健委員会・PTA 研修会など多くの保護者が集まる機会を活用し、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

・大人の学び塾実施状況（平成 28 年度）

（単位：人）

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 15 校 市内中学校 1 校 市内公民館 1 館 計 17 ヶ所	「いのちの授業～いのちを大切にすることをはぐくむ。」をテーマに、いのちの活動での実体験（子どもや親からのメッセージ、エピソード）をもとに、いのちの授業に加えて、いのちを大切にすることを育むためのポイントを語る鈴木氏を招き講演会を行った。	NPO 法人 いのちをバトンタッチする会 理事 鈴木 中人	4 月 13 日	958
	「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」熊丸氏を招き、笑いあり涙ありの子育て講演会を行った。	子育てアドバイザー 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸 みつ子	9 月 6 日 9 月 16 日 9 月 29 日 10 月 6 日 10 月 12 日 1 月 19 日	307
	青少年にとって良くも悪くも影響力の大きいツールとなっているスマホやネット、とりわけ SNS に関する最新の状況やトラブル事例を紹介し、その対策について、置鮎氏を招き、元 PTA 会長として、保護者目線の講演会を行った。	プランニングオフィス ラバーリング代表 置鮎 正則	6 月 23 日 10 月 4 日 10 月 6 日 10 月 18 日	64
	来年度就学児の保護者を対象に、小学校入学に向けて、意識を高め、家庭教育力の向上を図るためのポイントについて、向江氏を招いて講演会を行った。	家庭教育支援アドバイザー 向江 伸子	10 月 12 日 10 月 18 日	103
	本市出身であり、視覚障害がある道下選手の体験をもとにした講演を聞き、参加者が対話をすることで、自分の生き方、学び方の考えを深める講演会を行った。	2016 リオパラリンピック女子 マラソン銀メダリスト 道下 美里	9 月 30 日	150
	絵本「いのちをいただく」の主人公である食肉解体業の坂本氏を招き、体験談を聞くことを通して、いのちの尊厳、食の意味や大切さを感じる講演会を行った。	元熊本市食肉センター勤務 坂本 義喜	11 月 12 日	30
	メディアに関わる健康被害や心と体の健康を守るための適切な関わり方などについて、古野氏を招き、メディアについての知識を身に付け、正しい判断力と実践力を養う講演会を行った。	「子どもが未来」代表 NPO 法人子どもとメディア 常務理事 古野 陽一	2 月 17 日	27

(4) 女性団体の育成

○下関市連合婦人会

- 会 長 和崎 法子
 会 員 数 753 人（平成 29 年 4 月現在）
 重 点 目 標
- ・安心安全のまちづくり活動を推進し地域の絆を深めよう
 - ・青少年健全育成を進め明るい社会につなげよう
 - ・日常生活を見直し防災・環境意識を高めよう
 - ・生涯学習をすすめ健康ではつらつと生きよう
 - ・ルールとマナーを守り交通事故のない社会をつくろう

10 下関みらい塾事業

「下関みらい塾事業」は、平成 16 年度から始まった事業で、下関の子供達に夢や希望を与え、未来に羽ばたく人物を育成することを目的として、各分野の第一線で活躍している人材に、自身の人生や専門の世界についての講演で、子供達に熱いメッセージを送ってもらい機会をつくる。

平成 23 年度からは、間近で講演が聴くことができ、より多くの子供達に深く感動してもらえよう、講師が各学校に出向く「出前型」での講演会を実施した。

・下関みらい塾実施状況（平成 28 年度）

（単位：人）

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 2 校 市内中学校 12 校 計 14 校	「命・生きること・産まれること」というテーマで、助産師・思春期保健相談員として各地で講演活動をされている内田氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	助産師・思春期 保健相談員 内田 美智子	4 月 22 日 7 月 1 日 10 月 21 日	597
	「夢を持って前を向いて生きていくこと」「自分や周りの人々を大切に生きていくこと」をテーマに、一線で活躍している中村氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	クロフネカンパニー 代表取締役 中村 文昭	11 月 10 日 11 月 11 日	1,192
	奇跡的に命をとりとめ、多くの人達に支えられて生きていることに気づいた腰塚氏が、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せや、人は皆誰かを照らす存在であるというメッセージを送ってもらい講演会を行った。	株式会社命の授業 代表取締役 腰塚 勇人	10 月 3 日 10 月 4 日	1,250
	2000 年に来日し、ALT として活躍中であるルーカス氏を講師として招き、自身の東日本大震災被災体験と、震災を通して感じた音楽の力について、トーク・ライブ・レッスンという形で講演会を行った。	シンガー・ソングライター ゴスペルアーティスト ジャマイカ親善大使 ジョン・ルーカス	5 月 6 日	780

11 豊田ホタルの里ミュージアム

(1) 施設概要

沿革：昭和 32 年に豊田町を貫流する木屋川がゲンジボタルの発生地として天然記念物の指定を受けたが、河川改修工事等による影響でゲンジボタルが減少した。そこで、町内の有志や小学校等によりさかんに保護活動が行われた。豊田ホタルの里ミュージアムは、これらホタルの保護活動の拠点として、また、ホタルとそれを取り巻く豊田町の自然の情報を全国に発信する場所として平成 16 年 6 月 5 日開館した。

位置：下関市豊田町大字中村 50-3
TEL083-767-0350 FAX083-767-0355

敷地面積：10,480 m²

構造：鉄骨造平屋建

建設面積：1,455 m²

延床面積：1,377 m²

常設展示室 349 m² シアター室 43 m²
ネイチャーラボ 24 m² 多目的ホール 138 m²
エントランスホール 169 m² その他 654 m²

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

(但し最終入館は午後 4 時 30 分)

※6 月の開館時間は変更になることがある。

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/28～1/4)

入館料：大人 200 円 大学生等 100 円

団体(20 名以上) 大人 160 円 大学生等 80 円

以下の者は無料

- ・高校生以下の者
- ・65 歳以上で市内および北九州市に居住する者
- ・居住地に関係なく 70 歳以上の者
- ・障害者手帳の交付を受けている者(障害者程度が 1～4 級までの者については付き添い一人を含む。)



平成 28 年度月別利用状況表

(単位：日、人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	28	27	26	26	26	26	23	23	24	27	308
総入館者数	1,106	2,243	5,559	3,014	5,269	1,474	912	621	346	496	501	835	22,376

12 青少年教育

(1) 青少年健全育成事業

① 青少年問題協議会

ア 委員数 15 名（会長は委員の互選による、委員は関係行政機関の職員及び学識経験者のうち市長が委嘱又は任命）

イ 専門委員 必要に応じ任命する。

② 青少年健全育成市民会議

○ 下関市青少年健全育成市民会議 昭和 60 年 11 月 15 日発足

ア 委員等：86 名

（会長は市長、副会長 7 名、顧問 3 名、参与 5 名、企画・運営委員 18 名、委員 52 名）

- ・ 総 会 開催日 平成 28 年 7 月 4 日（月）
会 場 下関市教育センター大研修室
参加者 93 名
- ・ 青少年健全育成推進大会 開催日 平成 28 年 11 月 7 日（月）
会 場 川中公民館講堂
参加者 243 名
- ・ 習字募集 最優秀 5 点 優秀 15 点 佳作 30 点
- ・ 功労者表彰 個人 4 名

イ 各地区（校区）育成協議会の活動助成 2 団体 講演会の講師謝礼の一部を助成する。

○ 菊川町青少年育成町民会議（菊川教育支所管内） 平成 2 年 1 月 20 日発足

ア 運営委員：13 名（会長、副会長 2 名、常任委員 8 名、監事 2 名）代議員 42 名

イ 主な事業

- ・ 常任委員会及び代議員会議 開催日 平成 28 年 7 月 14 日（木）
会 場 菊川ふれあい会館（アブニール）
参加者 31 名

(1) ブックトーク&選書会共催

(2) 国体出場等祝い懸垂幕作成 他

○ 豊田町青少年健全育成町民連絡協議会（豊田教育支所管内）

5 月 県青少年育成県民会議総会参加 3 名

7 月 市青少年健全育成市民会議総会参加 3 名

11 月 市青少年健全育成推進大会参加 3 名

○ 豊浦町青少年育成町民会議（豊浦教育支所管内）昭和 57 年 9 月 6 日発足

ア 役員 30 名（会長、副会長 4 名、顧問 2 名、理事 18 名、監事 2 名、事務局 3 名）

イ 地域活動の拡充と推進体制の整備

- ・ 総 会 開催日 平成 28 年 6 月 4 日（土）
会 場 下関市立川棚公民館
参加者 100 名
- ・ 青少年育成関係団体連携セミナー 開催日 平成 28 年 11 月 12 日（土）
会 場 下関市立川棚公民館
参加者 70 名

ウ 青少年の社会活動参加への啓発促進

- (1) 「私の主張」発表大会 開催日 平成 29 年 2 月 11 日(土)
会 場 下関市立川棚公民館
参加者 190 名

- (2) 青少年の自主性や社会性を育むスポーツ・団体活動への参加奨励及び支援
放課後子供教室及び各地区民会議への支援

○豊北町青少年健全育成連絡協議会（豊北教育支所管内） 昭和 57 年発足
協議会委員 28 名（会長、副会長 1 名、監事 2 名、委員 22 名、事務局 2 名）

ア 主な活動

- (1) 「少年非行防止と社会を明るくする運動」及び「青少年健全育成」啓発活動
(2) 薬物乱用防止ヤングキャンペーン
(3) 社会を明るくする運動豊北町推進大会
(4) 子供 110 番の家のぼり設置更新

③成人の日記念行事

対 象 者：平成 8 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日生まれの人

○本庁管内

- ア 開 催 日 平成 29 年 1 月 8 日(日)午前 11 時～午後 0 時 30 分
イ 会 場 海峡メッセ下関
ウ 参 加 者 1,249 名
エ 行事内容 (1) 式典 市長・議長祝辞、はたちのメッセージ
(2) 実行委員会主催「はたちの交流会」

○菊川・豊田総合支所管内

- ア 開 催 日 平成 29 年 1 月 8 日(日) 午後 2 時～午後 4 時 30 分
イ 会 場 菊川ふれあい会館
ウ 参 加 者 107 名
エ 行事内容 (1) 式典 市長・来賓祝辞、はたちの誓い
(2) 記念写真撮影
(3) 実行委員会主催アトラクション

○豊浦・豊北総合支所管内

- ア 開 催 日 平成 29 年 1 月 8 日(日) 午後 1 時～午後 3 時
イ 会 場 夢ヶ丘スポーツセンター
ウ 参 加 者 187 名
エ 行事内容 (1) 式典 市長・議長祝辞、はたちの提言
(2) 記念写真撮影
(3) アトラクション

④学校・家庭・地域の連携協力推進事業

ア ふるさと下関協育ネット事業の実施

- (1) 本庁管内 12 小学校 9 中学校
(2) 菊川教育支所管内 3 小学校 1 中学校
(3) 豊田教育支所管内 3 小学校 1 中学校

- (4) 豊浦教育支所管内 2 小学校 1 中学校
 (5) 豊北教育支所管内 1 小学校
- イ 放課後子供教室の実施（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
 (1) 本庁管内 10 教室（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
 (2) 菊川教育支所管内 3 教室
 (3) 豊田教育支所管内 3 教室
 (4) 豊浦教育支所管内 5 教室
 (5) 豊北教育支所管内 1 教室
- ウ 平成 28 年度子供指導者研修会
 開催日 平成 29 年 3 月 3 日(金)
 会 場 教育センター 中研修室
 参加者 35 名
 講 師 「体験活動には事故につながるミスや事象がいっぱい！
 安心して活動するためのリスクを管理」
 深坂自然の森 森の家下関 所長 井上 桂 氏

(2) 青少年非行防止対策業務

①青少年補導センター

- ア 所 在 地：下関市幡生新町 1 番 1 号 下関市教育委員会教育部生涯学習課内
 イ 設 置 年 月 日：昭和 39 年 4 月 1 日
 ウ 活動地域の青少年人口：14,271 人（14 才～20 才未満） 平成 29 年 3 月 31 日現在
 エ 活動地域の関係機関：家庭裁判所 1、警察署 3、児童相談所 1、小学校 50、中学校 23、
 高等学校 15、中等教育学校 1、特別支援学校 3、短期大学・大学等 5
 オ 職員配置：所長 1 名、青少年健全化推進員 2 名、青少年相談員 1 名

②青少年補導センター運営協議会

- ア 委 員：14 名（教育委員会委嘱、任期 2 年、会長は教育長）
 イ 委員の構成：主任家庭裁判所調査官、警察署生活安全課長（3 署）、児童相談所長、中学校長代表、
 高等学校代表、PTA 連合会代表、保護司会代表、民生児童委員代表、婦人会代表、
 防犯対策協議会代表、青少年補導委員代表 市教育委員会教育長 計 14 名
 ウ 任 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
 エ 会 議：年 1～2 回開催

③青少年補導委員

- ア 青少年補導委員状況(平成 29 年 6 月 1 日現在) (単位：人)

区 分	委 員 数	内 容
一 般	142	16 育成協単位(17 校区)
小 学 校	31	各校教員 1 名
中 学 校	17	〃
高 等 学 校	13	〃
職 域	4	デパート、スーパーマーケット等各 1 名
合 計	207	

- イ 任 期：2 年(現在の任期 平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日)
 ウ 青少年補導委員幹事：各所属区分毎に 1 名 計 20 名
 毎月 1 回幹事会を開催して情報の交換を行うほか、校区活動等に関し自主計画の策定、委員会間の連絡にあたる。

(3) 青少年教育施設

①下関市立青年の家

研修活動や団体宿泊を通じて、多様な活動や体験学習を行い、規律・友愛・協同の精神を養い健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置 下関市棕野町一丁目 17-1 (一里山公園内)

TEL 083-223-0521

開 所 昭和 48 年 3 月 21 日

宿 泊 定 員 112 人

施設・設備 本 館 鉄筋コンクリート 3 階建、延 1,913.35 m²

1 階 事務室、ロビー、食堂談話室(120 名)、保健室、浴室、当直室、従業員室

2 階 第 1 研修室(112 名)、第 2 研修室(40 名)、第 3 研修室(24 名)、音楽研修室(60 名)、講師控室、展示ホール

3 階 宿泊室(112 名)、講師室(6 畳)、和室(20 畳)

体育館 鉄骨平屋建 772.79 m²

バレーコート 2 面、バスケットコート 1 面、バドミントンコート 2 面、卓球台 3 台

運動場 5,000 m² 200mトラック、ソフトボール、サッカー等

ア 生活目標 規律正しい生活をしよう。明るい交歓をしよう。積極的に実践しよう。

イ 研修内容 研修内容については、青年の家と協議して、各団体が自主的に計画立案する。

(1) 学 習 活 動…研修討議、視聴覚教材を利用した討議、茶道、華道

(2) 体 育・レクリエーション…歌唱、ゲーム、フォークダンス、球技(バレー、バスケット、卓球、サッカー、ソフト、ドッジボール)等

ウ 要請により青年の家が協力する事項

(1) 講話(講師のあっせん)

(2) 研修プログラム立案の相談

(3) 団体活動の相談

(4) 生活、体育、レクリエーション等指導

(5) 研究討議の指導助言

エ 年度別利用状況

(単位：団体、人)

区分 \ 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
宿 泊	団体数	66	117	121	132	104
	利用者数	4,544	4,607	4,648	4,400	3,167
日 帰 り	団体数	237	320	245	270	302
	利用者数	5,370	7,571	5,244	5,689	5,521
合計(団体数)		303	437	366	402	406
合計(利用者数)		9,914	12,178	9,892	10,089	8,688

②下関市菊川青年交流館

青年が交流を通じて、自主的活動の振興促進を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置	下関市菊川町大字下岡枝9番地2
建設年月	平成12年3月
建築面積	187.7 m ²
延床面積	173.9 m ²
	会議室 63.76 m ² 調理室 19.87 m ² 倉庫ほか 90.27 m ²
構 造	木造平屋建
開館時間	午前9時から午後10時まで
休 館 日	12月29日から翌年1月3日まで

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館

(1) 沿革

昭和 56 年 4 月美術館等開館準備室を教育委員会に設置
昭和 57 年 4 月美術館建設工事に着手
昭和 58 年 2 月美術館建設工事が完成
昭和 58 年 4 月美術館の設置等に関する条例を制定
昭和 58 年 11 月開館
昭和 63 年 10 月駐車場を増設
平成 5 年 10 月駐車場及び修景を整備
平成 22 年 3 月リニューアル工事、屋外エレベーター設置



(2) 位置

下関市長府黒門東町 1 - 1 (〒752-0986)
TEL (245) 4131 FAX (245) 6768

(3) 建築概要等

敷地面積 15,786 m²
建築面積 2,262 m²
延床面積 4,838 m² (展示部門 906 m²、収蔵部門 1,060 m²、学術研究部門 445 m²、共用部門
他 2,335 m²、屋外施設 92 m²)
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建、塔屋 1 階、地下 1 階 (一部光庭ドーム、鉄骨造)

(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
休 館 日 祝日以外の月曜日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、その他展示替え等のため
の臨時休館

観 覧 料 (所蔵品展)

一 般 200 円 (160 円)

大学生等 100 円 (80 円)

()内は 20 人以上の団体料金。

※18 歳以下、70 歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九州市内に在住の 65 歳以上の方は無料 (証明書必要)。

企画展観覧料は別に定める。

会場使用料

(単位：円)

区 分	第 4 展示室	講 堂
午前 9 時 30 分～正午	2,420	1,810
午後 1 時～午後 5 時	4,980	3,650
午前 9 時 30 分～午後 5 時	7,420	5,590

(5) 収蔵品

収蔵品種別集計表

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

種 別	点 数
日 本 画	376
洋 画	364
水彩・素描	168
版 画	757
彫 塑	156
工 芸	264
写 真	15
書	3
資 料	133
合 計	2, 236

(寄託品を含む)



度会洞玉 《吼牛飼呼之図》
江戸時代（文政 13 年 [1816] 以前）
絹本着色、軸・1 幅

(6) 企画展開催と観覧者の状況

(単位：日、人)

名 称	会 期	観覧者数			
		開館 日数	有料	無料	計
エドワード・ゴッリーの優雅な秘密	28 年 9 月 8 日～10 月 23 日	42	5, 594	5, 037	10, 631
動き出す！絵画 ペール北山の夢 モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の 若き洋画家たち	29 年 1 月 28 日～3 月 12 日	38	2, 494	4, 697	7, 191

2 歴史博物館

(1) 沿革

平成 28 年 11 月 18 日、旧下関市立長府博物館（旧館）の活動を継承発展するために開館した博物館。博物館活動の基本となる展示については、「海峡に育まれた下関の歴史と文化-海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとし、下関の古代から近代までの歴史について紹介している。また、市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでいる。



(2) 位置

下関市長府川端二丁目2番27号（〒752-0979） TEL（241）1080 FAX（245）3310

(3) 構造等

敷地面積 10,155 m²（新館部 5,484 m²、旧館部 4,671 m²）

構 造 新館 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺

旧館（旧長府博物館） 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺ほか

※旧館本館は昭和8年建築、戦前の博物館建築の典型として国登録有形文化財。

延床面積 2,105 m²（新館部 1,500 m²、旧館部 605 m²）

(4) 開館時間等

開館時間 午前9時30分～午後5時（ただし、入館は午後4時30分）

休 館 日 月曜日（休日の場合は翌日以降最初の休日でない日）、年末年始（12月28日～1月4日）

観 覧 料 常設展示 一般200円（160円）、大学生等100円（80円）

企画展示 一般100円（80円）、大学生等50円（40円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※18歳以下、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※障害者の方は観覧料免除、下関市内と北九州市内に在住の65歳以上の方は常設展示観覧料免除（ただし、いずれも証明書必要）。

※特別展示観覧料は別に定める。

駐 車 場 有料26台 身障者用2台（開場時間は、午前9時から午後5時30分まで）

駐車料金 最初の2時間は1時間ごとに100円、2時間を超えた後は30分ごとに100円。

※減免あり。

(5) 展示と観覧者の状況

〔開館日数〕 108日

〔観覧者数〕 34,151人（有料18,340人、無料15,811人）

〔展示別観覧者数〕

名 称	会 期	開催日数	観覧者数(人)		
			有料	無料	計
常設展示	H28.11.18～H29.3.31	108日	9,994	9,156	19,150
企画展示		62日	6,990	4,841	11,831
時代を拓く海峡	H28.11.18～12.25	33日	5,576	3,732	9,308
下関の禅宗文化	H29.1.5～2.5	28日	1,414	1,109	2,523
特別展示		39日	1,356	1,814	3,170
下関のオランダ宿	H29.2.10～3.26	39日	1,356	1,814	3,170

(6) 普及活動

出前講座(8回333人)のほか、観光協会、ロータリークラブ、ライオンズクラブなどの各市民団体

からの要請に基づく研修講師、ケーブルテレビの歴史博物館特集（全4回）講師など。

(8) 分館 日清講和記念館

平成28年4月1日、文化財保護課から所管替えするとともに、歴史博物館の分館として「公の施設」として位置づけた。また、同日付けで博物館法に基づく博物館登録を行った。

沿革 明治28年春、下関市の春帆楼を会議場として開催された日清講和会議、および下関条約と称される講和条約の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和12年6月に開館。館内は会議に使用された調度品や筆記用具などにより、当時の会議場を再現、また、両国の全権を務めた伊藤博文や李鴻章の遺墨なども展示している。

なお、建物は国登録有形文化財。

所在地 下関市阿弥陀寺町4番3号

構造等 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺（一部地下）

敷地面積 458 m² 延床面積 191 m²

入館者 69,269人

観覧料 無料

開館時間 午後9時～午後5時（年中無休）



3 東行記念館

(1) 沿革

平成22年6月1日に開設した下関市立東行記念館は、高杉晋作・奇兵隊を中心に、その活動した時代と周辺の歴史を基本テーマとし、資料の収集・調査研究および展示活動を行っている。また、博物館活動を通じ、郷土の歴史に対する市民の知識及び理解を深め、市民の教育と文化の向上に資することを目的とする。なお、この記念館は、高杉晋作100年祭記念事業として、全国有志の寄付により、昭和41年4月14日に開館した宗教法人東行庵設置の東行記念館を前身とする。

(2) 位置

下関市大字吉田1184番地（〒750-1101）

TEL (284) 0212 FAX (284) 0219

(3) 構造等

構造 鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 2階：展示室110.5 m²、収蔵庫27.6 m²

学芸員室27.6 m²、

ホール55.3 m²（1階：310.2 m²）



(4) 開館時間等

開館時間 午前9時30分～午後5時（ただし、入館は午後4時30分）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）、展示替え等のための臨時休館

観覧料 一般 300円（240円）

大学生等 200円（160円） ※（ ）内は20名以上の団体料金

※18歳以下、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九州市内に在住の65歳以上の方および障害者の方は無料（証明書必要）。

特別展示観覧料は別に定める。

(5) 観覧者の状況

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)		
			有料	無料	計
常設展示	H28. 4. 1~H29. 3. 31	308 日	4, 447	3, 657	8, 104

(6) 展示会開催（平成 28 年度）

常設展示 幕長戦争 150 年記念企画展「小倉口の戦い-決戦の行方」ほか、企画展として「毛利家恩古臣 高杉晋作」、「奇兵隊士の光と影」、「晋作の面影-紡ぐ想い-」を開催した。

(7) 教育・普及活動

出前講座 3 回（110 人）、市民向け講座 4 回（102 人）、ギャラリートーク 2 回（19 人）を実施した。

4 考古博物館

(1) 沿革

平成 2 年 10 月	遺跡公園等建設推進調査委員会設置
平成 5 年 3 月	下関市考古資料館（仮称）建設開始
平成 6 年 6 月	名称を下関市立考古博物館と決定
平成 6 年 6 月	考古博物館本館工事が完成
平成 6 年 12 月	考古博物館の設置等に関する条例を制定
平成 7 年 3 月	考古博物館完成
平成 7 年 5 月	開館



(2) 位置

下関市大字綾羅木字岡 4 5 4 番地

(3) 構造等

敷地面積	12, 942 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階（地上 1 階、地下 1 階）
建築面積	1, 875 m ²
延床面積	2, 664 m ² （展示部門 794 m ² 、収蔵部門 390 m ² 、教育普及部門 237 m ² 、調査研究部門 360 m ² 、その他 883 m ² ）
屋外施設	竪穴式住居（2 棟）、岩谷古墳
駐 車 場	87 台（うちバス 5 台）
付属施設	休憩所「弥生の里」（平成 28 年 4 月より、子育て支援施設として使用）

(4) 利用案内

開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日	月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観 覧 料	無料

(5) 常設展示

綾羅木郷遺跡を中心に、市内の弥生・古墳時代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、当時の人々

のくらしと文化を紹介する。また、展示品や当時の社会についての理解や興味を深めるため、模型や視聴覚機器等を設置している。

(6) 収蔵品の主なもの

綾羅木郷遺跡の出土品及び市内出土の考古資料の一部

弥生時代・・・連弧文銘帯鏡、陶埴、多鈕細文鏡、細形銅剣、弥生土器・壺（織物付着）

古墳時代・・・六鈴鏡、勾玉、鈴付釧、小環付釧、三輪玉

(7) 入館者の状況

年度	開館日数	入館者数
平成26年度	308	22,164
平成27年度	315	22,350
平成28年度	312	23,960

(8) 展示会開催と観覧者の状況

名称	会期	開館日数	観覧者数
企画展Ⅰ 「弥生人が去った後-古墳時代の綾羅木郷台地-」	平成28年 4月23日(土)～ 平成28年 6月26日(日)	56日	4,349人
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2016」	平成28年 7月2日(土)～ 平成28年 9月4日(日)	58日	5,246人
企画展Ⅱ 「海城・串崎城と長府の町」	平成28年 9月10日(土)～ 平成28年 11月13日(日)	58日	6,365人
第18回やよい絵画展	平成28年 11月26日(土)～ 平成29年 1月29日(日)	50日	2,419人
企画展Ⅲ 「響灘沿岸の弥生時代墳墓」	平成29年 2月6日(土)～ 平成29年 4月17日(日)	63日	4,606人
合計		285日	22,985人

(9) 教育・普及活動

ア 一般教養講座(外部講師)……年間テーマ「倭の五王の時代」

- ① 平成28年 5月21日(土) 徳田 誠志(宮内庁書陵部陵墓課 陵墓調査官)
「倭の五王と天皇陵」 聴講者 120人
- ② 平成28年 7月16日(土) 杉井 健(熊本大学文学部 准教授)
「朝鮮半島系渡来文化の伝播・普及と国家形成」 聴講者 86人
- ③ 平成28年 9月24日(土) 生田敦司(龍谷大学・大谷大学 非常勤講師)
「倭の五王と内政・外政」 聴講者 102人
- ④ 平成28年 11月 5日(土) 田中晋作(山口大学人文学部 教授)
「倭の五王を支えた軍事勢力と東アジア情勢」 聴講者 95人

イ 考古よもやま話(当館学芸員担当)

- ① 平成28年 4月16日(土) 阿南学芸員
「あなたの知らないノコギリの世界」 聴講者 46人
- ② 平成28年 6月 4日(土) 中原主任
「下関十名山城2」 聴講者 134人
- ③ 平成28年 8月 7日(土) 松永主査
「古墳の被葬者はわかるか」 聴講者 77人
- ④ 平成28年 10月22日(土) 藤原副主任

	「土器の話～土器を通して見える生活と技術～」	聴講者	66人
⑤	平成28年 12月17日(土) 小林主任		
	「お墓から何がわかるのか～県史跡・長府藩主毛利家墓所の世界～」	聴講者	94人
⑥	平成29年 1月14日(土) 濱崎館長補佐		
	「長門鑄銭司を解明せよ！～長門鑄銭所跡発掘調査の最前線～」	聴講者	90人
⑦	平成29年 3月 4日(土) 澤下主任		
	「考古資料からみた火山噴火」	聴講者	67人
ウ	ミュージアム・セミナー(当館学芸員担当) ……年間テーマ「山口県の遺跡」		
	平成29年1月15日～平成29年2月26日 日曜日 全6回	聴講者	延234人
エ	体験学習教室(当館学芸員担当)		
①	土笛・土鈴づくり教室	参加者	2回 延148人
②	勾玉づくり教室	〃	4回 延145人
③	考古博物館探検	〃	48人
④	夏休み古代こども体験教室 (火起こし、竪穴住居組み立て、勾玉づくり・ハニワづくり)	〃	3日間 延124人
⑤	竪穴住居組み立て体験	〃	3回 延37人
オ	その他		
①	史跡の道ウォーク	参加者	80人
②	考古体験学習・出前講座	参加者	18回 延653人

5 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

(1) 沿革

昭和53年	「史跡土井ヶ浜遺跡保存管理計画」策定
平成2年	遺構覆屋(土井ヶ浜ドーム)完成、公開
平成5年3月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム完成
平成5年5月	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館

(2) 位置

下関市豊北町大字神田上 891-8

(3) 構造等

敷地面積	18,748.26 m ²
構造	鉄筋コンクリート造3階建陸屋根
延床面積	1,977.65 m ²
1階	(倉庫・収蔵庫、機械室など) : 740.52 m ²
2階	(玄関・エントランスホール・展示室・事務室・倉庫・会議室・トイレ) : 1,057.36 m ²
3階	(展望所) : 146.02 m ²
PH	: 33.75 m ²
屋外施設	湿生花園、研修田 駐車場 100台
付属施設	遺構覆屋(土井ヶ浜ドーム)、休息所「ほねやすめ」



(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料 大人：200円（160円）、大学生等100円（80円）

（ ）内は20名以上の団体料金、高校生以下は無料、下関市と北九州市の65歳以上の方、他地域の70歳以上の方、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳（項症）の交付を受けている方（身体障害の程度が1～4級、戦傷病者の特別項症から第4項症までの方は付添人1人を含む）は無料

(5) 常設展示

① 弥生シアター

弥生シアターでは3D映像「よみがえる弥生人」を上映。土井ヶ浜弥生人の特徴とルーツについて映像で紹介。

② 展示室

- ・土井ヶ浜遺跡のジオラマ
- ・土井ヶ浜遺跡の土層はぎ取り展示
- ・埋葬のようす（土井ヶ浜遺跡でみられた埋葬の種類）
- ・日本人の起源
- ・日本人の身長の変遷（縄文時代から現代までの身長の変化）
- ・弥生人形質の地域差（弥生人には顔かたちにより地域差があったことを人骨のレプリカで紹介）
- ・副葬品（南海産貝製腕輪、玉状貝製品などのアクセサリ類を展示）
- ・副葬されていた土器
- ・殺されたシャーマン（124号人骨の謎）
- ・土器に文様を付けてみよう

(6) 収蔵品

土井ヶ浜遺跡出土遺物、角島沖田遺跡出土遺物、圃場整備事業にかかる発掘調査で出土した遺物
土井ヶ浜人骨および弥生人骨、古墳人骨、古代人骨、中世人骨、近世人骨、河村コレクション（貝）

(7) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成26年度	310	9,680
平成27年度	308	9,750
平成28年度	308	10,525

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 「クマサカガイ～オンリー・ワンの貝～」 平成27年11月10日（火）～平成28年4月17日（日）
- ② 「貝輪 Shell Bracelet of Yayoi」 平成28年1月19日（火）～平成28年5月8日（日）
- ③ 河村コレクション展「貝の世界のプリンセス」 平成28年4月19日（火）～8月28日（日）
- ④ 「骨の一生 人骨に刻まれた過去の記憶」 平成28年5月17日（火）～平成28年9月4日（日）
- ⑤ 河村コレクション展「ホラガイとその仲間たち」平成28年8月30日（火）～平成28年12月28日（水）
- ⑥ 土井ヶ浜遺跡発掘調査報告書成果展⑤「弥生人集団 土井ヶ浜タイプ」
平成28年9月13日（火）～平成29年1月9日（日）
- ⑦ 「AnthroposⅢ 道具の目・動物の目」 平成29年1月17日（火）～平成29年5月7日（日）

イ 展示解説

- ① 企画展「骨の一生 人骨に刻まれた過去の記憶」
平成 28 年 6 月 26 日(日)、7 月 10 日(日)、8 月 6 日(日)
- ② 企画展「弥生人集団 土井ヶ浜タイプ」9 月 18 日(日)、10 月 16 日(日)
- ③ 企画展「AnthroposⅢ 道具の目・動物の目」3 月 12 日(日)、5 月 3 日(水・祝)

ウ 講座

- ① 自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」
平成 28 年 6 月 19 日(日)、7 月 24 日(日)、8 月 7 日(日)、9 月 25 日(日)、10 月 23 日(日)
- ② 学芸員講座
動物考古学講座「動物考古学の世界-平成 27 年度の調査成果の紹介-」(沖田絵麻)
平成 28 年 5 月 1 日(日)
体験講座「貝輪づくり体験」(沖田絵麻)平成 28 年 5 月 3 日(火・祝)、7 月 31 日(日)
自然人類学講座「生・老・病・死の人類学—人骨から探る古代のお産事情—」(高椋浩史)
平成 28 年 6 月 26 日(日)
自然人類学講座「縄文人のなぞ ～彼らはどのような人たちなのか～」(松下孝幸)
平成 28 年 7 月 10 日(日)
民俗学講座「生・老・病・死の民俗—盆行事を中心に—」(吉留徹)
平成 28 年 8 月 6 日(土)
自然人類学講座「土井ヶ浜 124 号人骨の再検討」(大藪由美子)平成 28 年 9 月 18 日(日)
考古学講座「土井ヶ浜弥生人の歯のはなし」(綾香奈江)平成 28 年 10 月 16 日(日)
体験講座「勾玉づくり教室」(下関市立考古博物館共催)平成 28 年 12 月 10 日(土)
民俗学講座「港湾資料にみる近代陶磁器の流通」(河田聡)平成 29 年 3 月 12 日(日)

エ 講演

日中国際共同研究成果講演会「人類学から迫る古代長江流域の稲作農耕民」
平成 29 年 2 月 18 日(土)

オ 博学連携

- ① ふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」(市立神玉小学校)
田植え：平成 28 年 5 月 30 日(火)、稲刈り：平成 28 年 10 月 31 日(月)
- ② 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
土井ヶ浜遺跡出土の弥生時代人骨について共同研究を実施。
- ③出張体験講座
「ホネホネウォッチング」出張講座 計 22 回
「勾玉づくり教室」(下関市立考古博物館共催)平成 28 年 12 月 12 日(土)

(9) 調査・研究

- ア 中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の国際共同研究
- イ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
- ウ 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 12 号の刊行
- エ 図録「土井ヶ浜遺跡の弥生時代人骨①」の刊行

(10) 付属施設(遺構覆屋=土井ヶ浜ドーム)

約 80 体の人骨(レプリカ)を発掘当時の状態で復元し、土井ヶ浜弥生人たちの埋葬の特徴が一目で理解できるような展示をおこなっている。

6 烏山民俗資料館

下関市烏山民俗資料館は、平成8年に地域の歴史・民俗等の地域文化に関する資料及びアジア地域及び日本各地の手仕事文化に関する資料について、収集・調査研究及び展示活動を行う資料館として開館した。

平成22年1月17日より地域住民および観光客の交流を目的として設置された下関市川棚温泉交流センター内に移転し、新たに開館することとなった。移転後は、烏山民俗資料館の幅広い収蔵品の魅力を伝えるために、さまざまなテーマに沿った企画展・所蔵品展を開催している。



(1) 沿革

- 平成8年4月 旧烏山工芸館の民芸コレクションの寄贈を受ける。
- 平成8年6月 豊浦町烏山民俗資料館として開館する。
- 平成17年2月 下関市との合併により下関市烏山民俗資料館となる。
- 平成20年8月 下関市川棚温泉交流センター内への移転準備のため8月31日より休館。
- 平成22年1月 下関市川棚温泉交流センター内に移転。

(2) 位置

(〒759-6301) 下関市豊浦町大字川棚 5180 番地
川棚温泉交流センター内
(TEL) 083-774-3855 (FAX) 083-774-3856

(3) 構造等 (施設全体)

- 敷地面積 4,498 m²
- 構造 鉄骨構造 2階建
- 延床面積 1,242.85 m²
うち烏山民俗資料館展示室 251.63 m²



(4) 利用案内

- 開館時間 午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分)
- 休館日 年末年始 (12月31日～1月3日)
※展示替え等のための臨時休館あり
- 観覧料 無料 (ただし、特別展開催時には別に定める)

(5) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成26年度	361	38,289
平成27年度	362	48,409
平成28年度	361	38,613

(6) 展覧会等

ア 企画展等

- 1) 「西海へのぞむ村々」(企画展) 会期 平成28年6月18日(土)～平成28年9月6日(火)
- 2) 「関門海峡から世界へ 下関近代交通の変遷」(企画展)
会期 平成28年9月10日(土)～平成29年2月14日(火)

- 3) 「節句かざりのいま・むかし」(所蔵品展) 会期 平成29年2月18日～平成29年5月30日(火)
 4) 「くらしのなかのことば」(所蔵品展) 会期 平成28年4月16日(土)～平成28年7月26日(火)
 5) 「むかし話と郷土玩具」(所蔵品展) 会期 平成28年7月30日(土)～12月6日(火)
 6) 「近代やまぐち観光のすすめ」(所蔵品展) 会期 平成28年12月10日～平成29年4月18日(火)
- イ イベント等

シンポジウム「下関近代交通の変遷」 平成28年9月25日開催 会場：川棚の杜(コルトーホール)
 ※川棚温泉まちづくり株式会社主催、資料館共催

- ① 基調講演「国際貿易港が地域に与えた影響」烏山民俗資料館 館長 河田 聡
 ② 座談会(シンポジウム)「下関近代交通の変遷」(市原猛志・高岡勲・北條秀一・河田聡)

7 豊北歴史民俗資料館

(1) 沿革

(県指定文化財旧滝部小学校の歴史)

- 明治8年(1875)8月 滝部八幡宮境内に開誘(かいゆう)小学校を創設する。
 明治17年(1884)2月 学区改正により、大庭小学校の開誘分校として、現在地に校舎を改築する。
 明治20年(1888)4月 独立し、開誘尋常小学校となる。
 明治28年(1895)8月 高等科を併設し、滝部尋常高等小学校となる。
 大正13年(1924)3月 中山太一・豊三・喜助三兄弟の寄附により、本館・東側校舎が完成。
 昭和22年(1947)5月 新学制により、滝部小学校と改称する。
 昭和54年(1979)3月 山口県有形文化財(建造物)に指定される。
 昭和55年(1980)11月 豊北町歴史民俗資料館として、開館する。
 平成17年(2005)2月 合併に伴い、下関市立豊北歴史民俗資料館となる。
 平成19年(2007)5月 改修工事(保存修理工事)のため休館する。
 平成23年(2011)3月 改修工事(保存修理工事)が完了する。
 平成23年(2011)4月 西教室棟が、山口県有形文化財(建造物)に追加指定される。
 平成23年(2011)11月 リニューアル開館する。

(2) 位置

下関市豊北町大字滝部 3153-1

(3) 構造等

構造 木造2階建、寄棟及び切妻造棧瓦葺
 敷地面積 1,970.14 m²
 延床面積 1,268.05 m²



- 1階 812.97 m²
 E V棟(トイレなど) : 49.85 m²、収蔵庫棟 : 73.09 m²、ポンプ室(別棟) : 8.40 m²
 既設建物(和室・倉庫・閲覧室・事務室・展示室・教室など) 681.63 m²
 2階 455.08 m²
 E V棟(倉庫など) : 44.90 m²
 既存建物(講堂など) : 410.18 m²

(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分）

休館日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料（ただし、特別展開催時には別に定める）

貸室 貸室使用料一覧

室名（収容人員）	使用料	
	AM9:00～PM5:00 1時間あたり	特別使用料
2階 講堂（120）	520円	9,000円
1階 和室（20）	100円	
1階 教室（20）	100円	
1階 展示室	310円	

（備考）※特別使用料とは、全施設同時使用及び、午後5時から午後10時までの使用の場合の金額。

※営利、営業、宣伝等を目的とし、又は入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、この表の金額の倍額となる。

※冷暖房を使用した場合は、使用状況に応じて実費を徴収する。

(5) 常設展示

1階・エントランス

- ・豊北ガイドマップ、滝部小学校の沿革、郷土の偉人中山太一氏などを紹介。また、豊北町の歴史民俗文化についての映像案内を実施。

(6) 収蔵品

国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」をはじめとする民俗文化関係資料。郷土資料としての古文書、行政文書など歴史文化関係資料（なお、民俗文化関係資料については資料収蔵室（旧豊北第二中学校）にて保管）

(7) 入館者の状況

	開館日数	入館者数
平成26年度	308	3,522
平成27年度	309	3,379
平成28年度	308	3,555

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 「明治のしごと－文学資料から読む豊北1－」平成28年3月23日（水）～平成28年5月29日（日）
- ② 「明治の小学校－文字資料から読む豊北2－」平成28年7月20日（水）～平成28年10月16日（日）
- ③ 「写真でみる浜出祭のうつりかわり」平成28年9月25日（日）～平成28年10月30日（日）
- ④ 「「住まい」の民具とアート展－民具と「藁葺屋根」鉛筆スケッチ画・写真展－」平成28年11月17日（木）～平成28年12月18日（日）
- ⑤ 「昔のくらしと今のくらし」平成29年1月24日（火）～平成29年5月31日（水）

イ 講座

- ① 「たいしょうかんを撮ってみよう」平成28年7月23日（土）・平成28年8月20日（土）
- ② 「新春の遊びをしよう」平成29年1月4日（水）～平成29年1月31日（火）
- ③ 「昔の道具を使ってみよう」平成29年2月19日（日）
- ④ 「豊北昔話知っちょる会」平成29年3月11日（土）

- ⑤ 夏休み子ども歴史民俗講座「ツノシマデンマを漕いでみよう」平成 28 年 8 月 24 日（水）
- ⑥ 歴史民俗講座Ⅰ「豊北町と浜出祭」平成 28 年 9 月 25 日（日）
- ⑦ 歴史民俗講座Ⅱ「豊北町と神楽」平成 28 年 11 月 13 日（日）
- ⑧ 歴史民俗講座Ⅲ「豊北町とやきもの」平成 28 年 12 月 18 日（日）
- ⑨ 「歴史文学講座」（3 回/年度）（豊北郷土文化友の会主催：資料館共催事業）

ウ イベント

- ① 「住まい」の民具とアート展 ミニシンポジウム 家と暮らしの変化ー民具からアートへー
平成 28 年 11 月 27 日（日） 会場：下関市立豊北歴史民俗資料館
講演①「草葺き屋根と入会ー茅利用の技術文化ー」（山口大学教授 坪郷英彦）
講演②「県内・県外草葺き民家スケッチ小咄」（えんぴつ画家 岡本正和） 他討論会
- ② 夜間ライトアップ
平成 28 年 7 月 30 日（土） ～ 8 月 15 日（月） 19 時～23 時
平成 28 年 12 月 23 日（金・祝）～ 12 月 26 日（月） 18 時～23 時

8 文化財保護

(1) 下関市文化財保護審議会

下関市文化財保護審議会委員名簿

(平成 29 年 6 月 1 日現在)

担当分野	氏名	現職等
建造物	三浦正幸	広島大学大学院文学研究科教授
絵画	菊屋吉生	山口大学国際総合科学部教授
彫刻	井形進	九州歴史資料館技術主査
古文書・歴史資料	小山良昌	財団法人毛利博物館顧問
考古資料・史跡	渡辺一雄	梅光学院大学非常勤講師
民俗文化財	清水満幸	萩博物館館長
記念物(動物)	山岡郁雄	山口大学名誉教授
記念物(植物・名勝)	田邊護	山口植物学会顧問
記念物(地質鉱物)	西村祐二郎	山口大学名誉教授

(2) 施設

ア 旧下関英国領事館

所在地 下関市唐戸町 4-11
 構造等 本館 煉瓦造二階建・棧瓦葺
 (建築面積 161.35 m²)
 附属屋 煉瓦造平屋建・棧瓦葺
 (建築面積 80.93 m²)
 敷地面積 597.93 m²
 平成 28 年度入館者数 62,966 人



この建物は、領事館として建てられたわが国現存最古の建物で、明治 39 年 8 月に上棟した。平成 11 年 5 月 13 日、重要文化財に指定。平成 20 年度より実施してきた構造補強及び建築当初への復原を目的とした保存修理工事竣工後、平成 26 年 7 月 18 日より、指定管理者による公開活用を

図っている。平成 26 年 7 月からの通算入館者数は 207,340 人であり、当初の想定である 165,000 人を大きく上回った。また、下記の事業を実施した。

- ・ エリザベス女王陛下肖像画寄贈式典（指定管理者と共催）

平成 28 年 8 月 9 日（火）当日入館者数 150 人

- ・ 英国王立写真協会日本支部写真展 「Feel British」

会期 平成 28 年 9 月 14 日（水）～9 月 25 日（日）会期中入館者数 1,965 人

イ 豊田文化財資料室

所在地 下関市豊田町大字矢田 153-1

構造等 鉄筋コンクリート造（床面積 255.60 m²）

豊田地域の貴重な文化財を展示保存するとともに、地域の歴史と民俗に関する調査研究施設として平成 7 年に豊田図書館内に設置し、市民に無料公開している。

※休館日 下関市立豊田図書館に準ずる。

(3) 市内の文化財（平成 29 年 5 月 1 日現在）

ア 国指定文化財

① 国宝（2 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺仏殿 1 棟 桁行三間、梁間三間、一重裳階附、 入母屋造、檜皮葺	建造物	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 28. 11. 14
住吉神社本殿 1 棟 九間社流造、正面五ヶ所千鳥破風附、 檜皮葺、附玉殿 5 基・棟札 4 枚	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14

② 重要文化財（17 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
住吉神社拝殿 1 棟 桁行三間、梁間一間、一重切妻造、 妻入、檜皮葺	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 29. 9. 17
旧下関英国領事館 2 棟 本館・附属屋 附煉瓦塀 1 基・幣串 1 本	建造物	唐戸町〔下関市〕	平成 11. 5. 13
絹本著色十二天曼荼羅図 1 幅 （寺伝 安鎮曼荼羅）	絵画	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造不動明王立像 1 軀	彫刻	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造薬師如来立像 1 軀	彫刻	南部町〔専念寺〕	昭和 25. 8. 29
刀 無銘（伝則宗） 1 口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
太刀 銘 備州長船盛光 1 口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
銅鐘 1 口	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 25. 8. 29
金銅牡丹唐草透唐鞍 1 具 鞍一背、銀面二面、轡二口、雲珠二箇、 杏葉一箇、鞍二箇、障泥一双、鞆一双、 鞍褥残片一枚、革鞆残片二条	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 31. 6. 28
紙本墨書平家物語（長門本）自一至廿 20 冊	書跡	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 25. 8. 29
紙本墨書豊浦宮法楽和歌 1 卷 尊氏外三人筆	書跡	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
住吉社法楽百首和歌短冊 （明応四年十二月） 1 帖 附三条西実隆筆序文並相良正任・杉武 明連署添状 1 卷、新撰菟玖波集作 者附 1 冊、宗祇署名短冊箱 1 合、毛利 秀元奉納蒔絵短冊箱 1 合	書跡	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14
赤間神宮文書 10 卷 1 冊	古文書	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 51. 6. 5
忌宮神社文書 28 卷 3 冊（372 通） 附 忌宮神社記録 忌宮神社境内絵図	古文書	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 53. 6. 15

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門国鑄銭遺物 和同開珎錢范残欠 12 個・坩堝残欠 3 個・鞆口残欠 4 個・和同開珎 1 枚	考古資料	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 39. 1. 28
絹本著色仁王経曼荼羅図	絵画	豊田町大字江良〔神上寺〕 (山口県立山口博物館寄託)	昭和 53. 6. 15
木造阿弥陀如来坐像	彫刻	豊浦町大字厚母郷〔安養寺〕	昭和 4. 4. 6

③ 重要有形民俗文化財 (1 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森 4 か所	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 35. 10. 11

④ 史跡・名勝・天然記念物 (19 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
中山忠光墓	史跡	綾羅木本町七丁目〔中山神社〕	昭和 16. 8. 1
長門鑄銭所跡	史跡	長府安養寺三丁目〔覚苑寺他〕	昭和 4. 12. 17
高杉晋作墓	史跡	大字吉田〔東行庵〕	昭和 9. 5. 1
綾羅木郷遺跡	史跡	大字綾羅木字若宮他〔下関市〕	昭和 44. 3. 11
梶栗浜遺跡	史跡	梶栗町四丁目他〔下関市〕	昭和 55. 3. 14
仁馬山古墳	史跡	大字延行字神間他〔下関市〕	平成 3. 5. 15
長州藩下関前田台場跡	史跡	前田一丁目〔下関市〕	平成 22. 8. 5
満珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字干珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
干珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字満珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
六連島の雲母玄武岩	天然記念物	大字六連島字辻〔国他〕	昭和 9. 1. 22
石柱溪	名勝及天然記念物	豊田町大字今出〔下関市他〕	大正 15. 10. 20
狗留孫山	名勝	豊田町大字李路子〔修禅寺〕	昭和 15. 8. 30
木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	天然記念物	音信川、木屋川流域 〔国土交通省、山口県〕	昭和 32. 10. 16
川棚のクスの森	天然記念物	豊浦町大字川棚〔下関市〕	大正 11. 10. 12
大吼谷蝙蝠洞	天然記念物	豊浦町大字小串〔山口県漁業協同組合〕	昭和 3. 3. 24
小串エヒメアヤメ自生南限地帯	天然記念物	豊浦町大字小串〔下関市〕	昭和 5. 11. 19
壁島ウ渡来地	天然記念物	豊北町大字神田(壁島)〔文部科学省〕	昭和 9. 5. 1
恩徳寺の結びイブキ	天然記念物	豊北町大字神田関領 〔山口県漁業協同組合〕	昭和 30. 10. 26
土井ヶ浜遺跡	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 37. 6. 21

イ 山口県指定文化財 (43 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
山口銀行旧本店 付棟札	有形文化財 (建造物)	観音崎町〔山口銀行〕	平成 17. 10. 4
観察院五輪塔 付 自然石板碑	有形文化財 (建造物)	富任町八丁目〔観察院〕	平成 23. 11. 24
紙本金地着色安徳天皇絵	有形文化財 (絵画)	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 41. 6. 10
板絵着色繫馬図	有形文化財 (絵画)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	平成 2. 11. 6

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
狩野芳崖筆板絵着色絵馬	有形文化財 (絵画)	長府宮の内町〔忌宮神社〕 一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕 大字井田〔菅原神社〕(住吉神社寄託) 長府黒門町〔東西山瀬〕(美術館寄託)	平成 6. 5. 2
絹本着色楊柳観音坐像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目 〔功山寺〕(歴史博物館寄託)	平成 7. 12. 19
木造地藏菩薩半跏像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 41. 6. 10
木造聖観音菩薩像	有形文化財 (彫刻)	大字有富〔竹生寺〕	昭和 41. 6. 10
手鑑「筆陳」	有形文化財 (書跡)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 23. 2. 8
住吉神社文書	有形文化財 (古文書)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 52. 11. 11
武久家文書 付 紙本着色武久季依像	有形文化財 (古文書)	羽山町〔武久家〕(歴史博物館寄託)	昭和 55. 12. 5
安尾家文書	有形文化財 (古文書)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 62. 3. 27
綾羅木郷遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 51. 3. 16
心光寺古墳出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 55. 4. 11
大内家壁書 下関市立長府博物館所蔵本	有形文化財 (歴史資料)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 8. 12. 13
法林寺のソテツ	天然記念物	大字吉母〔法林寺〕	昭和 41. 6. 10
長門国一の宮住吉神社社叢	天然記念物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 41. 6. 10
長府正円寺の大イチョウ	天然記念物	長府中之町〔正円寺〕	昭和 44. 2. 4
蓋井島のヒゼンマユミ群落	天然記念物	大字蓋井島〔松本家〕	昭和 57. 11. 5
忌宮神社の数方庭行事	無形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 59. 11. 2
赤間硯	無形文化財 (工芸技術)	保持者 堀尾信夫	平成 14. 3. 26
長府藩主毛利家墓所	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕 長府安養寺〔覚苑寺〕 長府川端一丁目〔笑山寺〕	平成 26. 12. 2
法輪寺本堂	有形文化財 (建造物)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 42. 7. 4
木造虚空蔵菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 41. 6. 10
鰯口 天文元年壬辰十一月 二十八日	有形文化財 (工芸品)	菊川町大字檜崎〔美栄神社〕 (歴史博物館寄託)	平成元. 10. 24
明版一切経 付 八角輪蔵	有形文化財 (典籍)	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 5. 1. 12

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
旧殿居郵便局局舎 付 棟札	有形文化財 (建造物)	豊田町大字殿居〔河田家〕	昭和 52. 3. 29 (平成 5. 1. 12 追加)
絹本極彩色理界曼荼羅 絹本極彩色智界曼荼羅	有形文化財 (絵画)	豊田町大字江良〔神上寺〕 (歴史博物館寄託)	昭和 41. 6. 10
木造薬師如来坐像	有形文化財 (彫刻)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 55. 12. 5
線刻菩薩形坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊田町大字八道〔八鷹八幡宮〕 (豊田文化財資料室寄託)	昭和 55. 12. 5
神上寺銅矛	有形文化財 (考古資料)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 53. 3. 31
紙本墨画白衣観音図	有形文化財 (絵画)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	平成 5. 5. 14
木造千手観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 4
金銅薬師如来坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 4
中ノ浜遺跡	史跡	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 50. 3. 22
黒井一ノ瀬一里塚	史跡	豊浦町大字黒井〔山本家〕	平成 15. 4. 4
川棚三恵寺のモッコク	天然記念物	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 44. 4. 25
旧滝部小学校本館	有形文化財 (建造物)	豊北町大字滝部〔下関市〕	昭和 54. 3. 31 (平成 23. 4. 8 追加)
土井ヶ浜遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 57. 4. 16
滝部のシダレザクラ	天然記念物	豊北町大字滝部〔中山家〕	昭和 52. 11. 11
滝部八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊北町大字滝部〔滝部八幡宮〕	昭和 52. 11. 11
阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	天然記念物	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 53. 3. 31
浜出祭	無形民俗文化財	豊北町〔浜出祭文化財保存会〕	昭和 51. 11. 24

ウ 下関市指定文化財 (147 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺山門	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 45. 3. 4
高林寺山門	有形文化財 (建造物)	赤池町〔高林寺〕	昭和 49. 3. 25
笑山寺十三重塔	有形文化財 (建造物)	長府川端二丁目〔笑山寺〕	昭和 50. 2. 27
長府藩侍屋敷長屋	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 51. 3. 16
菅家長屋門 付練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔菅家〕	昭和 51. 3. 16
吉岡家長屋	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔吉岡家〕	昭和 52. 2. 16
功山寺輪蔵	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
旧野々村家表門	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 54. 12. 7
妙音寺無縫塔	有形文化財 (建造物)	大字永田郷〔妙音寺〕	昭和 55. 2. 5
清末内藤家表門 付練塀及び門前石段	有形文化財 (建造物)	清末西町一丁目〔内藤家〕	昭和 56. 2. 18
岩元家・岡村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府惣社町〔岩元家・岡村家〕	昭和 56. 3. 9
河村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔河村家〕	昭和 56. 3. 9
乃木神社練塀	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 3. 9

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
旧梶山家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56. 11. 27
旧今藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 11. 27
益本家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔益本〕	昭和 56. 11. 27
長府藩的場跡練堀	有形文化財（建造物）	長府松原町〔アースコーポレーション(株)〕	昭和 57. 4. 15
大村家練堀	有形文化財（建造物）	長府侍町二丁目〔大村家〕	昭和 57. 4. 15
磯谷家表門及び練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔磯谷家〕	昭和 58. 3. 30
引接寺三門	有形文化財（建造物）	中之町〔引接寺〕	昭和 58. 5. 26
佐藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔佐藤家〕	昭和 59. 3. 30
西尾家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔西尾家〕	昭和 59. 3. 30
阿山家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔阿山家〕	昭和 59. 3. 30
沖田家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔沖田家〕	昭和 59. 3. 30
広江家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔広江家〕	昭和 59. 3. 30
覚苑寺本堂	有形文化財（建造物）	長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕	昭和 61. 5. 10
王司山田自然石板碑	有形文化財（建造物）	大字山田〔片山家〕	平成 3. 5. 9
六連島灯台	有形文化財（建造物）	大字六連島〔海上保安庁〕	平成 7. 6. 27
旧逋信省下関郵便局電話課庁舎（下関市役所第一別館）	有形文化財（建造物）	田中町〔下関市〕	平成 14. 2. 15
旧金ノ弦岬灯台	有形文化財（建造物）	大字彦島金ノ弦岬 （公有水面上）〔下関市〕	平成 16. 4. 13
旧内務省下関土木出張所 下関機械工場乾船渠	有形文化財（建造物）	阿弥陀寺町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
旧秋田商会ビル （下関観光情報センター）	有形文化財（建造物）	南部町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
絹本著色仏涅槃図	有形文化財（絵画）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 9. 10. 15
木造十一面観音座像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
西楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	彦島本村町五丁目〔西楽寺〕	昭和 60. 12. 20
竹生寺木造十一面千手観音立像	有形文化財（彫刻）	大字有富〔竹生寺〕	昭和 60. 12. 20
功山寺千手観音菩薩坐像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺韋駄天立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺二十八部衆立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （2 軀：歴史博物館寄託）	昭和 61. 11. 10
海蔵寺木造聖観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	垢田町三丁目〔海蔵寺〕	昭和 63. 6. 15
法専寺銅造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔法専寺〕	平成元. 11. 1
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
太刀 銘 備州住正廣	有形文化財（工芸品）	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 45. 10. 26
萌葱絲威肩白胴丸 付筋兜、大袖、頬当、喉輪、 箆手、脛当	有形文化財（工芸品）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 46. 7. 24
銅鐘	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字阿内〔専念寺〕	昭和 47. 11. 9
打刀銘 長州住頭国 応永四年二月吉日	有形文化財（工芸品）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 48. 3. 27
金山長福禅寺開山虚菴和尚行録 景泰五年孟春 南浦如幻書	有形文化財（書跡）	長府川端二丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 11. 17
白石家文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔白石家〕 （歴史博物館寄託）	昭和 44. 10. 1
亀屋伊藤家文書	有形文化財（古文書）	唐戸町〔伊藤家〕	平成 8. 3. 21
日頼寺文書 附毛利元就遺品	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔日頼寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 26. 3. 26
彦島杉田岩刻画	有形文化財（考古資料）	彦島江の浦町五丁目〔三菱重工業〕	平成 3. 5. 9
旧長府毛利家遺品	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔毛利家（歴史博物館寄託）・歴史博物館〕	昭和 52. 2. 16
赤間関朝鮮通信使関係資料 朝鮮通信使壇ノ浦懷古詩 波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩 並筆語	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔赤間神宮・波田家〕 （歴史博物館寄託）	平成 27. 4. 21
亀山八幡宮「亀山能」 付能面三面・能面筥一合	無形文化財	中之町〔亀山能楽会〕	昭和 44. 10. 1
蓋井島「山ノ神」神事記録	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕 （長府図書館寄託）	昭和 47. 3. 25
能面・狂言面 付忌宮神社神事能規則書 旧長府藩能舞台棧敷割図	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕 長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 47. 5. 11
安養寺宝篋印塔	有形民俗文化財	大字吉見上〔安養寺〕	昭和 50. 2. 27
「内日五年神」の森	有形民俗文化財	大字内日上〔上田家〕	昭和 56. 2. 18
能面 付面箱	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 58. 12. 10
先帝祭	無形民俗文化財	阿弥陀寺町〔赤間神宮奉賛会〕	昭和 45. 3. 4
蓋井島「山ノ神」神事	無形民俗文化財	大字蓋井島	昭和 45. 10. 26
彦島八幡宮「サイ上り」神事	無形民俗文化財	彦島迫町五丁目〔彦島八幡宮〕	昭和 53. 10. 19
「内日五年神」神事	無形民俗文化財	大字内日上	昭和 56. 2. 18
小野一里塚	史跡	大字小野〔西川家（管理）〕	昭和 48. 3. 27
功山寺旧境内地付 伝大内義長の墓	史跡	長府川端一丁目 〔功山寺・歴史博物館〕	昭和 49. 3. 25
功山寺書院	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
宮山古墳	史跡	幡生宮の下町〔生野神社〕	昭和 54. 8. 7
有富古墳	史跡	大字有富〔専徳寺〕	昭和 54. 8. 7
秋根 1 号墳	史跡	秋根西町一丁目〔秋根八幡宮〕	昭和 54. 8. 7
櫻山招魂場	史跡	上新地二丁目〔櫻山神社〕	平成 27. 4. 21
吉母海岸植物群落	天然記念物	大字吉母 〔西光寺・山口県漁協協同組合〕	昭和 44. 10. 1

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
彦島西山の化石層	天然記念物	大字彦島〔山口県〕	昭和 46. 7. 24
紙本着色八幡大菩薩縁起 付納箱	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目〔吉賀八幡宮〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 6. 12
操り人形面一対 付納箱	有形文化財（彫刻）	菊川町大字田部〔小河家〕	平成 15. 3. 14
巖島・浅間神社の梵鐘	有形文化財（工芸品）	菊川町大字轡井〔轡井自治会〕	平成 11. 3. 18
西光寺文書	有形文化財（古文書）	菊川町大字下保木〔西光寺〕	平成 12. 6. 12
上原遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 4. 25
ガラス製勾玉鎔范	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 12. 20
植松古墳群	史跡	菊川町大字吉賀 〔下関市・笹尾家〕	平成 16. 3. 12
河内神社の夫婦杉	天然記念物	菊川町大字道市〔道市自治会〕	平成 13. 4. 25
快友寺のイヌマキ巨樹群	天然記念物	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 13. 4. 25
若宮石造宝塔	有形文化財（建造物）	豊田町大字中村〔下関市〕	昭和 51. 3. 31
吉敷毛利氏の祖 毛利秀包 夫人引地の墓	有形文化財（建造物）	豊田町大字江良〔松田家〕	昭和 51. 3. 31
石造豊田種長供養板碑	有形文化財（建造物）	豊田町大字殿敷〔一の瀬部落〕	昭和 51. 3. 31
紙本着色涅槃像及八相図	有形文化財（絵画）	豊田町大字日野〔日野自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 52. 10. 5
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字鷹子〔鷹子自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造薬師如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔光明寺〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔舜青寺〕	昭和 56. 5. 11
木造不動明王立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造聖観音立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造愛染明王坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 59. 4. 10
木造神像及び本地仏像 8 軀 〔木造男神坐像 2 軀、 木造男女神坐像 2 軀、 木造十一面観音坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀〕	有形文化財（彫刻）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 61. 7. 10
懸仏残欠 2 軀 〔銅造阿弥陀如来坐像 1 軀 銅造如意輪観音半跏像 1 軀〕	有形文化財（工芸品）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 56. 5. 11
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 60. 4. 22
日幡神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 60. 4. 22
巖島神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字殿居・巖島神社	昭和 62. 9. 25
浮石の赤崎神社楽踊	無形民俗文化財	豊田町大字浮石・亀尾山神社	昭和 55. 5. 10
佐野の岩戸神楽舞	無形民俗文化財	豊田町大字佐野〔日幡神社〕	昭和 55. 5. 10
栄長院墓所	史跡	豊田町大字高山〔高山自治会〕	昭和 59. 4. 10

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
台の変花崗岩	天然記念物	豊田町大字今出〔渡辺家〕	昭和 58. 4. 18
殿敷、トロニエム岩	天然記念物	豊田町大字殿敷〔福本・藤本家〕	昭和 58. 4. 18
狗留孫山修禪寺の一本スギ	天然記念物	豊田町大字杣路子〔修禪寺〕	平成元. 1. 12
館ヶ浴のツバキ	天然記念物	豊田町大字殿敷〔柳瀬家〕	平成 3. 11. 1
日幡神社のナギノキ	天然記念物	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	平成 5. 2. 26
西八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊田町大字矢田〔西八幡宮〕	平成 5. 3. 2
華山のアセビ群生林	天然記念物	豊田町大字庭田〔下関市〕	平成 13. 12. 26
吉永八幡宮本殿	有形文化財（建造物）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	平成 13. 3. 30
木造大日如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
木造隨身倚像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 62. 3. 26
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	昭和 54. 12. 1
杜屋神社文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 54. 12. 1
永富家文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字川棚〔永富家〕	平成 4. 2. 17
古谷道庵日乗	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 4. 2. 17
青井古墳群及び大迫古墳群 出土遺物	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚 〔黒井漁業協同組合〕	昭和 62. 3. 26
磯上遺跡出土の水晶石器	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
鑄鉄製鋤先	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
大門古墳	史跡	豊浦町大字黒井〔窪田・三井田家〕	昭和 51. 7. 9
涌田青井の台場	史跡	豊浦町大字涌田 〔黒井漁業協同組合〕	昭和 51. 7. 9
泊ヶ鼻の台場	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
泊ヶ鼻祭祀場跡	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
青井古墳群	史跡	豊浦町大字涌田後地	昭和 62. 3. 26
妙青寺庭園	名勝	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	平成 13. 3. 30
川棚神社のチシャノキ	天然記念物	豊浦町大字川棚〔川棚神社〕	昭和 62. 3. 26
角島灯台	有形文化財（建造物）	豊北町大字角島〔海上保安庁〕	平成 17. 1. 18
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字神田〔住吉神社〕	昭和 55. 2. 20
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字阿川上市〔海翁寺〕	昭和 56. 4. 22
江田家文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 55. 2. 20
徳蓮寺文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字神田上〔下関市〕	平成 17. 1. 26
滝部八幡宮の腰輪踊	無形民俗文化財	豊北町大字滝部	昭和 53. 6. 16
附野薬師の流灌頂	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔東山寺〕	昭和 55. 2. 20
阿川河内のカンコ踊り	無形民俗文化財	豊北町大字阿川河内	昭和 56. 4. 22
神田大川のみかがみ祭り	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 57. 4. 21
和久古墳	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 56. 4. 22
肥中台場跡	史跡	豊北町大字神田〔保井家〕	昭和 60. 2. 18

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
七神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔七神社〕	昭和 53. 12. 1
客神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 53. 12. 1
角島のハマオモト	天然記念物	豊北町大字角島夢崎〔下関市〕	昭和 53. 12. 1
寺畑のコジイ	天然記念物	豊北町大字北宇賀寺畑〔西島家〕	昭和 56. 4. 22
観涛園の俵石	天然記念物	豊北町大字神田〔来見田家〕	昭和 60. 2. 18
平畑のスタジイ	天然記念物	豊北町大字阿川平畑〔井原家〕	昭和 61. 4. 24

エ 登録有形文化財（建造物）・登録有形民俗文化財（建造物 32 件、民俗 1 件）

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日貯水池事務所	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場着水井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池付設調節井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場配水池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池溢水隧道入口	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局水道資料室 (旧日和山浄水場事務所)	建造物(生活関連)	長崎中央町	平成 10. 1. 16
下関市立長府博物館本館 (旧長門尊攘堂)	建造物(文化福祉)	長府川端一丁目	平成 11. 6. 7
下関南部町郵便局庁舎 (旧赤間関郵便電信局)	建造物(官公庁舎)	南部町	平成 13. 8. 28
護國寺本堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 15. 3. 18
護國寺清正公堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺納骨堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺門柱	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
日本基督教団下関丸山教会 (旧日本メソヂスト下関教会) 会堂	建造物(宗教)	丸山町四丁目	平成 16. 2. 17
功山寺総門	建造物(宗教)	長府川端一丁目	平成 16. 7. 23
歌野清流庵	建造物(住宅)	菊川町上岡枝 郷ヶ原	平成 17. 7. 12
藤原義江記念館 (旧リンガー邸)	建造物(住宅)	阿弥陀寺町	平成 18. 11. 9
中野家住宅主屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅納屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅土蔵	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅塀	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅石垣	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
めぐみ幼稚園第一園舎 (旧下関バプテスト教会)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
めぐみ幼稚園第二園舎 (旧宣教師住宅)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
大乘寺山門	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
大乘寺鐘楼	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
日清講和記念館	建造物(文化福祉)	阿弥陀寺町	平成 23. 1. 26
蜂谷ビル(旧東洋捕鯨株式会社下関支店)	建造物(産業3次)	岬之町	平成 25. 3. 29
玉椿旅館	建造物(産業3次)	豊浦町大字川棚	平成 25. 3. 29
旧宮崎商館	建造物(産業3次)	田中町	平成 25. 12. 24
豊北の漁撈用具	有形民俗文化財 (生産・生業)	豊北町大字神田上	平成 24. 3. 8

オ 重要美術品(3件)

名称	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
紙本墨書後陽成天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
紙本墨書靈元天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
手鑑「筆陳」	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 18. 10. 1

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの(1件)

名称	所在の場所等	指定年月日
蓋井島「山ノ神」神事	大字蓋井島	昭和 34. 3. 28

キ 下関市に所在する指定文化財等一覧(管内別)

文化財	有形文化財													無形文化財			民俗文化財			記念物					計			
	重要文化財													重要無形文化財			重要民俗文化財			記念物								
	国宝				重要文化財									県/市無形文化財			県/市民俗文化財			記念物								
	種別	建造物	絵画	工芸品	書跡	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	計	芸能	工芸	計	有形	無形	計	特別天然記念物	史跡	名勝		天然記念物	名勝及天然記念物	計
国	下関	2				2	1	2	4	3		2	1		17			0	1		1		7		3		10	28
	豊浦							1							1			0			0				3		3	4
	豊田						1								1			0			0			1	1	1	3	4
	豊北														0			0			0		1		2		3	3
	菊川														0			0			0						0	0
	計	2	0	0	0	2	2	3	4	3	0	2	1	0	19	0	0	0	1	0	1	0	8	1	9	1	19	39
県	下関	-	-	-	-	2	3	3		1		3	2	1	15		1	1		1	1	-	1		4		5	22
	豊浦	-	-	-	-		1	1	1						3			0			0	-	2		1		3	6
	豊田	-	-	-	-	1	1	1	1				1		5			0			0	-					0	5
	豊北	-	-	-	-	1							1		2			0		1	1	-			3		3	6
	菊川	-	-	-	-	1		1	1		1				4			0			0	-					0	4
	計	-	-	-	-	5	5	6	3	1	1	3	4	1	29	0	1	1	0	2	2	-	3	0	8	0	11	43
市	下関	-	-	-	-	32	1	8	7	1		3	1	2	55	1		1	5	4	9	-	7		2		9	74
	豊浦	-	-	-	-	1		2	4			3	3		13			0			0	-	5	1	1		7	20
	豊田	-	-	-	-	3	1	9	2					2	17			0		2	2	-	1		7		8	27
	豊北	-	-	-	-	1			2			2			5			0		4	4	-	2		6		8	17
	菊川	-	-	-	-		1	1	1			1	2		6			0			0	-	1		2		3	9
	計	-	-	-	-	37	3	20	16	1	0	9	6	4	96	1	0	1	5	10	15	-	16	1	18	0	35	147
合計	2	0	0	0	44	10	29	23	5	1	14	11	5	144	1	1	2	5	12	18	0	27	2	35	1	65	229	

9 埋蔵文化財調査

(1) 平成 28 年度実施の埋蔵文化財調査実績

事業区分	本庁管内		菊川総合支所管内		豊田総合支所管内		豊浦総合支所管内		豊北総合支所管内		総合計		
	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	総件数
分布調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
試掘調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
確認調査	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	10
本発掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
工事立会	49	5	0	0	0	0	0	0	0	0	49	5	54
立会調査	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0	8
資料整理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6
総件数	69	10	0	0	0	0	2	0	0	0	71	10	81

凡例（調査の区分）

分布調査：遺跡の分布を予察するための地表面観察を含む踏査。**試掘調査**：遺跡の有無を確認するための部分的な試し掘り。

確認調査：遺跡の詳細を確認するための部分的な試し掘り。**本発掘調査**：記録・保存を目的とした発掘調査。

工事立会：土木工事中の立会による遺跡の保存を目的とした記録作業。

立会調査：土木工事の施工に合わせて実施する遺跡の有無を確認するための記録作業。

資料整理：出土遺物の洗浄、復元等の室内整理作業。

報告書作成：本発掘調査に伴う成果とりまとめ作業。

その他：上記以外の調査、作業。（自然科学調査、地質調査、構造物調査等）

(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）件数

平成 29 年 6 月 1 日現在

地域区分	合計	本庁管内	菊川総合支所管内	豊田総合支所管内	豊浦総合支所管内	豊北総合支所管内
周知の埋蔵文化財包蔵地件数	627	319	43	29	121	114

(3) 平成 28 年度実施の愛護・普及活動

活動名	日時	参加者	内容
重武屋敷遺跡 川中小学校発掘体験	平成 28 年 5 月 30 日	102 人	川中小学校 6 年生（3 クラス 102 名）を対象に、重武屋敷遺跡発掘調査現場において、遺跡の発掘体験を実施した。重武屋敷遺跡や発掘調査の概要説明と出土遺物の展示・説明のほか、遺物包含層の掘り込みを行い、児童が実際に土器を発見したり、土器に触れたりする体験をした。
後山古墳 幡生小学校現地説明	平成 28 年 5 月 26 日	60 人	後山古墳の石室検出作業終了にあわせて、遺跡が所在する幡生本町を校区とする生野小学校の 6 年生 2 クラスが現地を見学。調査担当者が、調査対象となった後山古墳が作られた歴史や、幡生地域の遺跡とその成り立ち、および発掘調査の進め方などを 15 分程度説明した。



重武屋敷遺跡体験発掘の様子

綾羅木郷台地遺跡現地説明会の様子

活動名	日時	参加者	内 容
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2016」	平成 28 年 7 月 2 日 ～平成 28 年 9 月 4 日	5,246 人	平成 27 年度に実施した下関市内の遺跡確認調査などについて、下関市立考古博物館特別企画展示室にて出土した遺物を展示し、併せてパネルなどで遺跡の説明を行なった。また、展示解説会を 7 月 2 日、7 月 23 日、8 月 20 日の 3 日間、各日 3 回実施した。
重武屋敷遺跡 現地説明会	平成 28 年 8 月 21 日	58 人	平成 28 年 5 月から実施した重武屋敷遺跡発掘調査において、古代から中世にかけての集落跡が確認された。検出された溝状遺構や柱穴などの遺構や土師器や須恵器、輸入陶磁器などの出土遺物について、発掘調査現場において展示・説明を行い、発掘調査の成果を一般市民に公開した。
長府藩主毛利家墓所 見学会	平成 28 年 11 月 26 日	674 人	平成 26 年 12 月 2 日（火）に山口県指定文化財（史跡）に指定された「長府藩主毛利家墓所」を、広く一般に周知する目的で、常時施錠され非公開とされている功山寺墓所ほか笑山寺、覚苑寺の 3 寺院 4 ヶ所の藩主墓を公開し見学者に説明を行った。
綾羅木郷台地遺跡 現地説明会	平成 29 年 3 月 12 日	90 人	綾羅木郷台地遺跡（木船地区）の発掘調査成果を調査の終了に伴い調査の成果や遺跡の様子を市民の方々へ知っていただくために、遺跡の現地説明会を開催した。

（４）平成 28 年度刊行の埋蔵文化財関係印刷物

書名	体裁・部数	概要
下関市埋蔵文化財年報 8	A4 版 84 頁 300 部	平成 27 年度の埋蔵文化財調査業務内容を報告し、埋蔵文化財調査の概要を 11 件掲載した。

（５）平成 28 年度実施の主な埋蔵文化財発掘調査成果概要

遺跡名	調査対象地	調査期間	調査原因	調査の概要
重武屋敷遺跡 発掘調査	下関市 大字綾羅木 字東屋敷	平成 28 年 5 月 23 日～ 平成 28 年 10 月 4 日	宅地造成	宅地造成工事に伴う発掘調査を実施した。調査の結果、8 世紀から 14 世紀頃を主体とする古代から中世にかけての集落跡が確認された。調査区の南半部は基盤土上層に遺物包含層が重層的に堆積し、計 3 面の遺構面が分布する。古代の出土遺物の中には、官衙系遺物が含まれており、周辺に官衙関連遺構の分布が想定される。

遺跡名	調査対象地	調査期間	調査原因	調査の概要
幡生遺跡・後山古墳確認調査	下関市 幡生本町 30 番	平成 28 年 4 月 19 日～ 平成 28 年 7 月 1 日	宅地造成	調査着手前より露頭していた巨石を中心に確認調査を実施。巨石の前面と下部で古墳石室構造を確認したが、近現代の盗掘により、石室石材の殆どが抜き取られ手いる状況を確認した。
武久川下流域条里遺跡確認調査	下関市 幡生新町 14-112、14-51	平成 28 年 5 月 17 日～ 平成 28 年 7 月 29 日	公営施設整備	今回の調査では、堆積層の観察と自然科学分析により、地形発達にもとづいた武久川下流域条里遺跡形成過程や構造の理解を深める成果が得られ、当該事業計画にかかる埋蔵文化財の取り扱いを判断するための基礎資料を収集することができた。具体的には、中世後期あるいは近世とみられる水田畔の確認、弥生時代から古墳時代と推定される水田面と弥生時代中期の木杭や木製鋏先などの出土である。また、縄文時代前期後半の堆積層からは大型加工木材が出土は、縄文時代前期後半ないし中期前半における武久川河口部における人間活動の証左となった。
延行条里遺跡（白河内地区）工事立会	下関市 秋根東町二丁目 14-3、14-2	平成 28 年 6 月 17 日～ 平成 28 年 8 月 17 日	店舗建設	大型店舗建設に伴い、建物基礎部部分の工事立会を実施した。古代から中世の柱穴、溝、土坑などを確認し、延行条里遺跡に隣接する秋根遺跡で確認されている集落の東側への展開が把握できた。
長門国府跡（亀の甲地区）確認調査	下関市長府 亀の甲二丁目	平成 28 年 9 月 1 日～ 平成 28 年 10 月 4 日	宅地造成	調査対象地は山口県教育委員会が未指定文化財調査を実施した「諏訪家庭園」が所在する。宅地造成工事に伴い、庭園の現況記録作成と確認調査を実施した。確認調査の結果、柱穴や土坑など中世期の遺構分布を確認した。また造成土中には、土師器や輸入陶磁器など 12～13 世紀代の中世遺物を大量に含み、周辺に当該時期の濃密な遺構分布が想定される。庭園の作庭時期については、枯山水石組ほか庭園構造物に伴う整地層中の出土遺物より近世後期の作庭と考えられる。
丸小山遺跡確認調査	下関市大字 延行字幸地ヶ森 4 番 1	平成 28 年 9 月 6 日～ 平成 28 年 10 月 31 日	宅地造成	宅地造成工事計画に伴い、地下遺構の分布状態の把握のため確認調査を実施した。調査の結果、主な遺構として未確認の古墳 1 基と複数の土坑、柱穴を確認した。調査終了後、古墳は「丸小山古墳」として、遺跡台帳に登録した。
綾羅木郷台地遺跡(宝前地区)確認調査	下関市 大字綾羅木 字宝前	平成 28 年 12 月 28 日～ 平成 28 年 1 月 26 日	宅地造成	建物解体及び敷地造成に伴い、遺構の有無を確認する確認調査を実施した。敷地西側の開析谷に向かって旧地形が落ち込み、その斜面に古墳時代中期の堅穴住居 1 棟を検出した。西側斜面は中世以降の遺物包含層と古墳時代の遺構面が残存する状況を確認した。
長州藩下関前田台場跡確認調査	下関市 前田一丁目	平成 29 年 1 月 25 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	史跡内容確認	史跡整備に際しての材料と、史跡指定範囲の拡大について検討するための材料を収集する為に、指定地の隣接地で試し掘りを実施した。結果、部位文的に台場施設の整地面が史跡範囲の外側に広がる事が確認された。また、近現代に削平された際の土砂の中から、多量の古代瓦と、幕末期の銃弾（ミニエー銃弾）が見つかった。

遺跡名	調査対象地	調査期間	調査原因	調査の概要
綾羅木郷台地遺跡（木船地区）工事立会	下関市 大字綾羅木 字木舩	平成 29 年 1 月 27 日～ 平成 29 年 3 月 29 日	戸建住宅建築	今回の調査では、表土直下で濃密に分布する遺構を検出した。弥生時代の貯蔵用竪穴 13 基と土坑 1 基、近世以降のピット（杭穴・柱穴・植栽など）約 70 個と土坑約 20 基、溝 2 条が出土し、遺物には弥生土器、石製品、近世陶磁器、金属製品、瓦、炭化米がある。対象地における確認された人間活動の時期は、弥生時代と近世以降の 2 時期に大きく分かれる。検出された弥生時代の貯蔵用竪穴や土坑の残存深度が比較的良好であることから、のちの土地利用による地形面の切り下げが大きくなかったことが示唆される。

（6）史跡管理・保存活用

活動名	日時	内 容
平成 28 年度 長門鑄銭所跡出土遺物保存活用	平成 28 年 5 月 10 日～ 平成 29 年 3 月 31 日	平成 22 年度に「長門鑄銭所跡」において出土した鑄銭関連遺物のうち、木簡資料 50 点について、適切な保存と価値付けを目的として、専門機関への委託により、保存処理等を実施した。
ぶえ吉 facebook	平成 28 年 8 月 8 日～	考古博物館や市内の文化財に関するイベントを速報的に発信することを目的とし、下関市立考古博物館の公式マスコットキャラクターである「ぶえ吉」の公式 facebook を立ち上げた。
市指定史跡宮山古墳石室内現況記録	平成 29 年 1 月 11 日	古墳石室内に落石が見られたことから、通常立入を制限している石室内部について、遺構の保存状況を確認すると共に、デジタルカメラにより、石室の壁面から天井までの全周を写真記録に収めた。
奇兵隊陣屋跡パノラマ VR 作成	平成 29 年 3 月 28 日	平成 25 年度に実施した「奇兵隊陣屋跡航空写真撮影及び地形図作成委託業務」で作成したパノラマ VR コンテンツについて、既設プログラムに平成 27 年度の発掘調査で得られた遺跡情報等を追加作成しリンクすることで、閲覧可能なデータに更新し今後の活用資産とした。
長州藩下関前田台場跡ドローン動画撮影	平成 29 年 3 月 16 日	史跡の範囲確認を目的とした確認調査にあわせ、近隣の社会福祉法人前田町振興協会すみれ保育園、および永山建設株式会社の協力を得て、園児約 60 名と市立考古博物館マスコットキャラクター「ぶえ吉」と、史跡の PR のための写真と動画をドローンにて撮影した。
長州藩下関前田台場跡保存管理計画簡易版作成	平成 29 年 3 月 31 日	平成 26 年度に刊行した史跡長州藩下関前田台場跡保存管理計画の簡易版を A 4 版、カラー 8 ページで 1500 部作成した。



武久川下流域条里遺跡確認調査の様子



長州藩下関前田台場跡ドローン撮影の様子



IV その他資料

1 教育委員会

(1) 機構及び事務分掌

(平成 29 年 4 月 1 日現在)



(2) 職員配置

(単位：人)

		平成 28 年度	平成 29 年度	内 訳						
				事 務	技 術	養 護 師	校 務 技 士	調 理 員	指 導 主 事	教 員
事務部局の職員		342	331	108	5	0	32	82	20	84
事務局		106	106	79	5	0	2	0	20	0
内 訳	教育部（教育長を含む）	4	4	4						
	教育政策課	7	7	7						
	学校教育課	15	15	5					10	
	教育研修課	10	10	2					8	
	学校支援課	12	13	7	4		2			
	学校保健給食課	10	9	8	1					
	生涯学習課	10	11	10					1	
	文化財保護課	10	10	10						
	図書館政策課	5	5	5						
	菊川教育支所	6	6	5					1	
	豊田教育支所	5	4	4						
	豊浦教育支所	7	7	7						
豊北教育支所	5	5	5							
学校		205	193	5	0	0	30	74	0	84
内 訳	幼稚園	39	41							41
	小学校	82	73				14	59		
	中学校	33	30				15	15		
	高等学校	51	49	5			1			43
学校以外の教育機関		31	32	24	0	0	0	8	0	0
内 訳	公民館	0	0							
	南部調理場	0	1	1						
	中部調理場	9	9	1				8		
	豊田調理場	0	0							
	豊浦調理場	0	0							
	黒井調理場	0	0							
	歴史博物館	7	7	7						
	考古博物館	4	4	4						
	中央図書館	0	0							
	長府図書館	0	0							
	彦島図書館	0	0							
	豊田図書館	0	0							
	豊田ホテルの里ミュージアム	1	1	1						
	美術館	6	6	6						
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	4	4	4							

各年度4月1日現在。再任用短時間職員を除く。

(3) 教育費予算

(単位：千円、%)

款	項	目	平成 29 年度			平成 28 年度	
			当初予算額	構成比	対前年比	当初予算額	構成比
教育費			8,420,995	100.0	91.6	9,197,875	100.0
		教育総務費	1,041,545	12.4	101.9	1,021,711	11.1
		教育委員会費	21,133	0.3	99.8	21,168	0.2
		事務局費	1,020,412	12.1	102.0	1,000,543	10.9
		小学校費	1,304,334	15.5	72.8	1,791,614	19.5
		学校管理費	1,038,244	12.3	95.0	1,093,289	11.9
		教育振興費	266,090	3.2	96.2	276,625	3.0
		学校建設費	0	0	皆減	421,700	4.6
		中学校費	684,243	8.1	77.0	889,171	9.7
		学校管理費	464,923	5.5	94.8	490,638	5.3
		教育振興費	219,320	2.6	81.1	270,533	2.9
		学校建設費	0	0	皆減	128,000	1.4
		高等学校費	597,188	7.1	90.1	663,158	7.2
		高等学校総務費	504,930	6.0	100.1	504,634	5.5
		高等学校管理費	66,106	0.8	49.8	132,745	1.4
		教育振興費	26,152	0.3	101.4	25,779	0.3
		幼稚園費	61,893	0.7	64.9	95,393	1.0
		幼稚園費	61,893	0.7	64.9	95,393	1.0
		社会教育費	1,902,563	22.6	94.2	2,020,479	22.0
		社会教育総務費	660,760	7.9	102.4	645,099	7.0
		青少年対策費	46,522	0.6	97.6	47,673	0.5
		文化財保護費	109,253	1.3	117.6	92,926	1.0
		公民館費	150,418	1.8	82.8	181,733	2.0
		図書館費	287,337	3.4	95.8	299,999	3.3
		博物館費	306,255	3.6	136.0	225,216	2.5
		美術館費	128,213	1.5	83.3	153,907	1.7
		生涯学習施設費	213,805	2.5	99.1	215,726	2.3
		博物館建設費	0	0	皆減	158,200	1.7
		保健体育費	2,612,269	31.0	102.3	2,553,315	27.8
		保健体育総務費	994,635	11.8	97.4	1,020,946	11.1
		体育振興費	101,423	1.2	84.8	119,656	1.3
		体育施設費	890,514	10.6	115.1	773,438	8.4
		学校給食共同調理場費	625,697	7.4	97.9	639,275	7.0
		大学費	216,960	2.6	133.1	163,034	1.8
一般会計			118,900,000	100.0	101.0	117,765,000	100.0
教育費			8,420,995	7.1	91.6	9,197,875	7.8

(注) 四捨五入の関係で、構成比が合計の数字と一致しない場合がある。

2 教育年譜

明治	22年	1889年	4月	市制施行、赤間関市誕生
	32	1899	1	赤間関幼稚園（現市立第一幼）開園
	35	1902	6	下関市と改称、赤間関商業学校を市立下関商業学校と改称
	38	1905	5	市立下関高等女学校開校（現下関南高、昭和3年県移管）
	39	1906	8	英国領事館（現旧下関英国領事館）上棟
	42	1909	4	名池小学校開校、市立第二幼稚園開園
			8	豊浦（長府）図書館開館
			10	市立第三幼稚園開園
	43	1910	4	市立下関実業補修学校開校（現下関中央工高）
大正	2	1913	-	梶栗浜遺跡から多紐細文鏡と細形銅剣を発掘
	3	1914	6	梅光女学院開校
	4	1915	4	桜山小学校開校
	9	1920	4	市立下関中学校開校（現下関西高）
	11	1922	3	市立第四幼稚園開園
	15	1926	7	下関商業学校、現在地へ移転
昭和	3	1928	9	向山小学校開校
	8	1933	10	桂 弥一、長門尊攘堂創建（現長府博物館）
	10	1935	4	安岡町役場（現安岡考古資料室）新築
	12	1937	6	日清講和談判記念館（現日清講和記念館）開設
	15	1940	7	市立下関図書館開館
	20	1945	6	空襲罹災、桜山・菁莪・生野・蓋井国民学校、第一・第四幼稚園、下関女子商業学校、梅光女学院、阿部高等技芸女学院、下関盲啞学校
			8	太平洋戦争終結、名池国民学校全焼
	21	1946	5	農林省水産講習所下関分所開設（現水産大学校）
	22	1947	4	新学制、新制中学校発足、第一中学校（現日新中）、第二中学校（現文洋中）、彦島中学校、長府中学校、東部中学校、安岡中学校、吉見中学校、王喜中学校、吉田中学校、内日中学校、北部中学校
	23	1948	4	第三中学校（現名陵中）開校、小月幼稚園開園
				新制高等学校発足、下関高等学校（現下関西高）、下関女子高等学校（現下関南高）、豊浦高等学校、長府女子高等学校（現長府高）、下関工業高等学校、下関実業高等学校（現下関中央工高）、下関商業高等学校、梅光女学院高等学校、早鞆高等学校、河野学園高等学校（現下関女子短期大学附属高等学校）
			7	第1回下関美術展開催
	24	1949	4	北部中学校分離、川中中学校と勝山中学校となる
			6	新制大学発足、山口大学農学部開設
			10	下関球場完成
	25	1950	4	西山小学校開校
			11	市民館（現文化会館）、公民館（現中央公民館）完成
	27	1952	6	下関図書館彦島分館開館
			11	市教育委員会発足、委員長 浅尾逸司
	28	1953	11	国宝指定（功山寺仏殿・住吉神社本殿）
	30	1955	4	神田小学校・玄洋中学校開校
	31	1956	2	市史編修委員会発足
			4	下関商業短期大学開学、角倉小学校開校
	33	1958	7	下関陸上競技場完成
			8	第11回全国高等学校陸上競技対抗選手権（インターハイ）開催

昭和	33年	1958年	12月	吉見公民館開館
	34	1959	4	向洋中学校開校
			10	日独交歓陸上競技大会開催
	35	1960	4	市営庭球場設置
			10	小月公民館開館
	36	1961	5	下関商業高等学校と鹿児島商業高等学校が姉妹校となる
			6	市民学級講座開講
	37	1962	4	下関市立大学開学、市立（現在県立）下関第一高等学校開校
	38	1963	4	第35回選抜高校野球大会で下関商業高等学校優勝
			8	第45回全国高校野球選手権大会で下関商業高等学校準優勝
			9	下関市体育館開設
			10	第18回山口国体秋季大会開催
			12	長府公民館開館
	39	1964	6	下関電子工業高等学校開校（現下関国際高校）
	40	1965	4	江浦幼稚園開園
			7	弥生遺跡綾羅木郷台地の発掘調査開始、川中公民館開館（現川中公民館分館）
			10	安岡公民館開館
	41	1966	4	山の田小学校、木屋川中学校（王喜・吉田両中の統廃合）開校
			8	第1回日韓親善関釜両市高校生交歓事業発足
	42	1967	9	長府図書館全面改築
	43	1968	8	全日本高校ハンドボール選手権大会で下関中央工業高校優勝 （以後44年、51年、52年優勝）
	44	1969	3	綾羅木郷遺跡緊急史跡指定
			4	山の田中学校、川中西小学校開校、生野・清末幼稚園開園
				下関市文化会館開館
			6	市指定文化財第1号の指定（蓮台寺木造十一面観音坐像）
			10	下関図書館移転改築完成
	45	1970	5	下関考古館開館、王司公民館開館
	46	1971	4	向山幼稚園開園、彦島公民館開館
			8	第1回関釜親善陸上競技大会開催、移動図書館業務開始
	47	1972	4	南部学校給食共同調理場完成、清末・内日公民館開館
			6	下関市武道館設置
	48	1973	3	市立青年の家完成
			4	川中西幼稚園開園、王喜・勝山公民館開館
	49	1974	1	彦島中学校火災
			3	全国子ども音楽コンクールで玄洋中学校全国1位（以後53年1位）
			4	桜山・第五幼稚園開園
			7	長府運動場完成、北部公民館開館
			10	桜山小学校六連分校廃校、彦島武道館開館
	50	1975	12	毎日音楽コンクールで安岡小学校全国1位
	51	1976	3	小月武道館完成
			7	市民プール完成
			10	下関市・韓国釜山直轄市姉妹都市盟約締結
			11	吉田公民館開館
	52	1977	1	全国合奏コンクールで下関西高校全国1位
			3	吉見武道館設置

昭和	52年	1977年	4月	彦島運動場設置	
			5	下関市民会館完成	
			7	吉見公民館移転改築	
	53	1978	3	長府武道館設置	
			4	川中幼稚園開園、吉母公民館開館 教育委員会が庁舎第一別館（旧逋信省下関電信局電話課庁舎）に移転	
	54	1979	4	長府小学校開校、西部公民館開館	
			8	第9回全国中学校バスケットボール選抜大会で彦島中学校優勝	
			10	下関市・中国山東省青島市友好都市締結	
	55	1980	4	玄洋・吉見中学校移転改築、長府博物館市移管（財団法人より）	
			10	下関・青島市不定期航路就航（日中友好の船「ユートピア号」）	
			12	川中武道館開館	
	57	1982	4	向井・垢田小学校開校、西山・垢田幼稚園開園、下関市弓道場開設	
9			蓋井小学校水泳プール完成（市内全小学校に設置完了）		
58	1983	4	下関市長府体育館開館		
		6	玄洋公民館開館		
		11	下関市立美術館開館		
		4	下関商業高等学校校舎全面改築完了		
59	1984	6	長州砲が120年ぶりにフランスから里帰り（博物館展示）		
		10	下関商業高等学校創立100周年記念		
		11	川中西小学校と中国山東省青島市上清路小学校が友好校締結 日新中学校と中国山東省青島市第17中学校が友好校締結 下関商業高等学校と中国山東省青島市第一職業高級中学校が友好校締結		
		4	垢田中学校開校		
		5	北運動公園に下関第二球場開設		
60	1985	10	中国青島市教育考察団来関		
		11	下関市青少年健全育成市民会議発足		
		4	一の宮小学校開校		
		8	全国高校総体開催（バドミントン・ウエイトリフティング・弓道）		
		10	下関商業高等学校と韓国釜山直轄市釜山商業高等学校（現 開成高等学校）が姉妹校調印		
62	1987	8	下関相撲場開設		
63	1988	3	豊浦幼稚園舎全面改築完了		
		7	北運動公園に新下関球場開設		
		11	内日中学校水泳プール完成（市内全中学校に設置完了）		
平成	元	1989	4	下関市制施行100周年記念、彦島体育館開館、森の家下関オープン	
			8	下関市彦島庭球場開設	
			12	“あるかぼ〜と下関”起工	
	2	1990	1	下関市立大学と韓国釜山直轄市東義大学が姉妹校調印	
			4	熊野小学校開校 長成中学校開校 下関市立大学学術センター完成 中部学校給食共同調理場完成	
			7	彦島図書館開館	
			3	3	教員委員会が庁舎第一別館から教員委員会棟（旧水道局庁舎）に移転
			4	4	下関アーチェリー場開設 下関市垢田体育館開設
	3	1991	5	5	仁馬山古墳が国指定史跡となる

平成	3年	1991年	7月	第1回下関市中学校海外派遣研修（韓国）
			9	台風17、19号により学校諸施設に多数の被災を受ける
			10	下関図書館コンピュータ化に着手
	4	1992	3	史跡綾羅木郷遺跡の西地区を古墳の森として整備 向洋町スポーツセンターテニスコート全天候型に改修完了
			6	川中公民館移転改築
			9	学校週5日制スタート
	5	1993	8	第41回日本海洋少年団全国大会開催 （常陸宮殿下、同妃殿下来関）
			10	吉見体育館開設
	6	1994	3	下関商業高等学校図書館改築
			4	下関市立下関・長府・彦島各図書館コンピューター処理開始 北運動公園庭球場設置
	7	1995	1	生涯学習推進本部設置
			5	下関市立考古博物館開館 （三笠宮殿下・同妃殿下来関）
	8	1996	10	一の宮児童クラブ（別棟教室）開設
	9	1997	4	下関市体育館リニューアルオープン
			5	長府東公民館開館
			8	「下関市生涯学習まちづくり推進基本構想」策定
			10	熊野児童クラブ（別棟教室）開設
	10	1998	4	下関市民会館リニューアルオープン 財団法人下関市文化振興財団発足
			10	下関陸上競技場リニューアルオープン
	11	1999	5	旧下関英国領事館が重要文化財に指定
	12	2000	3	勝山児童クラブ（別棟教室）改築
			5	小月公民館リニューアルオープン
			12	「下関市生涯学習まちづくり推進プラン」策定
	13	2001	4	児童・ふれあいクラブが保健福祉部こども課に移管 火の山ユースホステルが産業経済部観光施設課に移管 下関市立しものせき水族館「海響館」オープン 「唐戸市場」リニューアルオープン
			10	移動図書館車「ともしび号」にかわり、新車「ブックル」で運行開始
	14	2002	4	社会教育課同和教育係の事務を人権啓発課に移管 青少年課の係を廃止 第54回国際捕鯨委員会（IWC）年次会合開催
	15	2003	4	北九州市との図書館広域利用開始
			10	第18回世界宇宙飛行士会議・コミュニティデーin下関開催
			11	下関市フットサル場完成
	16	2004	6	文化課の係を廃止し、文化課を文化財保護課に改める
	17	2005	2	下関市と豊浦郡4町が合併し、新しい下関市が誕生する 菊川、豊田、豊浦、豊北の各教育支所を設置する
			4	豊浦中学校と宇賀中学校を統合し、夢が丘中学校を開校
			10	図書館のコンピュータシステム統合
	18	2006	4	小野ふれあいセンター開館 豊北第一中学校・豊北第二中学校・豊北第三中学校・角島中学校を統合し、豊北中学校を開校

平成	18年	2006年	9月	下関球場スコアボード電光掲示板供用開始
	19	2007	10	第28回国際・全日本マスターズ陸上競技選手権山口（下関）大会開催
	20	2008	3	「下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			4	教育委員会機構改革 総務課を教育政策課と学校支援課へ分割 学校教育課を学校教育課と学校安全課に分割 指導課を廃止し学校教育課内に教育研修室を設置 社会教育課と青少年課を生涯学習課として統合 教育支所の課を廃止
	21	2009	4	幼保一体化施設「西市こども園」、「豊北こども園」開園
			5	彦島公民館リニューアルオープン
			11	下関図書館閉館
	22	2010	1	鳥山民俗資料館が下関市川棚温泉交流センター内に移転、開館
			3	生涯学習プラザ開館 中央図書館開館
			4	川中中学校が伊倉新町の新校舎に移転
			6	東行記念館開館
			8	長州藩下関前田台場跡（前田砲台）が国指定史跡となる
	23	2011	2	教育委員会が教育委員会棟から上田中町庁舎（旧下関図書館）に移転
			4	教育委員会機構改革 教育部を設置 体育課の事務（学校体育を除く）を観光交流部スポーツ振興課に移管し、体育課を廃止 長府博物館、東行記念館を文化財保護課に移管 鳥山民俗資料館及び豊北歴史民俗資料館を人類学ミュージアムに移管 学校安全課内に生徒指導推進室を設置
			11	豊北歴史民俗資料館リニューアルオープン
	24	2012	4	豊田西中学校と豊田東中学校を統合し、豊田中学校を開校
	25	2013	4	下関商業高等学校の新講堂が竣工
	26	2014	2	勝山公民館リニューアルオープン
			3	神田公民館廃止
			4	第二、第四、桜山、檜崎幼稚園を廃園
			8	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 下関開催
			12	豊浦図書館が豊浦総合支所2階にリニューアルオープン
	27	2015	3	「下関市子どもの読書活動推進計画（第二次）」策定
			4	三豊、二見、田耕小学校を廃校 西市公民館開設
			5	第1回下関市総合教育会議開催 「下関市教育振興基本計画（下関市教育大綱）」策定
			7	第23回世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラム開催
	28	2016	3	下関市教育センターオープン 教育委員会が上田中町庁舎から下関市教育センターに移転
			4	教育委員会機構改革 教育研修室を廃止し、教育研修課を設置 生徒指導推進室を学校安全課内から学校教育課内に移管 歴史博物館を設置、学校安全課を組織改正し、学校保健給食課の設置 殿居小学校を廃校

平成	28年	2016年	5月	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
			10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
			11	下関市立歴史博物館開館
	29	2017	4	神田小学校（西神田町）を廃校 関門海峡が「関門ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として 日本遺産に認定

教 育 要 覧

平成 29 年度

発行：下 関 市 教 育 委 員 会
〒751-0830

山口県下関市幡生新町 1-1 下関市教育センター

編集：下関市教育委員会 教育部 教育政策課
T E L 0 8 3 - 2 3 1 - 1 5 6 0